
鹿児島県ヤングケアラー実態調査 報告書
【単純集計】

令和5年3月
鹿児島県

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査期間.....	1
3. 調査対象.....	1
4. 調査方法.....	1
5. 回収状況.....	1
6. 集計上の留意点.....	2
II 調査結果（小学生）	3
（1）基本情報.....	3
（2）普段の生活について	4
（3）家庭や家族のことについて	9
（4）ヤングケアラーについて.....	25
III 調査結果（中学生）	27
（1）基本情報.....	27
（2）普段の生活について	29
（3）家庭や家族のことについて	34
（4）ヤングケアラーについて.....	51
IV 調査結果（全日制高校生）	53
（1）基本情報.....	53
（2）普段の生活について	56
（3）家庭や家族のことについて	60
（4）ヤングケアラーについて.....	77
V 調査結果（定時制高校生）	79
（1）基本情報.....	79
（2）普段の生活について	82
（3）家庭や家族のことについて	86
（4）ヤングケアラーについて.....	97
VI 調査結果（通信制高校生）	99
（1）基本情報.....	99
（2）普段の生活について	104
（3）家庭や家族のことについて	106
（4）ヤングケアラーについて.....	123
VII 自由意見	125

I 調査概要

1. 調査の目的

本県におけるヤングケアラーの実態を把握し、今後のヤングケアラーに係る施策を実施する上での基礎資料とするために実施した。

2. 調査期間

令和4年9月～10月

3. 調査対象

	学年	対象人数
小学生	6年生	1,953人
中学生	全学年	6,343人
全日制高校生 定時制高校生	全学年	5,432人
通信制高校生	全学年	1,800人
合計		15,528人

4. 調査方法

対象の学校へ生徒本人向け調査概要・調査票を郵送し、学校を通じて、生徒本人へ調査回答フォームのQRコード、URLを記載した調査概要を配布。書面またはWeb上で回答、回収を実施。

※通信制高校では、学校から生徒への調査概要の書面配布及びメール等による配布を基本とした。

5. 回収状況

	対象人数	回答者数	回答率
小学生	1,953人	1,433人	73.4%
中学生	6,343人	4,155人	65.5%
全日制高校生 定時制高校生	5,432人	3,695人	68.0%
通信制高校生	1,800人	158人	8.8%
合計	15,528人	9,441人	60.8%

6. 集計上の留意点

- (1) グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- (2) 集計結果は百分率で算出し、少数第2位の四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。
- (4) 回答者が無い場合の設問では一部集計表・グラフを省いている。

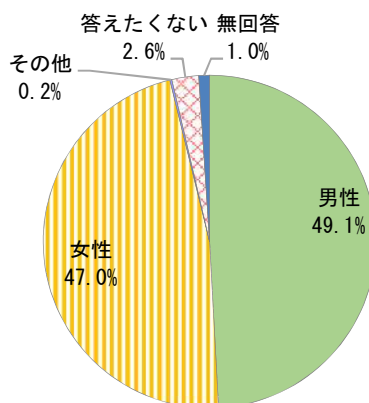
II 調査結果（小学生）

（1）基本情報

① 性別（小学生）

回答者の性別は、「男性」49.1%、「女性」47.0%、「その他」0.2%、「答えたくない」2.6%となっている。

(n=1,433)



No.	選択肢	今回調査 (n=1,433)	国(R3年度) (n=9,759)
1	男性	49.1%	47.5%
2	女性	47.0%	49.9%
3	その他	0.2%	0.4%
4	答えたくない	2.6%	1.5%
5	無回答	1.0%	0.8%
	合計	100.0%	100.0%

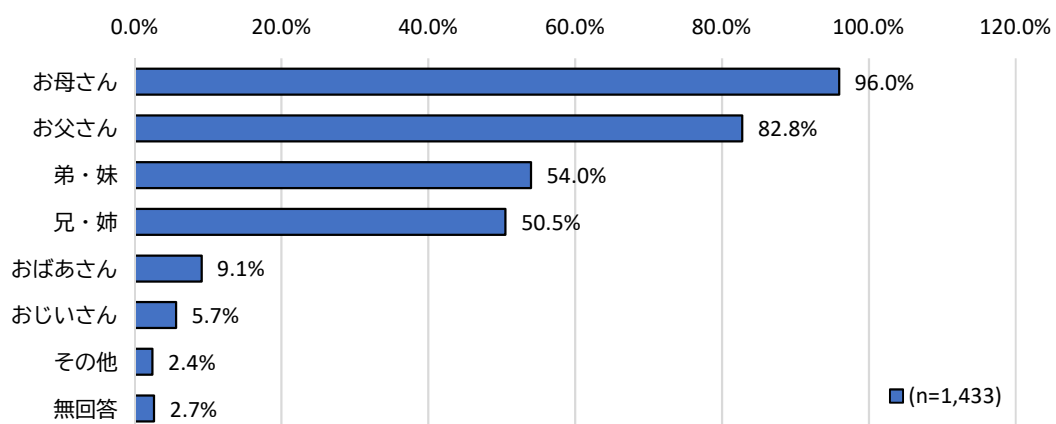
② 居住地

回答者の居住地については、以下の通り。

番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数
1	鹿児島市	239	12	霧島市	112	23	長島町	25	34	宇検村	3
2	鹿屋市	92	13	いちき串木野市	37	24	湧水町	4	35	瀬戸内町	-
3	枕崎市	6	14	南さつま市	44	25	大崎町	23	36	龍郷町	25
4	阿久根市	29	15	志布志市	13	26	東串良町	38	37	喜界町	4
5	出水市	40	16	奄美市	33	27	錦江町	29	38	徳之島町	23
6	指宿市	31	17	南九州市	24	28	南大隅町	-	39	天城町	25
7	西之表市	34	18	伊佐市	28	29	肝付町	36	40	伊仙町	22
8	垂水市	38	19	姶良市	78	30	中種子町	25	41	和泊町	-
9	薩摩川内市	85	20	三島村	10	31	南種子町	20	42	知名町	-
10	日置市	3	21	十島村	6	32	屋久島町	25	43	与論町	27
11	曾於市	37	22	さつま町	24	33	大和村	4	44	無回答	32

③ 同居家族（小学生）（複数回答）

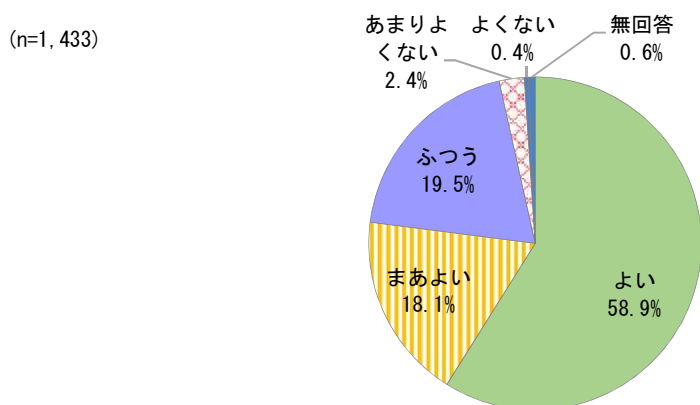
同居家族は、「お母さん」96.0%が最も高く、次いで「お父さん」82.8%、「弟・妹」54.0%となっている。国調査と比較すると、「おばあさん」、「おじいさん」の割合が低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=1,433)	国(R3年度) (n=9,759)
1	お母さん	96.0%	97.4%
2	お父さん	82.8%	87.3%
3	おばあさん	9.1%	16.3%
4	おじいさん	5.7%	11.0%
5	兄・姉	50.5%	48.2%
6	弟・妹	54.0%	48.8%
7	その他	2.4%	2.5%
8	無回答	2.7%	0.4%

④ 健康状態（小学生）

健康状態は、「よい」58.9%、「まあよい」18.1%、「ふつう」19.5%、「あまりよくない」2.4%となっている。国調査と比較すると、「よい」は8.0ポイント低くなっている。

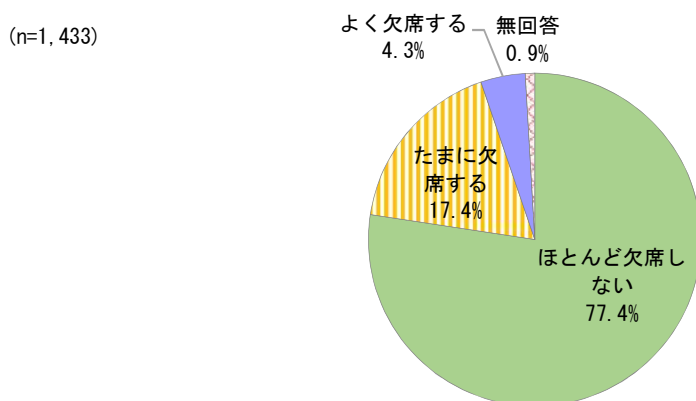


No.	選択肢	今回調査 (n=1,433)	国(R3年度) (n=9,759)
1	よい	58.9%	66.9%
2	まあよい	18.1%	15.1%
3	ふつう	19.5%	15.1%
4	あまりよくない	2.4%	2.2%
5	よくない	0.4%	0.2%
6	無回答	0.6%	0.5%
	合計	100.0%	100.0%

(2) 普段の生活について

① 出欠状況（小学生）

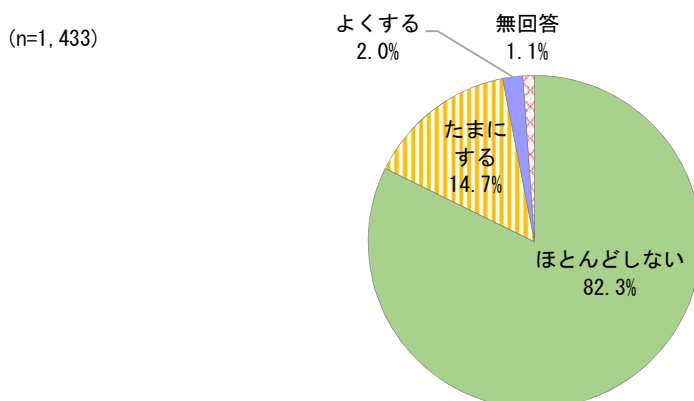
出席状況については、「ほとんど欠席しない」77.4%、「たまに欠席する」17.4%、「よく欠席する」4.3%となっている。国調査と比較すると、「ほとんど欠席しない」は7.4ポイント低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=1,433)	国(R3年度) (n=9,759)
1	ほとんど欠席しない	77.4%	84.8%
2	たまに欠席する	17.4%	13.1%
3	よく欠席する	4.3%	1.9%
4	無回答	0.9%	0.2%
	合計	100.0%	100.0%

② 遅刻や早退の状況（小学生）

遅刻や早退の状況については、「ほとんどしない」82.3%、「たまにする」14.7%、「よくする」2.0%となっている。国調査と比較すると、「ほとんどしない」は5.0ポイント低く、「たまにする」は4.8ポイント高くなっている。

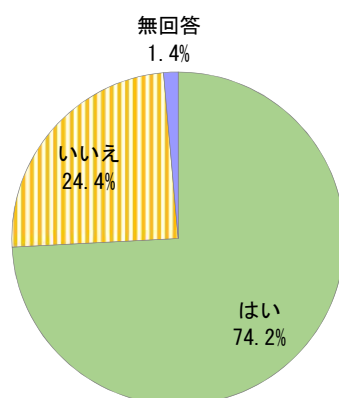


No.	選択肢	今回調査 (n=1,433)	国(R3年度) (n=9,759)
1	ほとんどしない	82.3%	87.3%
2	たまにする	14.7%	9.9%
3	よくする	2.0%	2.4%
4	無回答	1.1%	0.4%
	合計	100.0%	100.0%

③ 習い事などへの参加状況（小学生）

習い事などへの参加状況については、「はい」74.2%、「いいえ」24.4%となっている。国調査と比較すると、大きな差異は見られない。

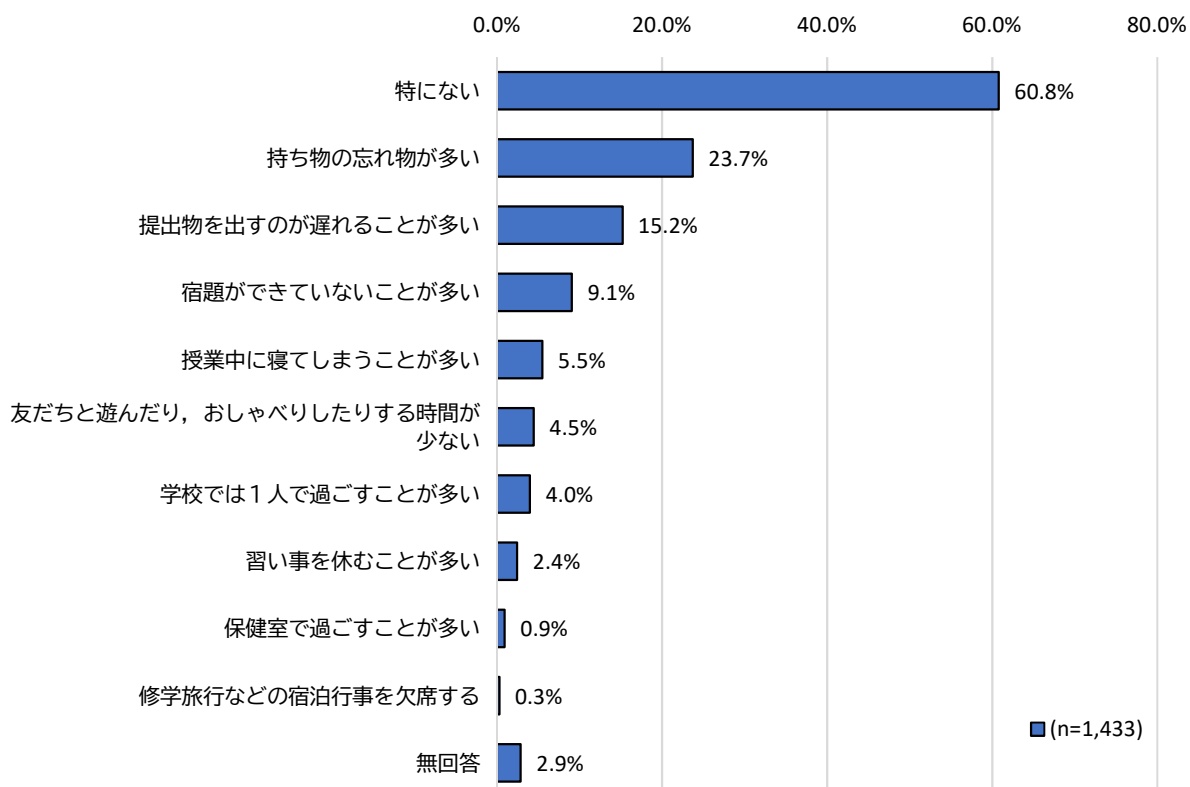
(n=1,433)



No.	選択肢	今回調査 (n=1,433)	国(R3年度) (n=9,759)
1	はい	74.2%	72.6%
2	いいえ	24.4%	26.9%
3	無回答	1.4%	0.6%
	合計	100.0%	100.0%

④ 普段の学校生活などであてはまること（小学生）（複数回答）

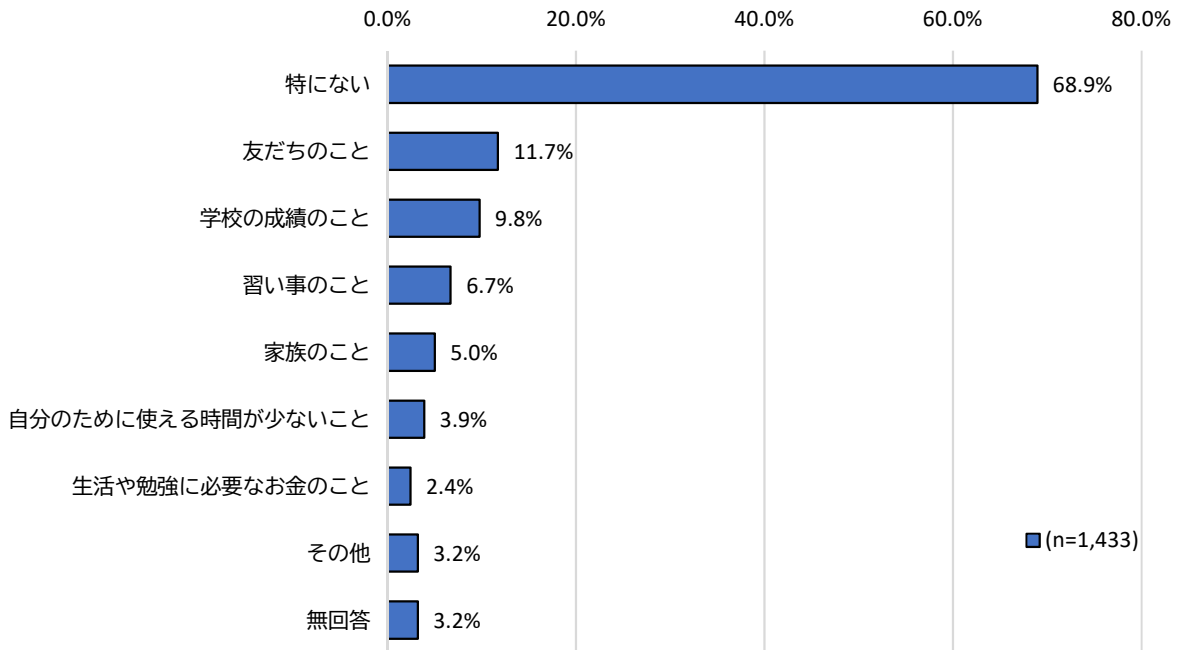
普段の学校生活などであてはまることについては、「特にない」60.8%が最も高く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」23.7%、「提出物を出すのが遅れることが多い」15.2%となっている。国調査と比較すると、「持ち物の忘れ物が多い」と回答した割合が5.1ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=1,433)	国(R3年度) (n=9,759)
1	授業中に寝てしまうことが多い	5.5%	4.9%
2	宿題ができていないことが多い	9.1%	7.5%
3	持ち物の忘れ物が多い	23.7%	18.6%
4	習い事を休むことが多い	2.4%	1.5%
5	提出物を出すのが遅れることが多い	15.2%	13.7%
6	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	0.3%	0.5%
7	保健室で過ごすことが多い	0.9%	0.8%
8	学校では1人で過ごすことが多い	4.0%	4.9%
9	友だちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	4.5%	13.1%
10	特にない	60.8%	60.9%
11	無回答	2.9%	2.2%

⑤ 現在の悩みごと（小学生）（複数回答）

現在の悩みごとについては、「特にない」68.9%が最も高く、次いで「友だちのこと」11.7%、「学校の成績のこと」9.8%となっている。国調査と比較すると、大きな差異は見られない。

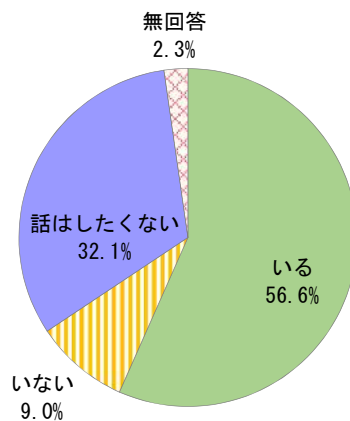


No.	選択肢	今回調査 (n=1,433)	国(R3年度) (n=9,759)
1	友だちのこと	11.7%	12.1%
2	学校の成績のこと	9.8%	11.9%
3	習い事のこと	6.7%	5.3%
4	家族のこと	5.0%	5.7%
5	生活や勉強に必要なお金のこと	2.4%	3.8%
6	自分のために使える時間が少ないこと	3.9%	4.0%
7	その他	3.2%	4.5%
8	特にない	68.9%	68.9%
9	無回答	3.2%	2.2%

⑥ 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無（小学生）

前問で何らかの悩みごとがあると回答した人に、話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」56.5%が最も高く、次いで「話をしたくない」32.1%、「いない」9.0%となっている。国調査と比較すると、「いる」は5.9ポイント低くなっている。

(n=399)



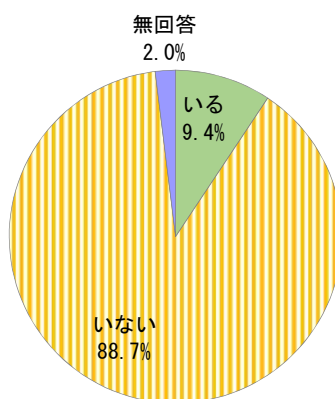
No.	選択肢	今回調査 (n=399)	国(R3年度) (n=2,825)
1	いる	56.6%	62.5%
2	いない	9.0%	9.6%
3	話をしたくない	32.1%	25.9%
4	無回答	2.3%	2.0%
	合計	100.0%	100.0%

(3) 家庭や家族のことについて

① 世話をしている家族の有無（小学生）

世話をしている家族の有無については、「いる」9.4%、「いない」88.7%となっている。国調査と比較すると、「いない」は4.8ポイント低く、「いる」は2.9ポイント高くなっている。

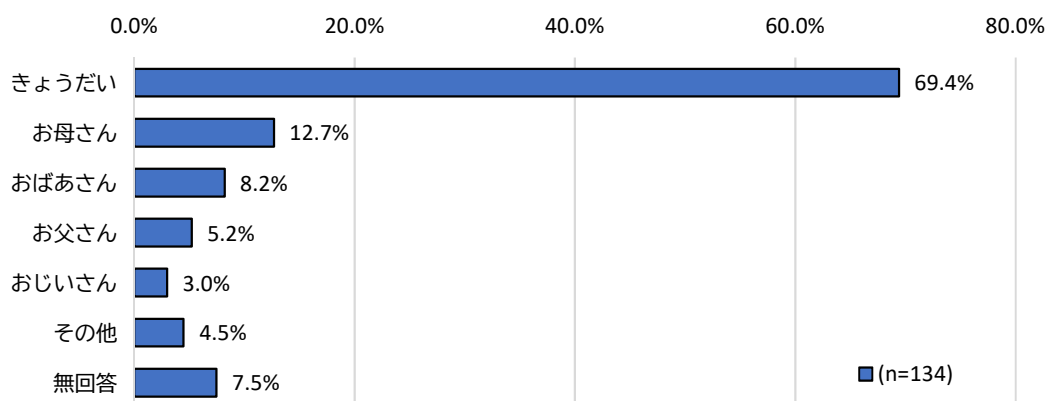
(n=1,433)



No.	選択肢	今回調査 (n=1,433)	国(R3年度) (n=9,759)
1	いる	9.4%	6.5%
2	いない	88.7%	93.5%
3	無回答	2.0%	0.0%
	合計	100.0%	100.0%

② 世話を必要としている家族（小学生）（複数回答）

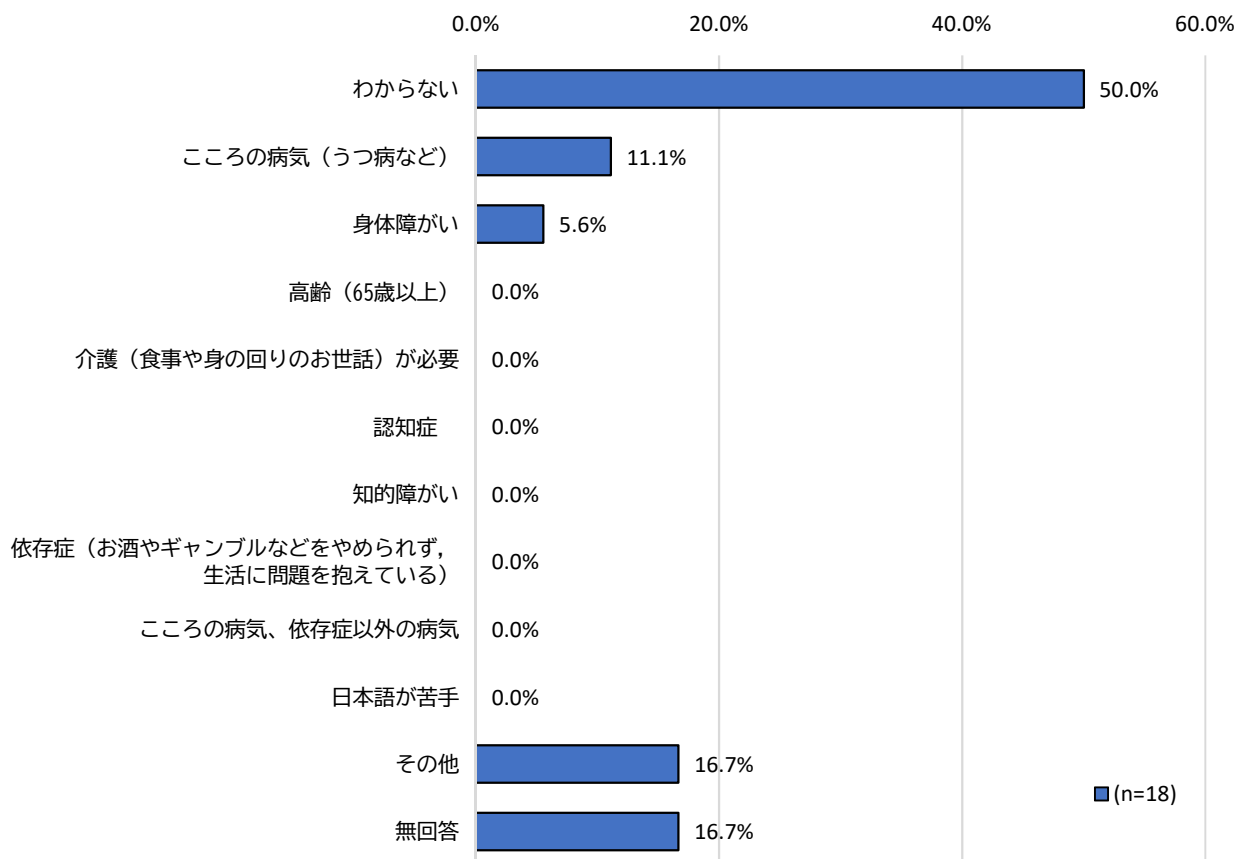
世話を必要としている家族については、「きょうだい」69.4%が最も高く、次いで「お母さん」12.7%、「おばあさん」8.2%となっている。国調査と比較すると、概ねの項目で回答した割合が低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=134)	国(R3年度) (n=631)
1	お母さん	12.7%	19.8%
2	お父さん	5.2%	13.2%
3	おばあさん	8.2%	10.3%
4	おじいさん	3.0%	5.5%
5	きょうだい	69.4%	71.0%
6	その他	4.5%	1.9%
7	無回答	7.5%	5.7%

③ 父母の状況（小学生）（複数回答）

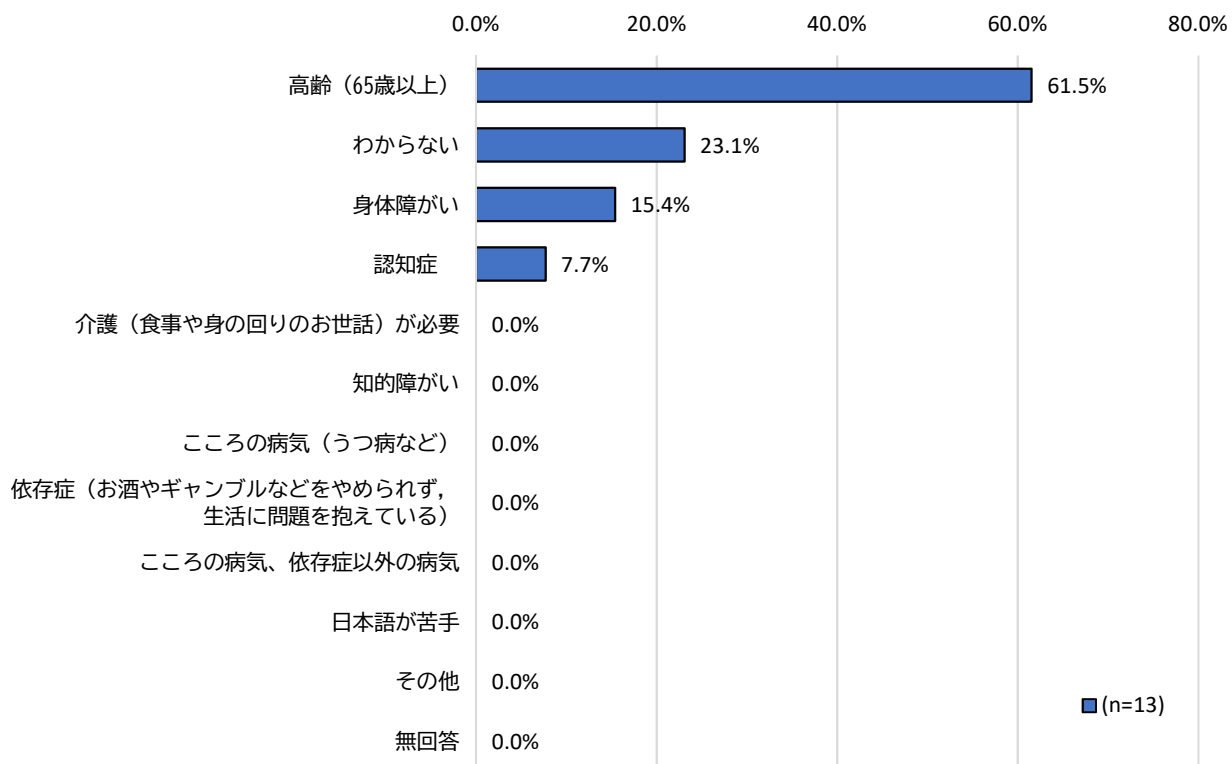
世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、父母の状況を聞いたところ、「わからない」50.0%が最も高く、次いで「その他」16.7%、「こころの病気（うつ病など）」11.1%となっている。国調査と比較すると、「高齢（65歳以上）」は5.1%低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=18)	国(R3年度) (n=138)
1	高齢(65歳以上)	0.0%	5.1%
2	介護(食事や身の回りのお世話)が必要	0.0%	3.6%
3	認知症	0.0%	0.7%
4	身体障がい	5.6%	8.0%
5	知的障がい	0.0%	0.7%
6	こころの病気(うつ病など)	11.1%	8.7%
7	依存症(お酒やギャンブルなどをやめられず、)	0.0%	2.9%
8	こころの病気、依存症以外の病気	0.0%	5.1%
9	日本語が苦手	0.0%	10.9%
10	その他	16.7%	19.6%
11	わからない	50.0%	33.3%
12	無回答	16.7%	15.2%

④ 祖父母の状況（小学生）（複数回答）

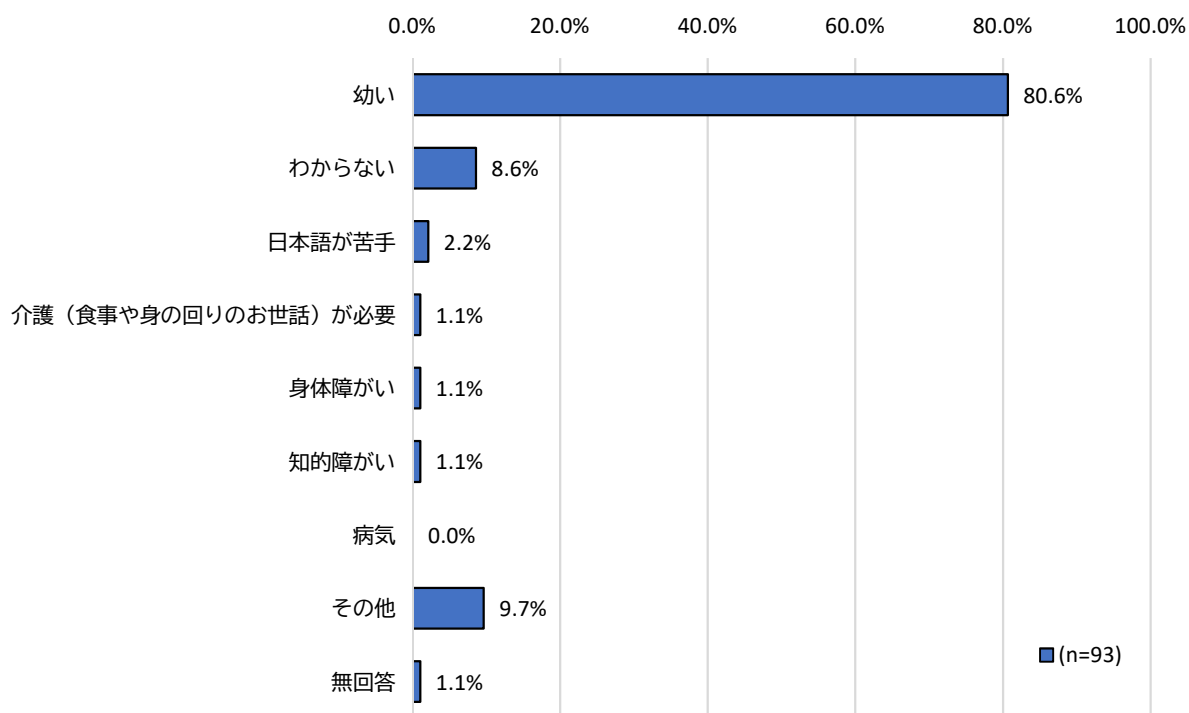
世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、祖父母の状況を聞いたところ、「高齢（65歳以上）」61.5%が最も高く、次いで「わからない」23.1%、「身体障がい」15.4%となっている。国調査と比較すると、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」は21.0ポイント低く、「わからない」は12.0ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=13)	国(R3年度) (n=81)
1	高齢(65歳以上)	61.5%	63.0%
2	介護(食事や身の回りのお世話)が必要	0.0%	21.0%
3	認知症	7.7%	19.8%
4	身体障がい	15.4%	11.1%
5	知的障がい	0.0%	1.2%
6	こころの病気(うつ病など)	0.0%	0.0%
7	依存症(お酒やギャンブルなどをやめられず、	0.0%	1.2%
8	こころの病気、依存症以外の病気	0.0%	12.3%
9	日本語が苦手	0.0%	2.5%
10	その他	0.0%	4.9%
11	わからない	23.1%	11.1%
12	無回答	0.0%	14.8%

⑤ きょうだいの状況（小学生）（複数回答）

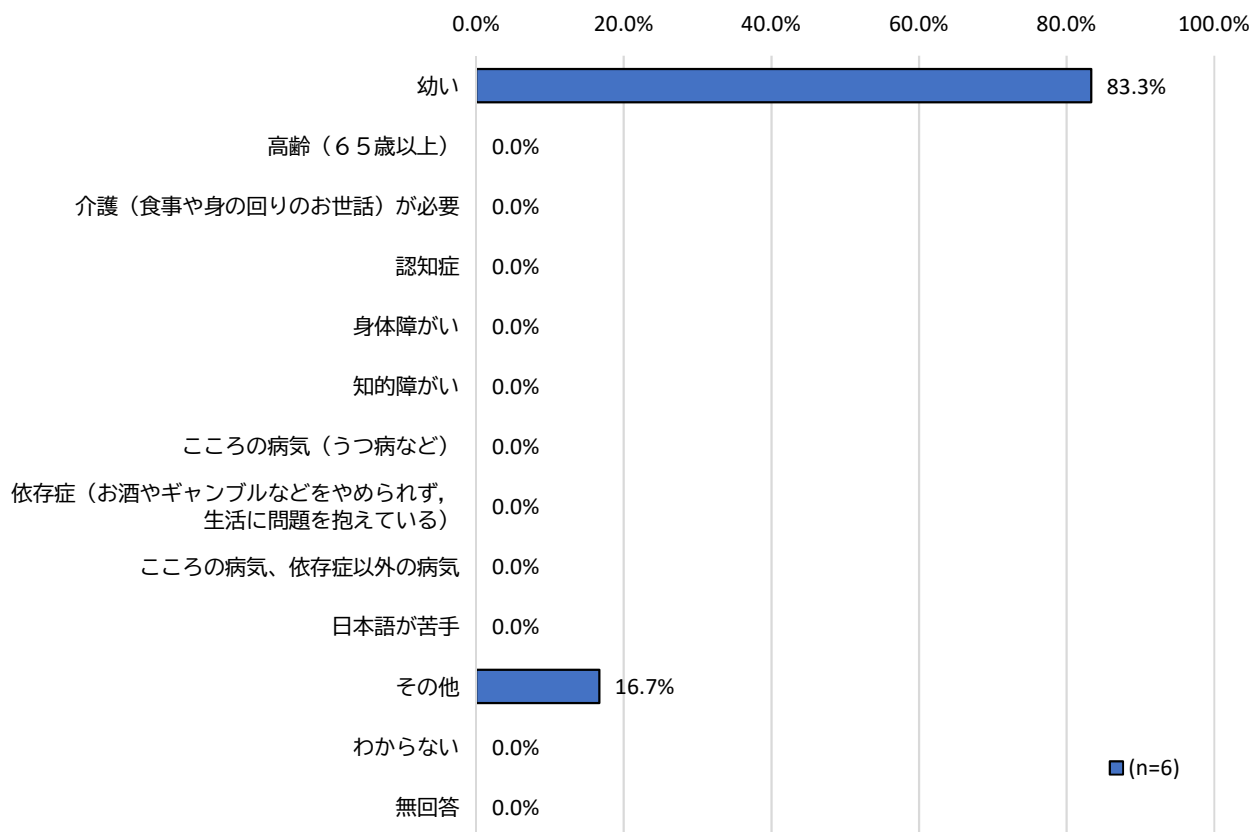
世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した人に、きょうだいの状況を聞いたところ、「若い」80.6%が最も高く、次いで「その他」9.7%、「わからない」8.6%となっている。国調査と比較すると、「きょうだい」は6.7ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=93)	国(R3年度) (n=448)
1	若い	80.6%	73.9%
2	介護(食事や身の回りのお世話)が必要	1.1%	3.8%
3	身体障がい	1.1%	2.0%
4	知的障がい	1.1%	4.9%
5	病気	0.0%	2.9%
6	日本語が苦手	2.2%	1.6%
7	その他	9.7%	8.3%
8	わからない	8.6%	8.5%
9	無回答	1.1%	5.6%

⑥ その他の家族の状況（小学生）（複数回答）

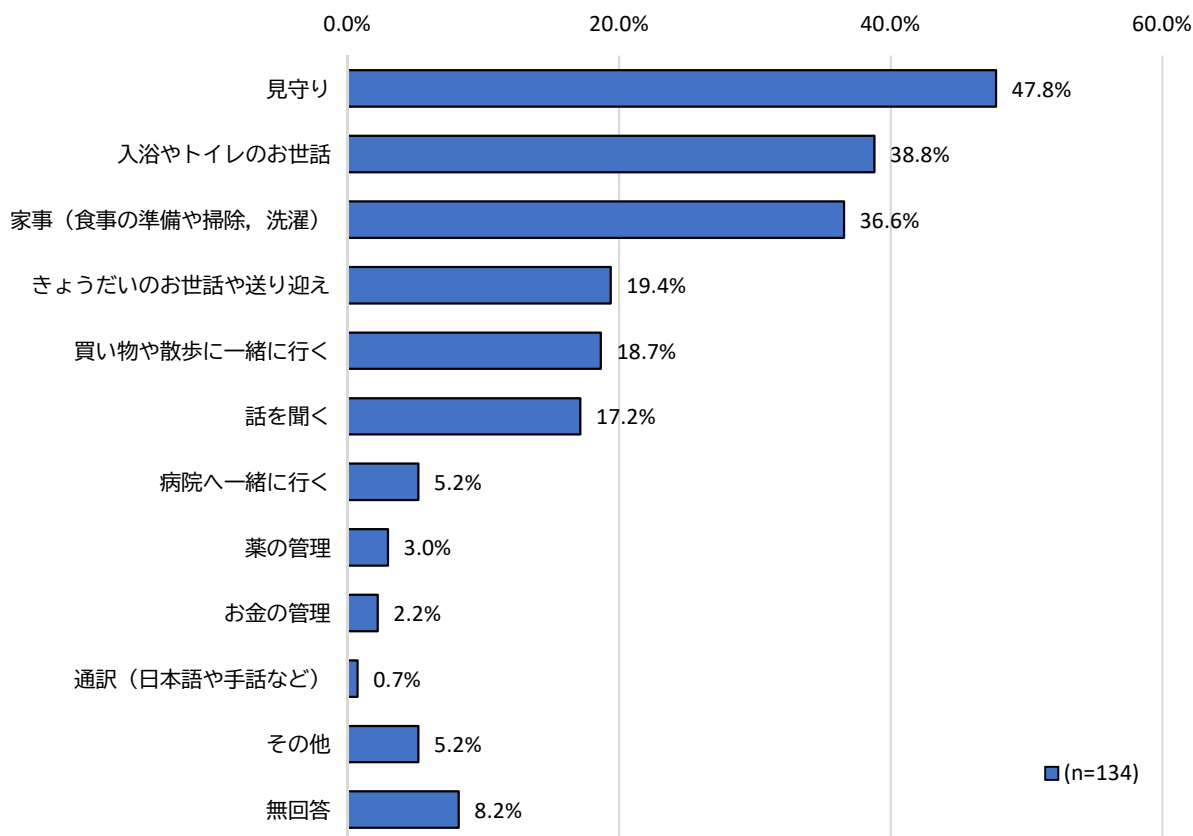
世話を必要としている家族として「その他」と回答した人に、その他の人の状況を聞いたところ、「若い」83.3%が最も高くなっている。国調査と比較すると、「若い」は50.0ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=6)	国(R3年度) (n=12)
1	高齢(65歳以上)	0.0%	33.3%
2	若い	83.3%	33.3%
3	介護(食事や身の回りのお世話)が必要	0.0%	25.0%
4	認知症	0.0%	0.0%
5	身体障がい	0.0%	8.3%
6	知的障がい	0.0%	0.0%
7	こころの病気(うつ病など)	0.0%	8.3%
8	依存症(お酒やギャンブルなどをやめられず、	0.0%	0.0%
9	7, 8以外の病気	0.0%	0.0%
10	日本語が苦手	0.0%	0.0%
11	その他	16.7%	0.0%
12	わからない	0.0%	0.0%
13	無回答	0.0%	0.0%

⑦ 世話の内容（小学生）（複数回答）

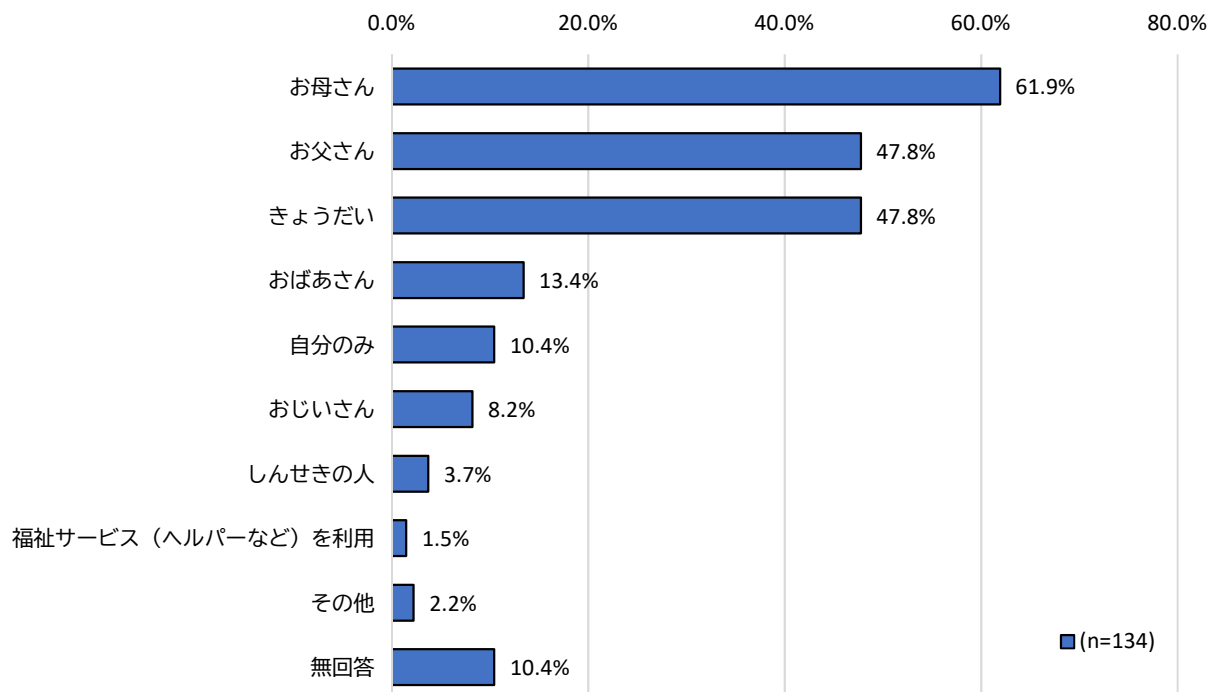
世話をしている家族がいると回答した人に、世話の内容について聞いたところ、「見守り」47.8%が最も高く、次いで「入浴やトイレのお世話」38.8%、「食事（食事の準備や掃除、洗濯）」36.6%となっている。国調査と比較すると、「入浴やトイレのお世話」が19.9ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=134)	国(R3年度) (n=631)
1	食事(食事の準備や掃除、洗濯)	36.6%	35.2%
2	きょうだいのお世話や送り迎え	19.4%	28.5%
3	入浴やトイレのお世話	38.8%	18.9%
4	買い物や散歩と一緒にいく	18.7%	18.4%
5	病院へ一緒に行く	5.2%	4.0%
6	話を聞く	17.2%	26.3%
7	見守り	47.8%	40.4%
8	通訳(日本語や手話など)	0.7%	3.2%
9	お金の管理	2.2%	2.4%
10	薬の管理	3.0%	3.3%
11	その他	5.2%	5.5%
12	無回答	8.2%	12.7%

⑧ 世話を一緒にしている人（小学生）（複数回答）

世話を一緒にしている人については、「お母さん」61.9%が最も高く、次いで「お父さん」「きょうだい」がともに47.8%となっている。国調査と比較すると、「きょうだい」は11.8ポイント高くなっている。

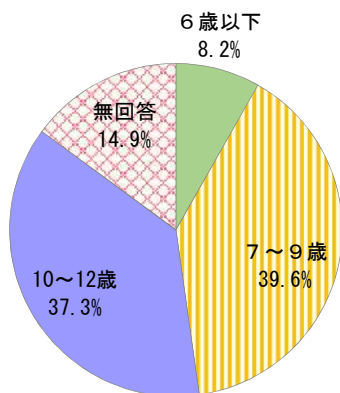


No.	選択肢	今回調査 (n=134)	国(R3年度) (n=631)
1	お母さん	61.9%	64.2%
2	お父さん	47.8%	47.1%
3	おばあさん	13.4%	11.6%
4	おじいさん	8.2%	5.4%
5	きょうだい	47.8%	36.0%
6	しんせきの人	3.7%	3.2%
7	自分のみ	10.4%	10.6%
8	福祉サービス(ヘルパーなど)を利用	1.5%	2.4%
9	その他	2.2%	0.5%
10	無回答	10.4%	11.1%

⑨ 世話を始めた年齢（小学生）

世話を始めた年齢については、「7～9歳」39.6%が最も高く、次いで「10～12歳」37.3%、「6歳以下」8.2%となっている。国調査と比較すると、「6歳以下」は9.1ポイント低く、「7～9歳」は8.7ポイント高くなっている。

(n=134)

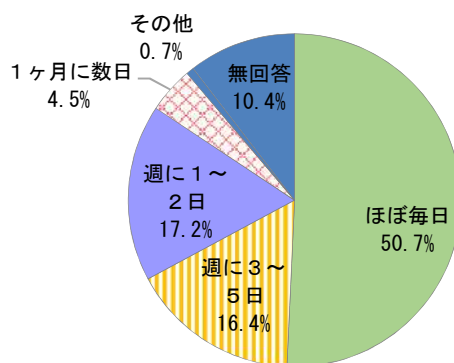


No.	選択肢	今回調査 (n=134)	国(R3年度) (n=631)
1	6歳以下	8.2%	17.3%
2	7～9歳	39.6%	30.9%
3	10～12歳	37.3%	40.4%
4	無回答	14.9%	11.4%
	合計	100.0%	100.0%

⑩ 世話をしている頻度（小学生）

世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」50.7%が最も高く、次いで「週に1～2日」17.2%、「週に3～5日」16.4%となっている。国調査と比較すると、大きな差異は見られない。

(n=134)

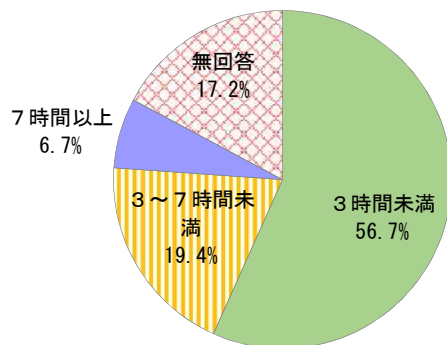


No.	選択肢	今回調査 (n=134)	国(R3年度) (n=631)
1	ほぼ毎日	50.7%	52.9%
2	週に3～5日	16.4%	16.0%
3	週に1～2日	17.2%	14.4%
4	1ヶ月に数日	4.5%	5.5%
5	その他	0.7%	1.4%
6	無回答	10.4%	9.7%
	合計	100.0%	100.0%

⑪ 平日1日あたりの世話に費やす時間（小学生）

平日1日あたりに世話に費やす時間については、「3時間未満」56.7%、「3～7時間未満」19.4%、「7時間以上」6.7%となっている。国調査と比較すると、「3時間未満」は4.3ポイント高くなっている。

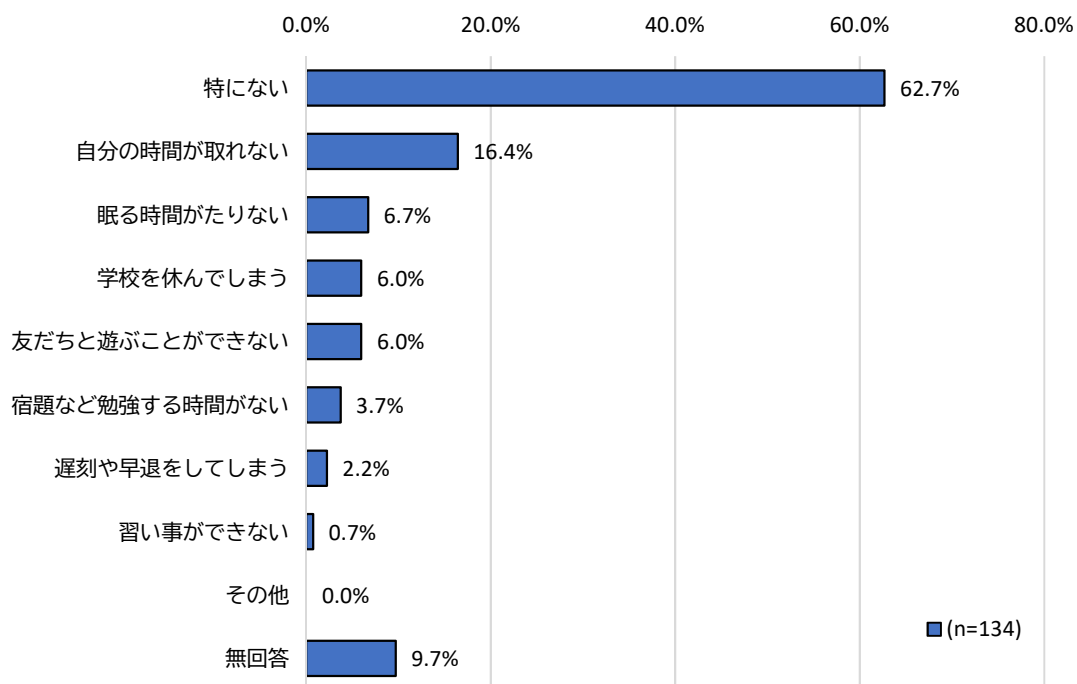
(n=134)



No.	選択肢	今回調査 (n=134)	国(R3年度) (n=631)
1	3時間未満	56.7%	52.4%
2	3～7時間未満	19.4%	22.8%
3	7時間以上	6.7%	7.1%
4	無回答	17.2%	17.6%
	合計	100.0%	100.0%

⑫ 世話をしているためにやりたいけれどできないこと（小学生）（複数回答）

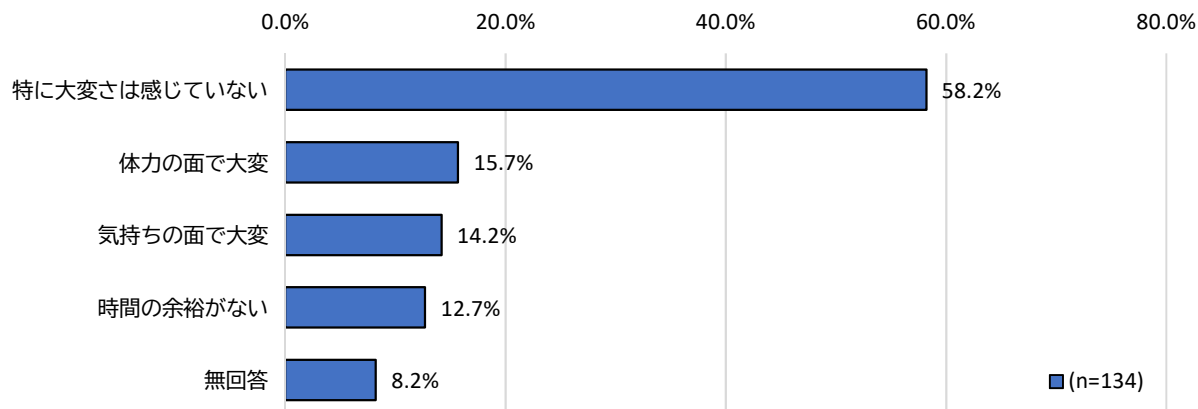
世話をしているためにやりたいけれどできないことについては、「特にない」62.7%が最も高く、次いで「自分の時間が取れない」16.4%、「眠る時間がたりない」6.7%となっている。国調査と比較すると、「学校を休んでしまう」は3.1ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=134)	国(R3年度) (n=631)
1	学校を休んでしまう	6.0%	2.9%
2	遅刻や早退をしてしまう	2.2%	3.2%
3	宿題など勉強する時間がない	3.7%	7.8%
4	眠る時間がたりない	6.7%	6.7%
5	友だちと遊ぶことができない	6.0%	10.1%
6	習い事ができない	0.7%	1.0%
7	自分の時間が取れない	16.4%	15.1%
8	その他	0.0%	1.1%
9	特にない	62.7%	63.9%
10	無回答	9.7%	8.7%

⑬ 世話の大変さ（小学生）（複数回答）

世話の大変さについては、「特に大変さは感じていない」58.2%が最も高く、次いで「体力の面で大変」15.7%、「気持ちの面で大変」14.2%となっている。国調査と比較して、大きな差異は見られない。

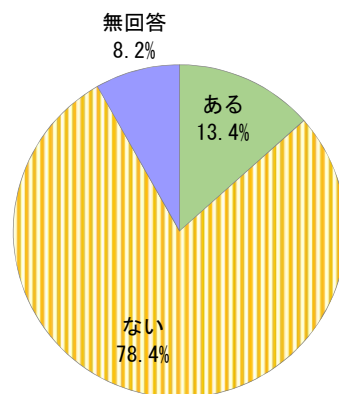


No.	選択肢	今回調査 (n=134)	国(R3年度) (n=631)
1	体力の面で大変	15.7%	13.9%
2	気持ちの面で大変	14.2%	18.4%
3	時間の余裕がない	12.7%	14.6%
4	特に大変さは感じていない	58.2%	57.4%
5	無回答	8.2%	8.7%

⑭ 世話について相談した経験（小学生）

世話について相談した経験については、「ある」13.7%、「ない」78.4%となっている。国調査と比較すると、「ある」は3.9ポイント低くなっている。

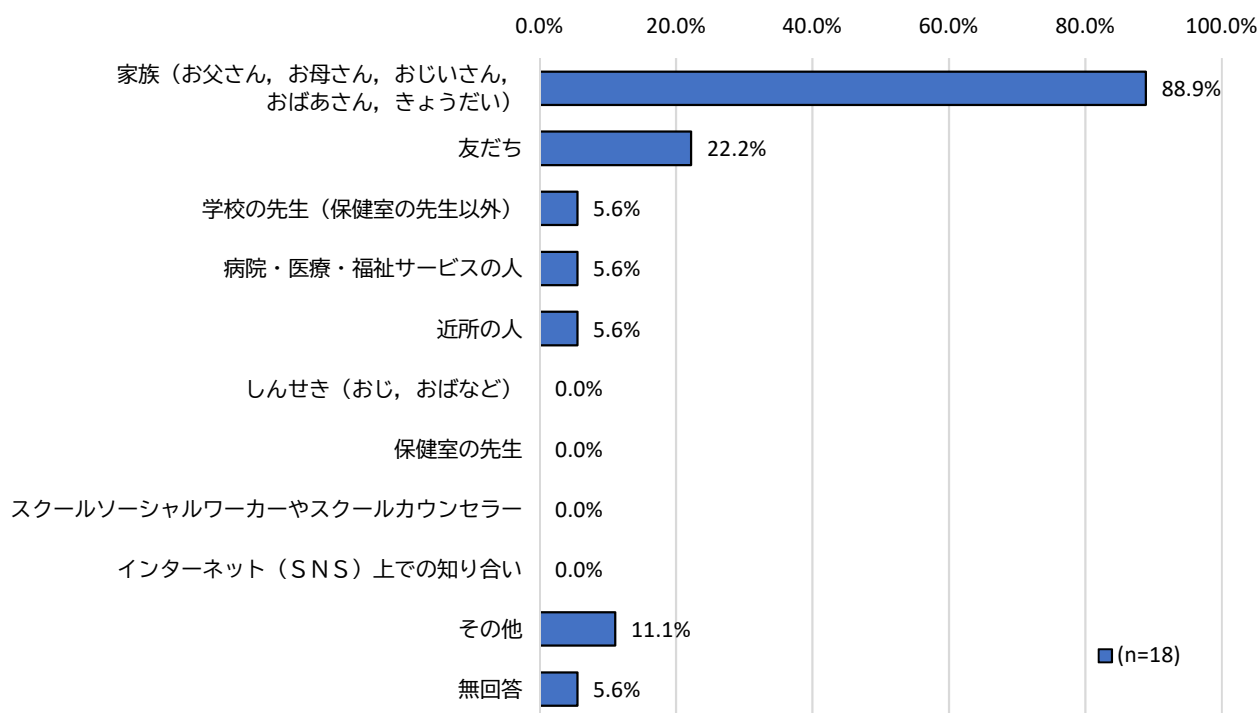
(n=134)



No.	選択肢	今回調査 (n=134)	国(R3年度) (n=631)
1	ある	13.4%	17.3%
2	ない	78.4%	76.1%
3	無回答	8.2%	6.7%
	合計	100.0%	100.0%

⑮ 世話についての相談相手（複数回答）（小学生）

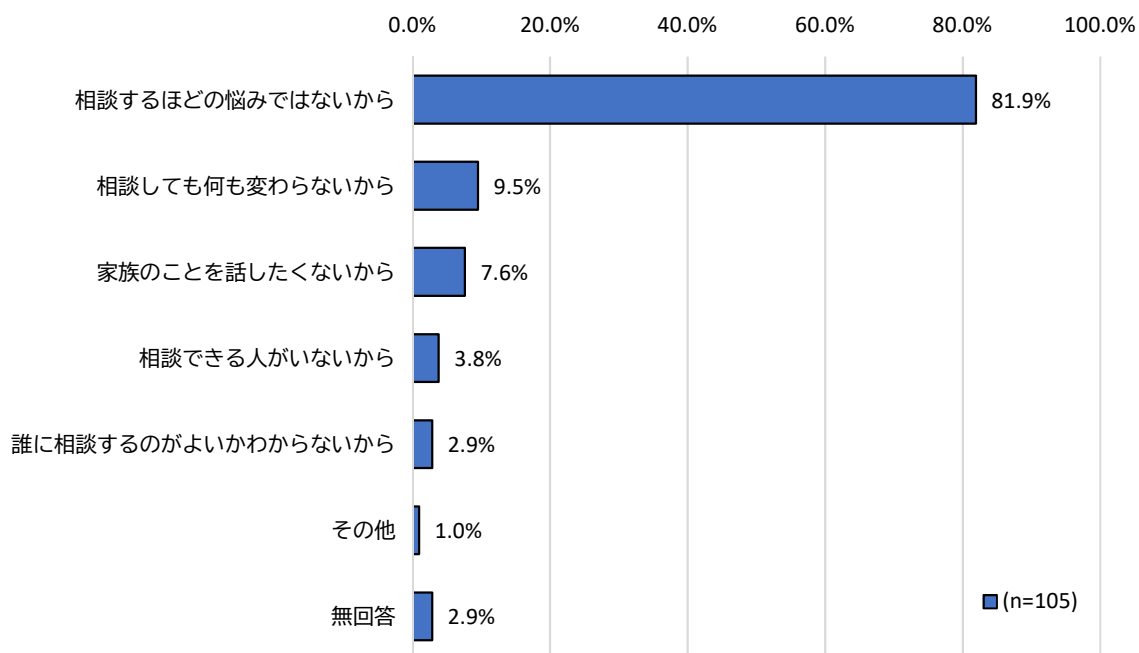
世話についての相談相手については、「家族（お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、きょうだい）」88.9%が最も高く、次いで「友だち」22.2%、「その他」11.1%となっている。国調査と比較すると、「家族（お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、きょうだい）」は10.0ポイント高く、「友だち」は18.2ポイント低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=18)	国（R3年度） (n=109)
1	家族（お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、きょうだい）	88.9%	78.9%
2	しんせき（おじ、おばなど）	0.0%	10.1%
3	友だち	22.2%	40.4%
4	学校の先生（保健室の先生以外）	5.6%	13.8%
5	保健室の先生	0.0%	5.5%
6	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	0.0%	3.7%
7	病院・医療・福祉サービスの人	5.6%	1.8%
8	近所の人	5.6%	1.8%
9	インターネット（SNS）上での知り合い	0.0%	4.6%
10	その他	11.1%	1.8%
11	無回答	5.6%	0.0%

⑩ 世話について相談したことがない理由（小学生）（複数回答）

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「相談するほどの悩みではないから」81.9%が最も高く、次いで「相談しても何も変わらないから」9.5%、「家族のことを話したくないから」7.6%となっている。国調査と比較すると、「相談するほどの悩みではないから」は9.2ポイント高くなっている。

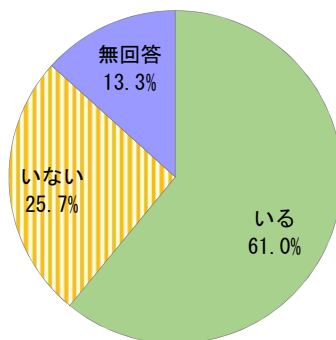


No.	選択肢	今回調査 (n=105)	国(R3年度) (n=480)
1	相談するほどの悩みではないから	81.9%	72.7%
2	誰に相談するのがよいかわからないから	2.9%	4.2%
3	相談できる人がいないから	3.8%	4.6%
4	家族のことを話したくないから	7.6%	5.4%
5	相談しても何も変わらないから	9.5%	13.3%
6	その他	1.0%	4.0%
7	無回答	2.9%	10.8%

⑰ 世話について話を聞いてくれる人の有無（小学生）

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」61.0%、「いない」25.7%となっている。国調査と比較すると、「いる」は6.7ポイント低くなっている。

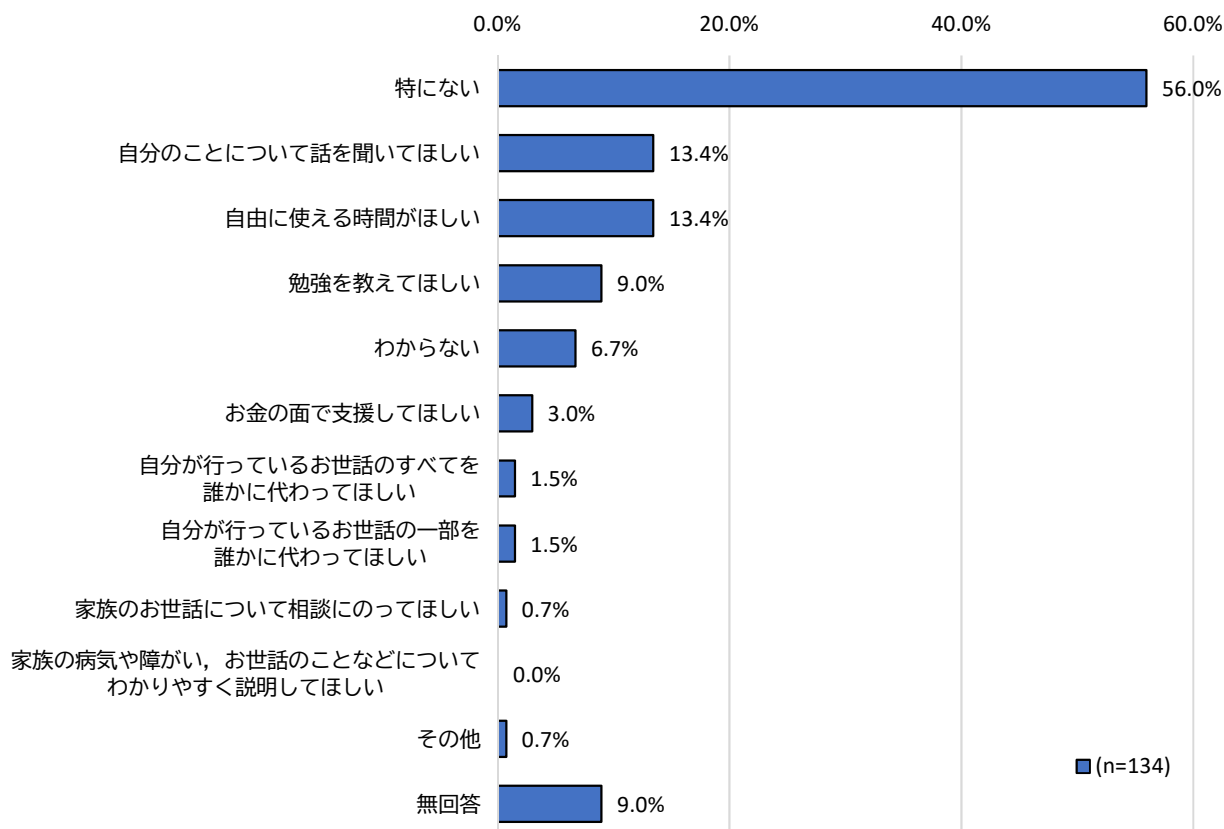
(n=105)



No.	選択肢	今回調査 (n=105)	国(R3年度) (n=480)
1	いる	61.0%	67.7%
2	いない	25.7%	21.9%
3	無回答	13.3%	10.4%
	合計	100.0%	100.0%

⑱ 学校や大人にしてもらいたいこと（複数回答）（小学生）

学校や大人にしてもらいたいことについては、「特にない」56.0%が最も高く、「自分のことについて話を聞いてほしい」「自由に使える時間がほしい」がともに13.4%となっている。国調査と比較すると、「特にない」は5.1ポイント高くなっている。

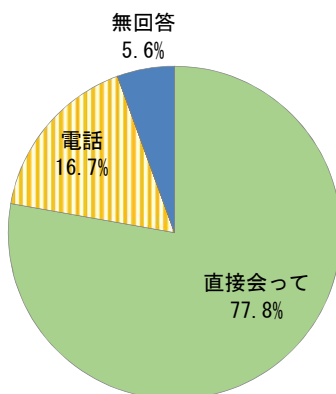


No.	選択肢	今回調査 (n=134)	国(R3年度) (n=631)
1	自分のことについて話を聞いてほしい	13.4%	11.9%
2	家族のお世話について相談にのってほしい	0.7%	4.6%
3	家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	0.0%	1.9%
4	自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい	1.5%	3.0%
5	自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい	1.5%	6.5%
6	自由に使える時間がほしい	13.4%	15.2%
7	勉強を教えてほしい	9.0%	13.3%
8	お金の面で支援してほしい	3.0%	5.4%
9	その他	0.7%	1.3%
10	特にない	56.0%	50.9%
11	わからない	6.7%	6.7%
12	無回答	9.0%	8.1%

⑱ 希望する相談方法（小学生）

前問で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に希望する相談方法について聞いたところ、「直接会って」77.8%、「電話」16.7%となっている。国調査と比較すると、「直接会って」は24.3ポイント高くなっている。

(n=18)



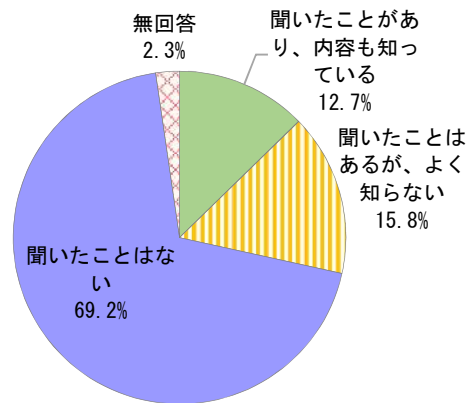
選択肢	今回調査 (n=18)	国(R3年度) (n=86)
直接会って	77.8%	53.5%
電話	16.7%	19.8%
インターネット(SNS)	0.0%	19.8%
電子メール	0.0%	12.8%
その他	0.0%	9.3%
無回答	5.6%	5.8%
合計	100.0%	-

(4) ヤングケアラーについて

① 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか（小学生）

「ヤングケアラー」という言葉の認知度については、「聞いたことはない」69.2%が最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」15.8%、「聞いたことがあり、内容も知っている」12.7%となっている。

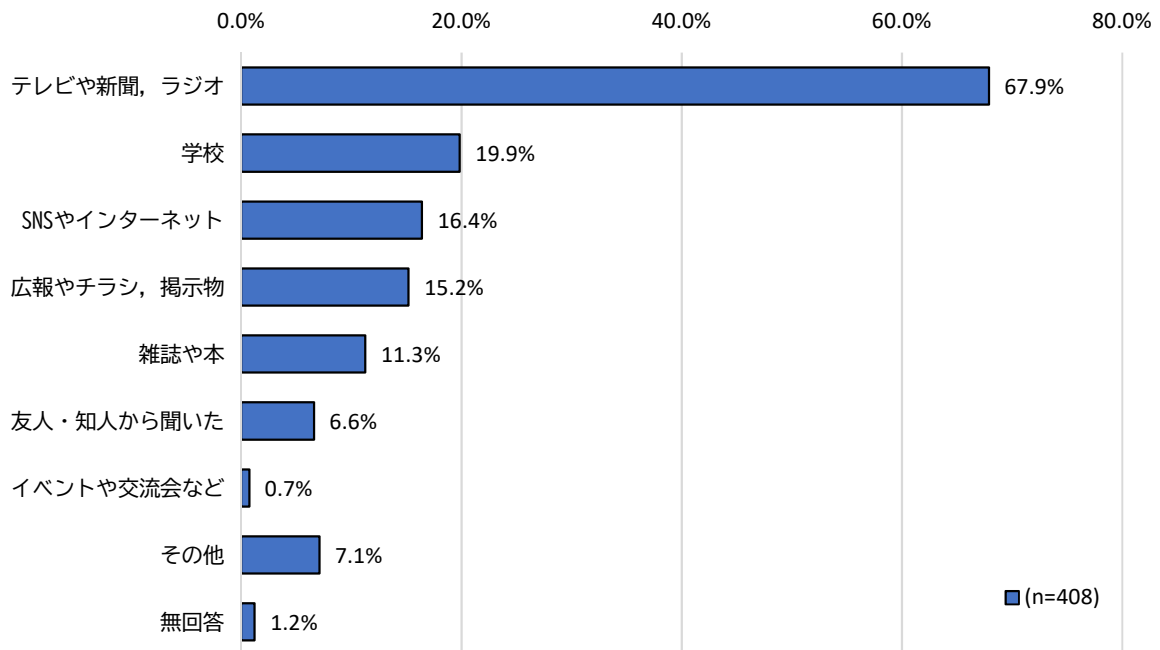
(n=1,433)



No.	選択肢	今回調査 (n=1,433)	国(R3年度)
1	聞いたことがあり、内容も知っている	12.7%	-
2	聞いたことはあるが、よく知らない	15.8%	-
3	聞いたことはない	69.2%	-
4	無回答	2.3%	-
	合計	100.0%	-

② 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか（小学生）（複数回答）

「ヤングケアラー」という言葉について「聞いたことがあり、内容も知っている」、聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した人に、どこで知ったかについて聞いたところ、「テレビや新聞、ラジオ」67.9%が最も高く、次いで「学校」67.9%、「SNS やインターネット」16.4%となっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=408)	国 (R3年度)
1	テレビや新聞, ラジオ	67.9%	-
2	雑誌や本	11.3%	-
3	SNSやインターネット	16.4%	-
4	広報やチラシ, 掲示物	15.2%	-
5	イベントや交流会など	0.7%	-
6	学校	19.9%	-
7	友人・知人から聞いた	6.6%	-
8	その他	7.1%	-
9	無回答	1.2%	-

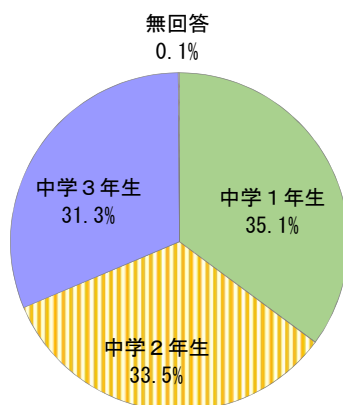
Ⅲ 調査結果（中学生）

（1）基本情報

① 学年（中学生）

回答者の性別は、「中学1年生」35.1%、「中学2年生」33.5%、「中学3年生」31.3%となっている。

(n=4,155)

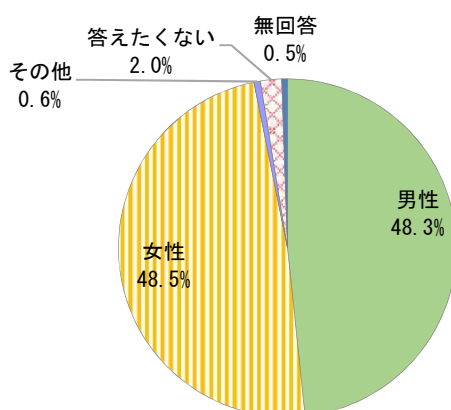


No.	選択肢	今回調査 (n=4,155)	国(R2年度) (n=5,558)
1	中学1年生	35.1%	-
2	中学2年生	33.5%	100.0%
3	中学3年生	31.3%	-
4	無回答	0.1%	-
	合計	100.0%	100.0%

② 性別（中学生）

回答者の性別は、「男性」48.3%、「女性」48.5%、「その他」0.6%、「答えたくない」2.0%となっている。

(n=4,155)



No.	選択肢	今回調査 (n=4,155)	国(R2年度) (n=5,558)
1	男性	48.3%	43.7%
2	女性	48.5%	55.2%
3	その他	0.6%	1.0%
4	答えたくない	2.0%	-
5	無回答	0.5%	0.1%
	合計	100.0%	100.0%

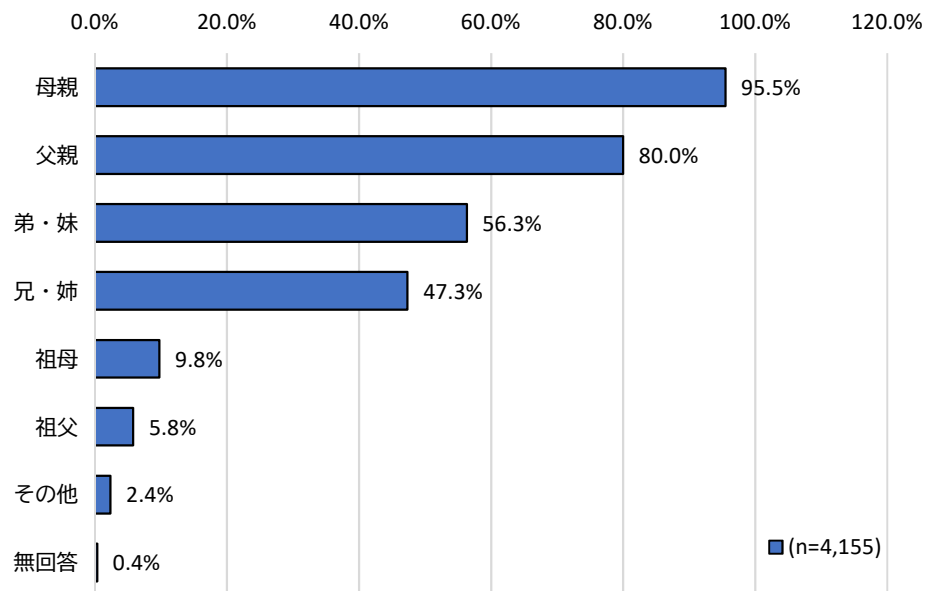
③ 居住地（中学生）

回答者の居住地は、以下の通り。

番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数
1	鹿児島市	866	12	霧島市	365	23	長島町	71	34	宇検村	5
2	鹿屋市	181	13	いちき串木野市	94	24	湧水町	68	35	瀬戸内町	3
3	枕崎市	80	14	南さつま市	119	25	大崎町	91	36	龍郷町	76
4	阿久根市	2	15	志布志市	77	26	東串良町	81	37	喜界町	70
5	出水市	98	16	奄美市	128	27	錦江町	110	38	徳之島町	91
6	指宿市	98	17	南九州市	85	28	南大隅町	41	39	天城町	21
7	西之表市	87	18	伊佐市	-	29	肝付町	6	40	伊仙町	60
8	垂水市	77	19	姶良市	229	30	中種子町	81	41	和泊町	43
9	薩摩川内市	244	20	三島村	30	31	南種子町	76	42	知名町	75
10	日置市	71	21	十島村	27	32	屋久島町	6	43	与論町	48
11	曾於市	5	22	さつま町	59	33	大和村	-	44	無回答	10

④ 同居家族（中学生）（複数回答）

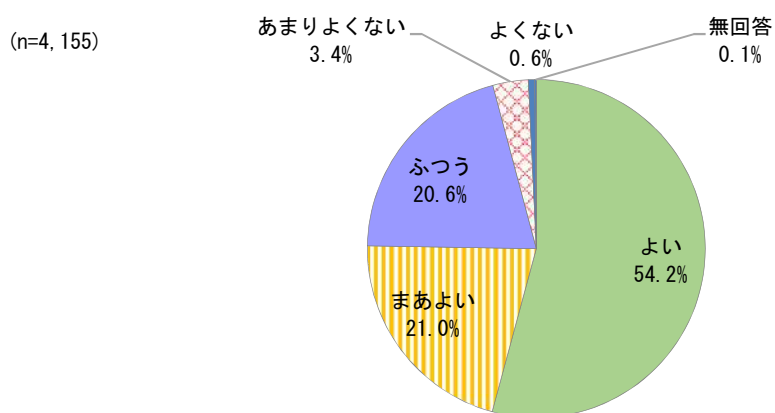
同居家族は、「母親」95.5%が最も高く、次いで「父親」80.0%、「弟・妹」56.3%となっている。国調査と比較すると、「兄・姉」「弟・妹」と回答した割合は高く、「祖母」「祖父」と回答した割合は低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=4,155)	国(R2年度) (n=5,558)
1	母親	95.5%	97.5%
2	父親	80.0%	85.4%
3	祖母	9.8%	16.5%
4	祖父	5.8%	10.9%
5	兄・姉	47.3%	43.7%
6	弟・妹	56.3%	50.7%
7	その他	2.4%	1.9%
8	無回答	0.4%	0.3%

⑤ 健康状態（中学生）

健康状態は、「よい」54.2%、「まあよい」21.0%、「ふつう」20.6%、「あまりよくない」3.4%となっている。国調査と比較して、大きな差異は見られない。

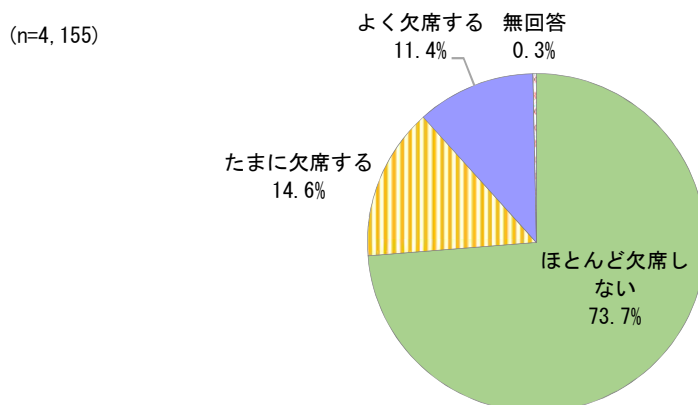


No.	選択肢	今回調査 (n=4,155)	国(R2年度) (n=5,558)
1	よい	54.2%	56.7%
2	まあよい	21.0%	19.6%
3	ふつう	20.6%	19.1%
4	あまりよくない	3.4%	3.8%
5	よくない	0.6%	0.6%
6	無回答	0.1%	0.2%
	合計	100.0%	100.0%

(2) 普段の生活について

① 出欠状況（中学生）

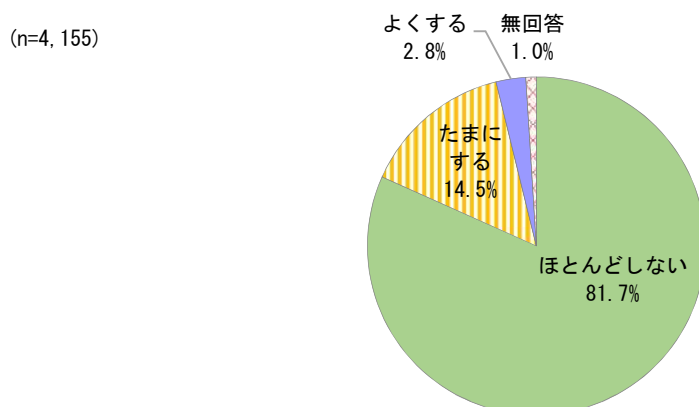
出席状況については、「ほとんど欠席しない」73.7%、「たまに欠席する」14.6%、「よく欠席する」11.4%となっている。国調査と比較すると、「ほとんど欠席しない」は8.9ポイント低く、「たまに欠席する」は6.6ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=4,155)	国(R2年度) (n=5,558)
1	ほとんど欠席しない	73.7%	82.6%
2	たまに欠席する	14.6%	8.0%
3	よく欠席する	11.4%	9.4%
4	無回答	0.3%	0.1%
	合計	100.0%	100.0%

② 遅刻や早退の状況（中学生）

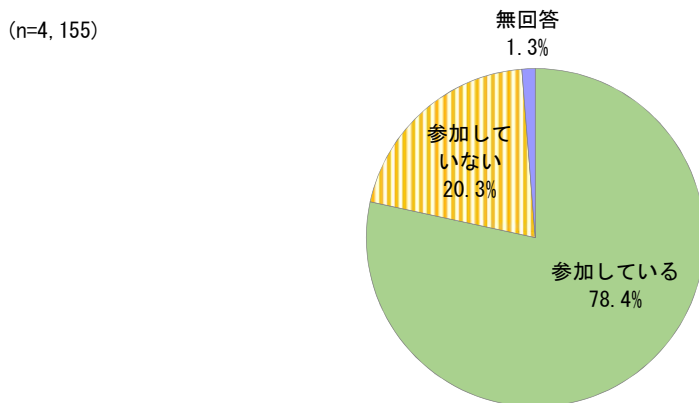
遅刻や早退の状況については、「ほとんどしない」81.7%、「たまにする」14.5%、「よくする」2.8%となっている。国調査と比較すると、「ほとんどしない」は7.1ポイント低く、「たまにする」は5.8ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=4,155)	国(R2年度) (n=5,558)
1	ほとんどしない	81.7%	88.8%
2	たまにする	14.5%	8.7%
3	よくする	2.8%	2.4%
4	無回答	1.0%	0.1%
	合計	100.0%	100.0%

③ 部活動などへの参加状況（中学生）

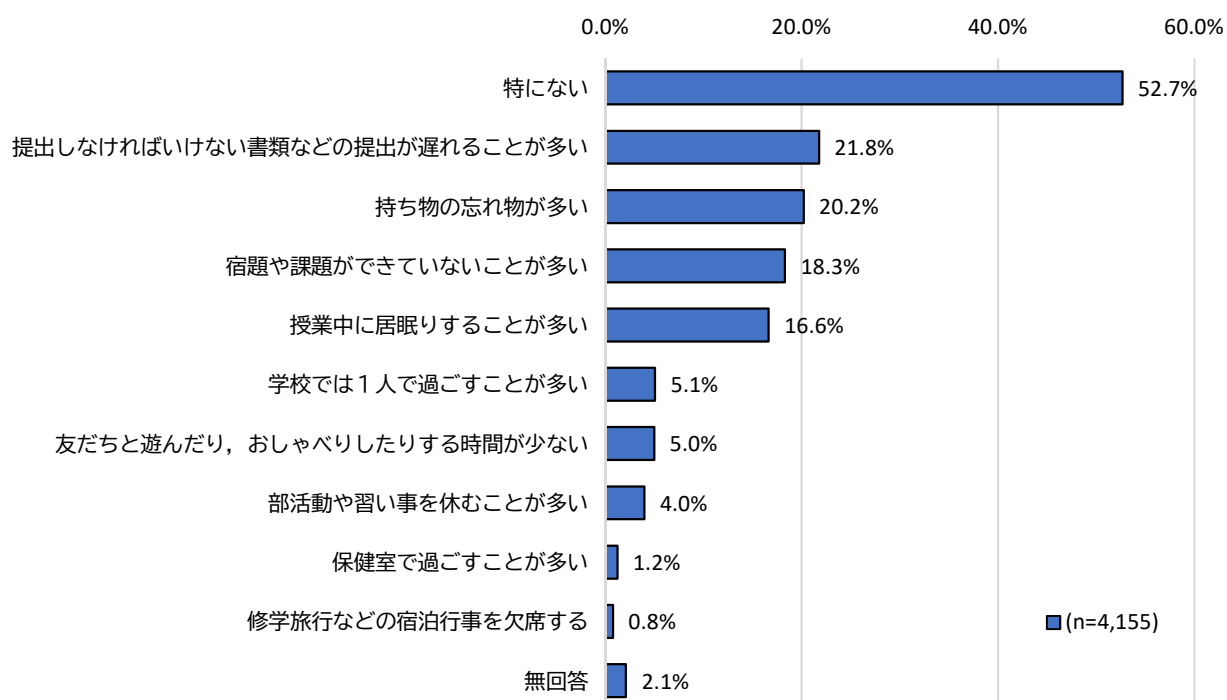
部活動などへの参加状況については、「参加している」78.4%、「参加していない」20.3%となっている。国調査と比較すると、「参加している」は9.5ポイント低く、「参加していない」は8.6ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=4,155)	国(R2年度) (n=5,558)
1	参加している	78.4%	87.9%
2	参加していない	20.3%	11.7%
3	無回答	1.3%	0.4%
	合計	100.0%	100.0%

④ 普段の学校生活などであてはまること（中学生）（複数回答）

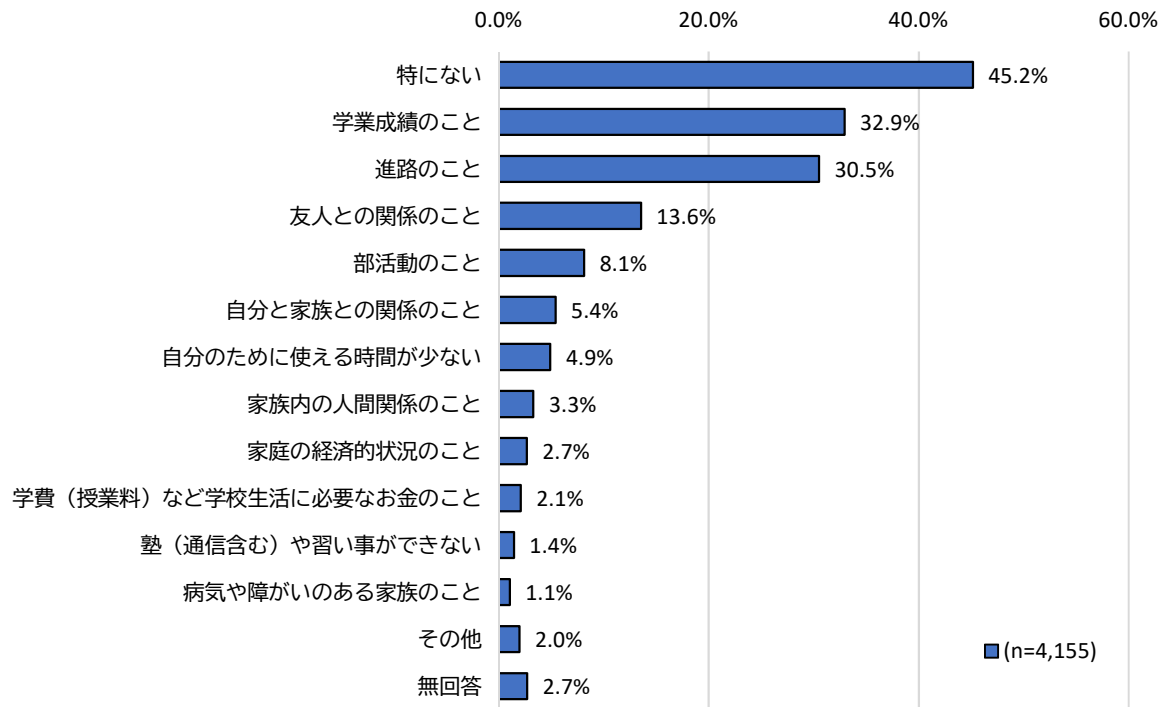
普段の学校生活などであてはまることについては、「特にない」52.7%が最も高く、次いで「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」21.8%、「持ち物の忘れ物が多い」20.2%となっている。国調査と比較すると、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」は7.7ポイント、「持ち物の忘れ物が多い」は7.0ポイント高くなっている。一方、「特にない」は10.0ポイント低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=4,155)	国(R2年度) (n=5,558)
1	授業中に居眠りすることが多い	16.6%	12.7%
2	宿題や課題ができていないことが多い	18.3%	12.3%
3	持ち物の忘れ物が多い	20.2%	13.2%
4	部活動や習い事を休むことが多い	4.0%	5.3%
5	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	21.8%	14.1%
6	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	0.8%	0.7%
7	保健室で過ごすことが多い	1.2%	1.3%
8	学校では1人で過ごすことが多い	5.1%	6.9%
9	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	5.0%	7.0%
10	特にない	52.7%	62.7%
11	無回答	2.1%	1.9%

⑤ 現在の悩みごと（中学生）（複数回答）

現在の悩みごとについては、「特にない」45.2%が最も高く、次いで「学業成績のこと」32.9%、「進路のこと」30.5%となっている。国調査と比較すると、「部活動のこと」は6.8ポイント、「進路のこと」は6.7ポイント低くなっている。

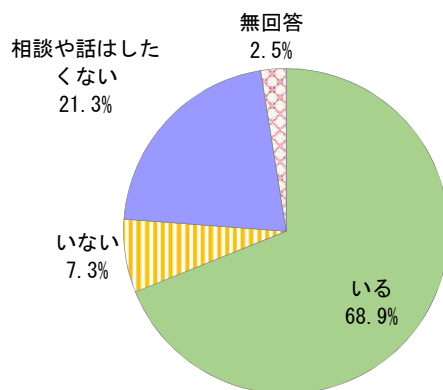


No.	選択肢	今回調査 (n=4,155)	国(R2年度) (n=5,558)
1	友人との関係のこと	13.6%	15.6%
2	学業成績のこと	32.9%	33.7%
3	進路のこと	30.5%	37.2%
4	部活動のこと	8.1%	14.9%
5	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	2.1%	3.0%
6	塾（通信含む）や習い事ができない	1.4%	2.1%
7	家庭の経済的状況のこと	2.7%	4.3%
8	自分と家族との関係のこと	5.4%	6.3%
9	家族内の人間関係のこと	3.3%	4.5%
10	病気や障がいのある家族のこと	1.1%	1.9%
11	自分のために使える時間が少ない	4.9%	5.8%
12	その他	2.0%	3.4%
13	特にない	45.2%	41.0%
14	無回答	2.7%	0.7%

⑥ 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無（中学生）

前問で何らかの悩みごとがあると回答した人に、話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」68.9%が最も高く、次いで「相談や話はしたくない」21.3%、「いない」7.3%となっている。国調査と比較すると、「いる」は3.5ポイント低くなっている。

(n=2,167)



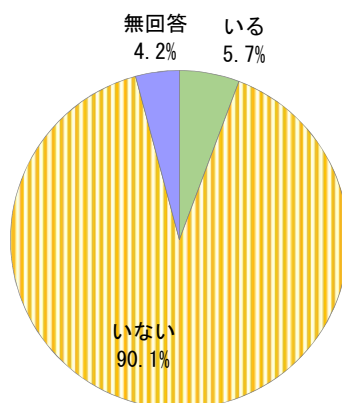
No.	選択肢	今回調査 (n=2,167)	国(R2年度) (n=3,184)
1	いる	68.9%	72.4%
2	いない	7.3%	4.6%
3	相談や話はしたくない	21.3%	22.6%
4	無回答	2.5%	0.5%
	合計	100.0%	100.0%

(3) 家庭や家族のことについて

① 世話をしている家族の有無（中学生）

世話をしている家族の有無については、「いる」が5.7%、「いない」90.1%となっている。国調査と比較すると、「いない」は3.5ポイント低くなっている。

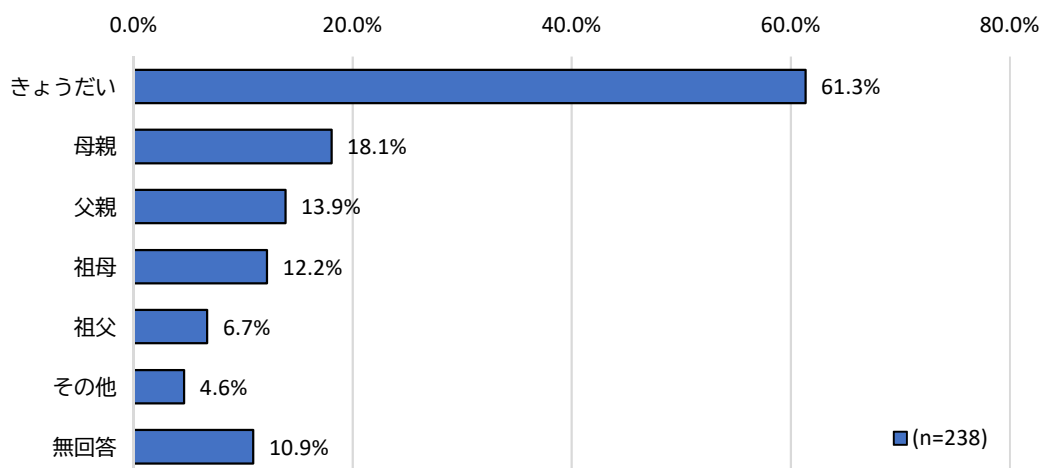
(n=4,155)



No.	選択肢	今回調査 (n=4,155)	国(R2年度) (n=5,558)
1	いる	5.7%	5.7%
2	いない	90.1%	93.6%
3	無回答	4.2%	0.6%
	合計	100.0%	100.0%

② 世話を必要としている家族（中学生）（複数回答）

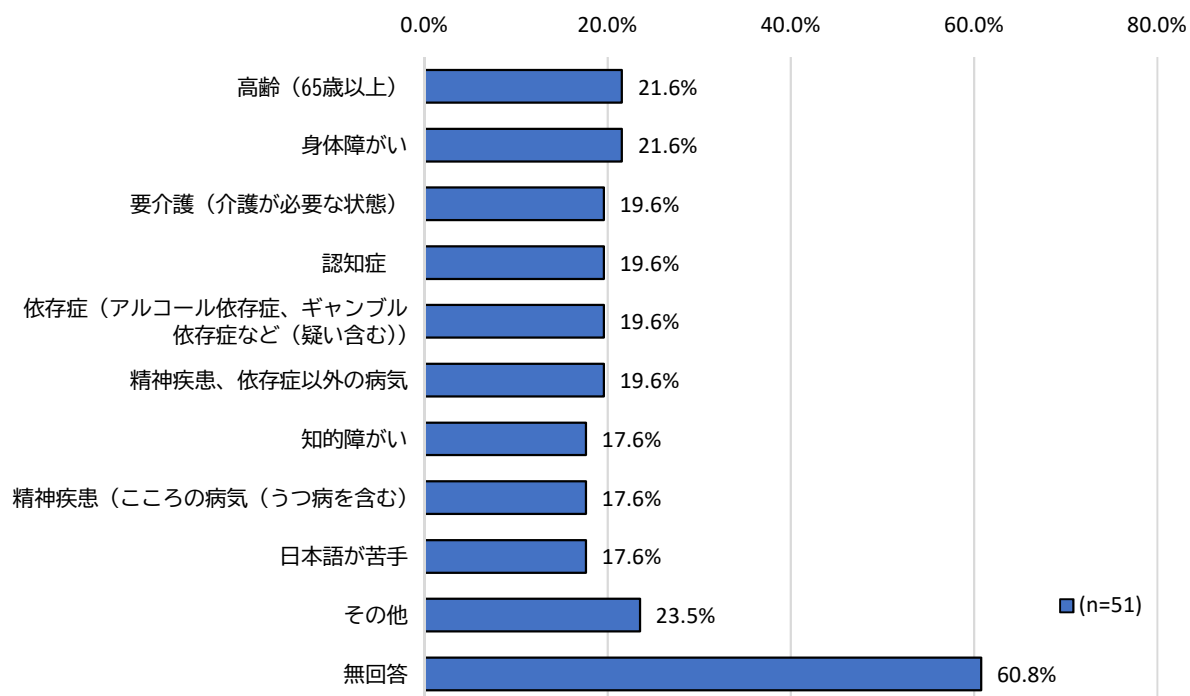
世話を必要としている家族については、「きょうだい」61.3%が最も高く、次いで「母親」18.1%、「父親」13.9%となっている。国調査と比較すると、「母親+父親」は6.5ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=238)	国(R2年度) (n=319)
1	母親	18.1%	23.5%
2	父親	13.9%	14.7%
3	祖母	12.2%	61.8%
4	祖父	6.7%	3.8%
5	きょうだい	61.3%	9.4%
6	その他	4.6%	
7	無回答	10.9%	

③ 父母の状況（複数回答）（中学生）

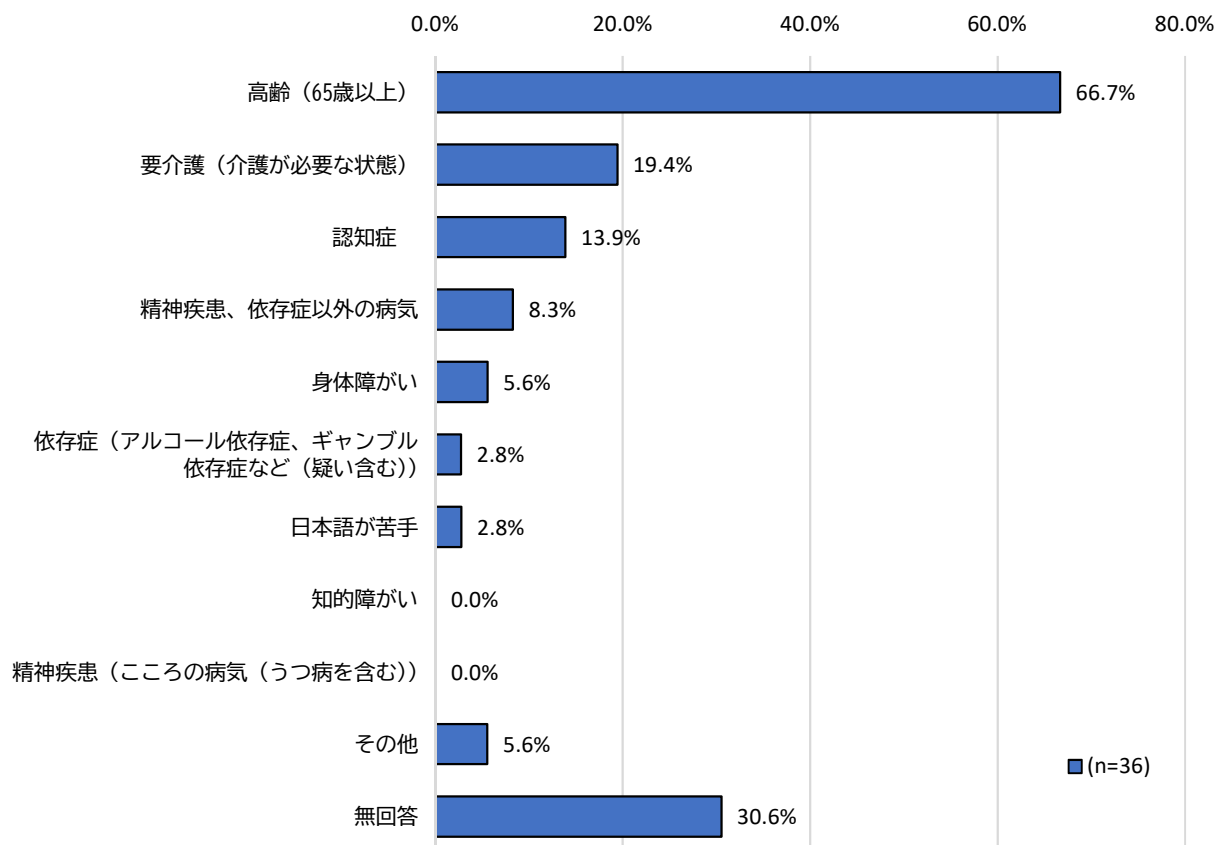
世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、父母の状況を聞いたところ、「高齢（65歳以上）」、「身体障がい」がともに21.6%と最も高くなっている。国調査と比較すると、「精神疾患（こころの病気（うつ病を含む）+依存症（アルコール依存症、ギャンブル依存症など（疑い含む）」は19.9ポイント、「要介護（介護が必要な状態）」は12.9ポイント、「知的障がい」は12.2ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=51)	国(R2年度) (n=75)
1	高齢(65歳以上)	21.6%	13.3%
2	要介護(介護が必要な状態)	19.6%	6.7%
3	認知症	19.6%	5.3%
4	身体障がい	21.6%	20.0%
5	知的障がい	17.6%	5.3%
6	精神疾患(こころの病気(うつ病を含む))	17.6%	17.3%
7	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など(疑い含む))	19.6%	
8	精神疾患、依存症以外の病気	19.6%	12.0%
9	日本語が苦手	17.6%	-
10	その他	23.5%	18.7%
11	無回答	60.8%	32.0%

④ 祖父母の状況（中学生）（複数回答）

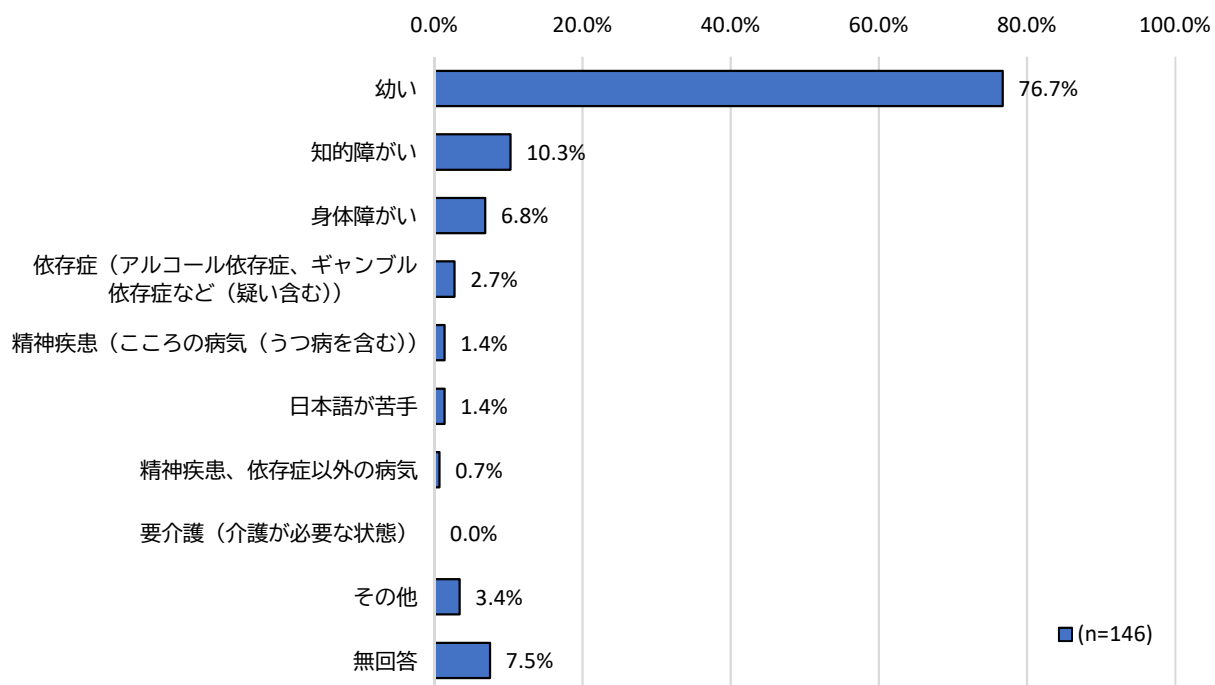
世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、祖父母の状況を聞いたところ、「高齢（65歳以上）」66.7%が最も高く、次いで「要介護（介護が必要な状態）」19.4%、「認知症」13.9%となっている。国調査と比較すると、概ねの項目で回答した割合が低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=36)	国(R2年度) (n=47)
1	高齢(65歳以上)	66.7%	80.9%
2	要介護(介護が必要な状態)	19.4%	27.7%
3	認知症	13.9%	19.1%
4	身体障がい	5.6%	17.0%
5	知的障がい	0.0%	6.4%
6	精神疾患(こころの病気(うつ病を含む))	0.0%	8.5%
7	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など(疑い含む))	2.8%	-
8	精神疾患、依存症以外の病気	8.3%	8.5%
9	日本語が苦手	2.8%	-
10	その他	5.6%	6.4%
11	無回答	30.6%	8.5%

⑤ きょうだいの状況（中学生）（複数回答）

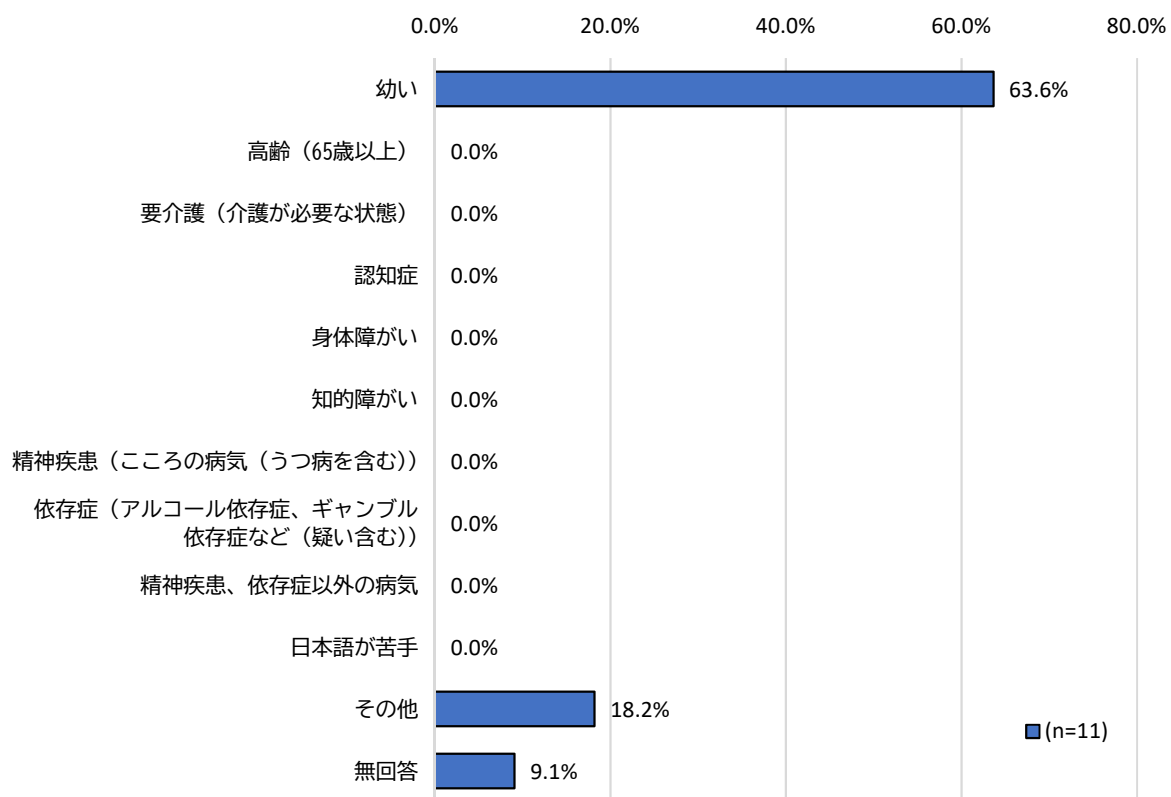
世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した人に、きょうだいの状況を聞いたところ、「若い」76.7%が最も高く、次いで「知的障がい」10.3%、「身体障がい」6.8%となっている。国調査と比較すると、「若い」は3.6ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=146)	国 (R2年度) (n=197)
1	若い	76.7%	73.1%
2	要介護 (介護が必要な状態)	0.0%	-
3	身体障がい	6.8%	5.6%
4	知的障がい	10.3%	14.7%
5	精神疾患 (こころの病気 (うつ病を含む))	1.4%	-
6	依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など (疑い含む))	2.7%	4.6%
7	精神疾患、依存症以外の病気	0.7%	0.5%
8	日本語が苦手	1.4%	-
9	その他	3.4%	5.6%
10	無回答	7.5%	9.6%

⑥ その他の家族の状況（中学生）（複数回答）

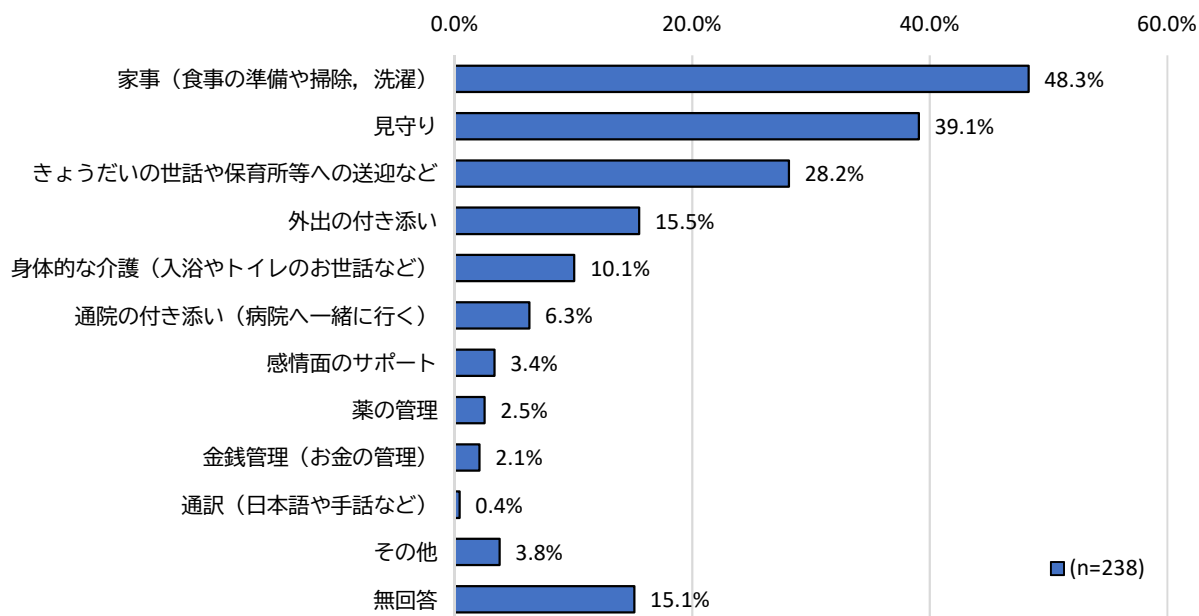
世話を必要としている家族として「その他」と回答した人に、その他の人の状況を聞いたところ、「若い」63.6%が最も高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=11)	国(R2年度)
1	高齢(65歳以上)	0.0%	-
2	若い	63.6%	-
3	要介護(介護が必要な状態)	0.0%	-
4	認知症	0.0%	-
5	身体障がい	0.0%	-
6	知的障がい	0.0%	-
7	精神疾患(こころの病気(うつ病を含む))	0.0%	-
8	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など(疑い含む))	0.0%	-
9	精神疾患、依存症以外の病気	0.0%	-
10	日本語が苦手	0.0%	-
11	その他	18.2%	-
12	無回答	9.1%	-

⑦ 世話の内容（中学生）（複数回答）

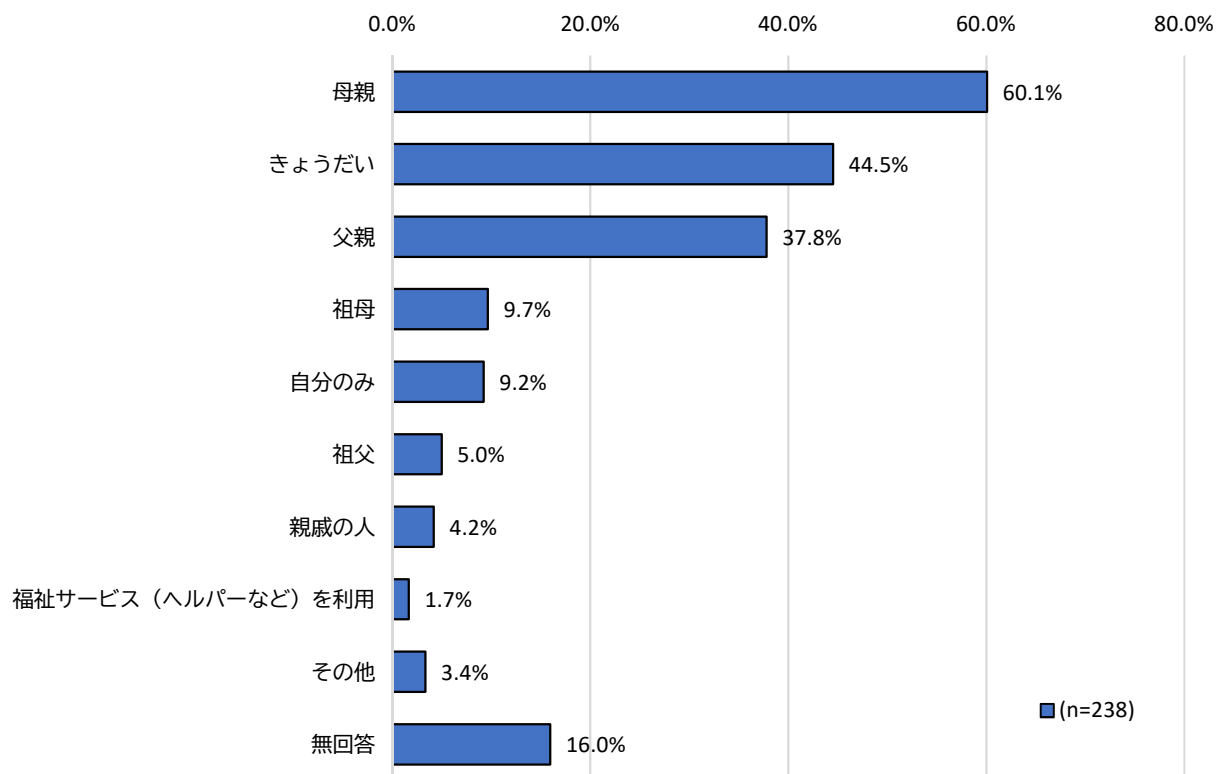
世話をしている家族がいると回答した人に、世話の内容について聞いたところ、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」48.3%が最も高く、次いで「見守り」39.1%、「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」28.2%となっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=238)	国(R2年度) (n=197)
1	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	48.3%	37.6%
2	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	28.2%	34.0%
3	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	10.1%	20.8%
4	外出の付き添い	15.5%	21.3%
5	通院の付き添い(病院へ一緒に行く)	6.3%	2.0%
6	感情面のサポート	3.4%	21.3%
7	見守り	39.1%	68.0%
8	通訳(日本語や手話など)	0.4%	3.0%
9	金銭管理(お金の管理)	2.1%	2.5%
10	薬の管理	2.5%	3.0%
11	その他	3.8%	5.1%
12	無回答	15.1%	5.1%

⑧ 世話を一緒にしている人（中学生）（複数回答）

世話を一緒にしている人については、「母親」60.1%が最も高く、次いで「きょうだい」44.5%、「父親」37.8%となっている。国調査と比較すると、「きょうだい」は8.8ポイント高く、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」は4.6ポイント低くなっている。

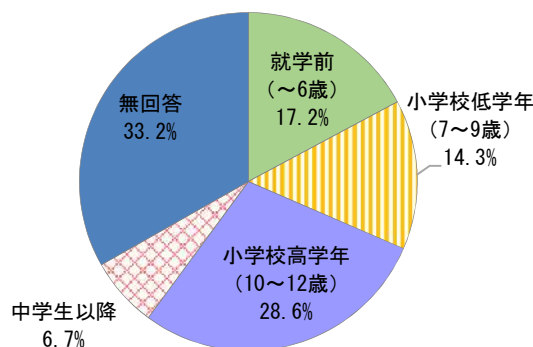


No.	選択肢	今回調査 (n=238)	国(R2年度) (n=319)
1	母親	60.1%	58.3%
2	父親	37.8%	35.7%
3	祖母	9.7%	16.0%
4	祖父	5.0%	6.9%
5	きょうだい	44.5%	35.7%
6	親戚の人	4.2%	5.0%
7	自分のみ	9.2%	9.1%
8	福祉サービス(ヘルパーなど)を利用	1.7%	6.3%
9	その他	3.4%	1.9%
10	無回答	16.0%	14.1%

⑨ 世話を始めた年齢（中学生）

世話を始めた年齢については、「小学校高学年（10～12歳）」28.6%が最も高く、次いで「就学前（～6歳）」17.2%、「小学校低学年（7～9歳）」14.3%となっている。国調査と比較すると、「就学前（～6歳）」は8.4ポイント高くなっている。国調査と比較すると、「就学前（～6歳）」は8.4ポイント高く、「小学校高学年（10～12歳）」は5.6ポイント、「中学生以降」は5.8ポイント低くなっている。

(n=238)

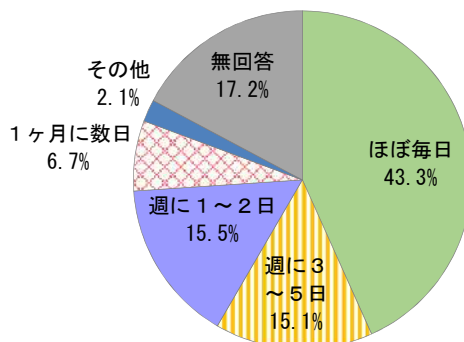


No.	選択肢	今回調査 (n=238)	国(R2年度) (n=319)
1	就学前(～6歳)	17.2%	8.8%
2	小学校低学年(7～9歳)	14.3%	16.3%
3	小学校高学年(10～12歳)	28.6%	34.2%
4	中学生以降	6.7%	12.5%
5	無回答	33.2%	28.2%
	合計	100.0%	100.0%

⑩ 世話をしている頻度（中学生）

世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」43.3%が最も高く、次いで「週に1～2日」15.5%、「週に3～5日」15.1%となっている。国調査と比較して、大きな差異は見られない。

(n=238)

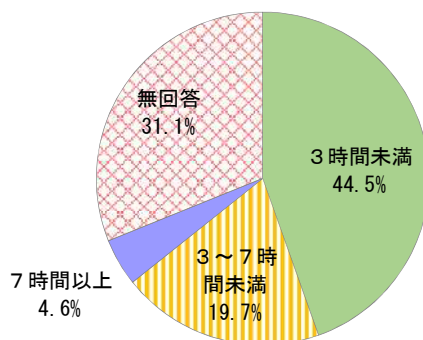


No.	選択肢	今回調査 (n=238)	国(R2年度) (n=319)
1	ほぼ毎日	43.3%	45.1%
2	週に3～5日	15.1%	17.9%
3	週に1～2日	15.5%	14.4%
4	1ヶ月に数日	6.7%	4.7%
5	その他	2.1%	4.1%
6	無回答	17.2%	13.8%
	合計	100.0%	100.0%

⑪ 平日1日あたりの世話に費やす時間（中学生）

平日1日あたりに世話に費やす時間については、「3時間未満」44.5%、「3～7時間未満」19.7%、「7時間以上」4.6%となっている。国調査と比較すると、「7時間以上」は7.0ポイント低くなっている。

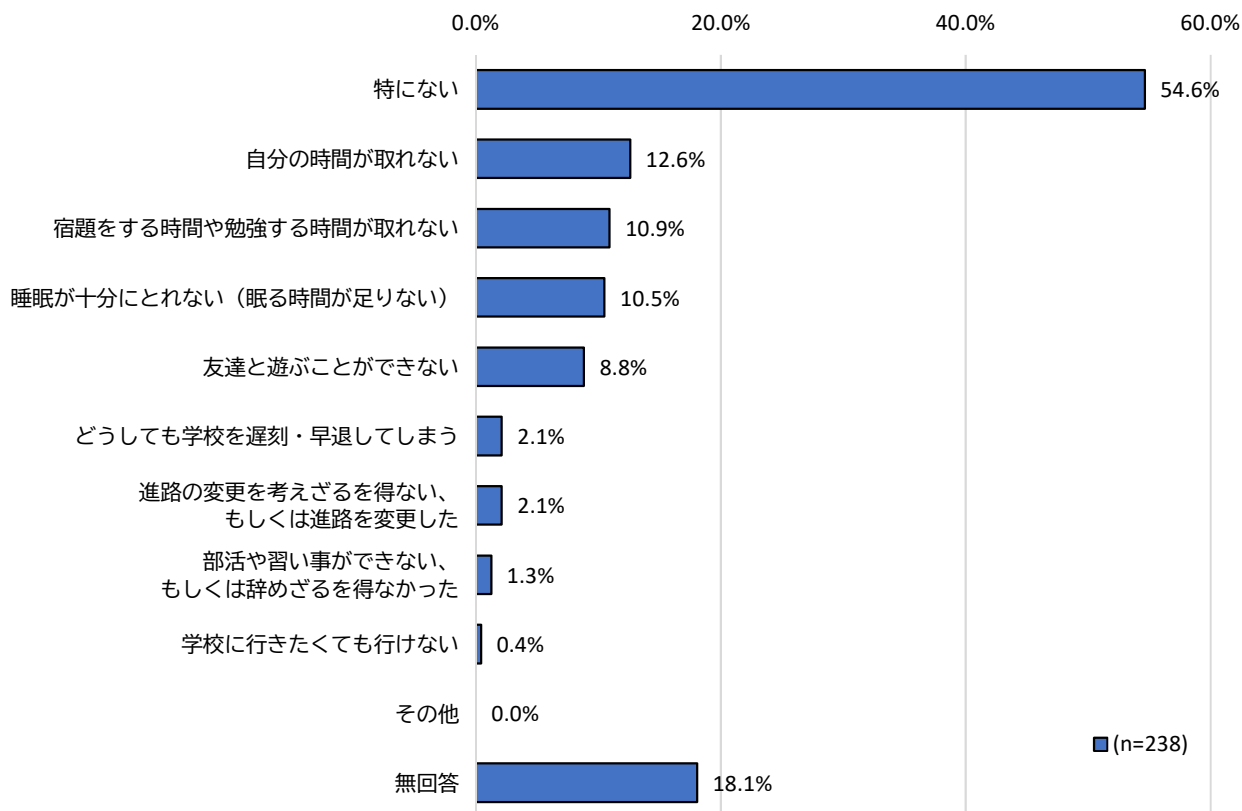
(n=238)



No.	選択肢	今回調査 (n=238)	国(R2年度) (n=319)
1	3時間未満	44.5%	42.0%
2	3～7時間未満	19.7%	21.9%
3	7時間以上	4.6%	11.6%
4	無回答	31.1%	24.5%
	合計	100.0%	100.0%

⑫ 世話をしているためにやりたいけれどできないこと（中学生）（複数回答）

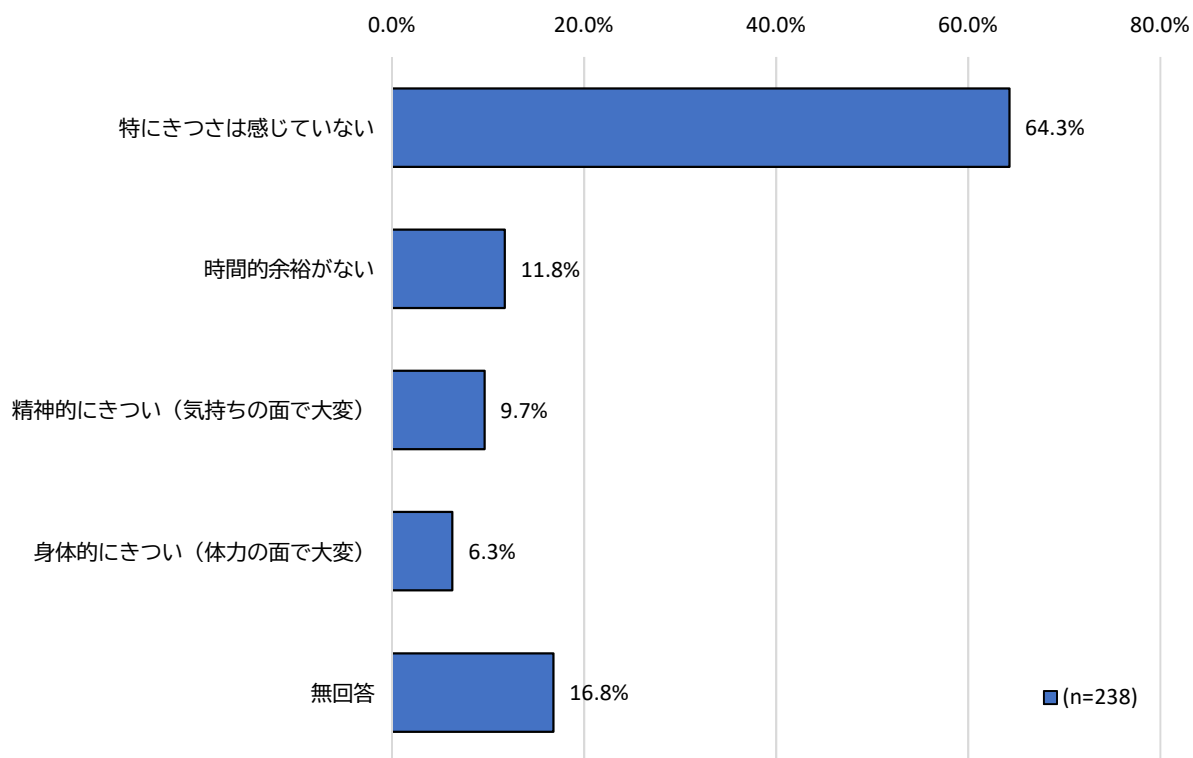
世話をしているためにやりたいけれどできないことについては、「特にない」54.6%が最も高く、次いで「自分の時間が取れない」12.6%、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」10.9%となっている。国調査と比較すると、「自分の時間が取れない」は7.5ポイント、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」は5.1ポイント低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=238)	国(R2年度) (n=319)
1	学校に行きたくても行けない	0.4%	1.6%
2	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	2.1%	2.5%
3	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	10.9%	16.0%
4	睡眠が十分にとれない(眠る時間が足りない)	10.5%	8.5%
5	友達と遊ぶことができない	8.8%	8.5%
6	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	1.3%	4.7%
7	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	2.1%	4.1%
8	自分の時間が取れない	12.6%	20.1%
9	その他	0.0%	0.3%
10	特にない	54.6%	58.0%
11	無回答	18.1%	10.7%

⑬ 世話の大変さ（複数回答）（中学生）

世話の大変さについては、「特に大変さは感じていない」64.3%が最も高く、次いで「時間の余裕がない」11.8%、「精神的にきつい（気持ちの面で大変）」9.7%となっている。国調査と比較すると、「精神的にきつい（気持ちの面で大変）」は5.3ポイント低くなっている。

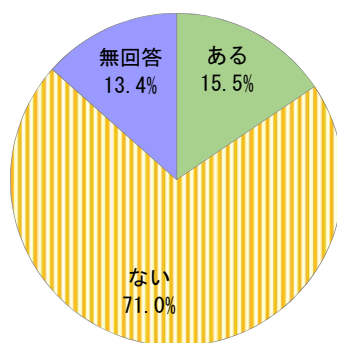


No.	選択肢	今回調査 (n=238)	国(R2年度) (n=319)
1	身体的にきつい(体力の面で大変)	6.3%	6.6%
2	精神的にきつい(気持ちの面で大変)	9.7%	15.0%
3	時間的余裕がない	11.8%	16.0%
4	特にきつさは感じていない	64.3%	60.5%
5	無回答	16.8%	13.2%

⑭ 世話について相談した経験（中学生）

世話について相談した経験については、「ある」15.5%、「ない」71.0%となっている。国調査と比較すると、「ある」は6.1ポイント低くなっている。

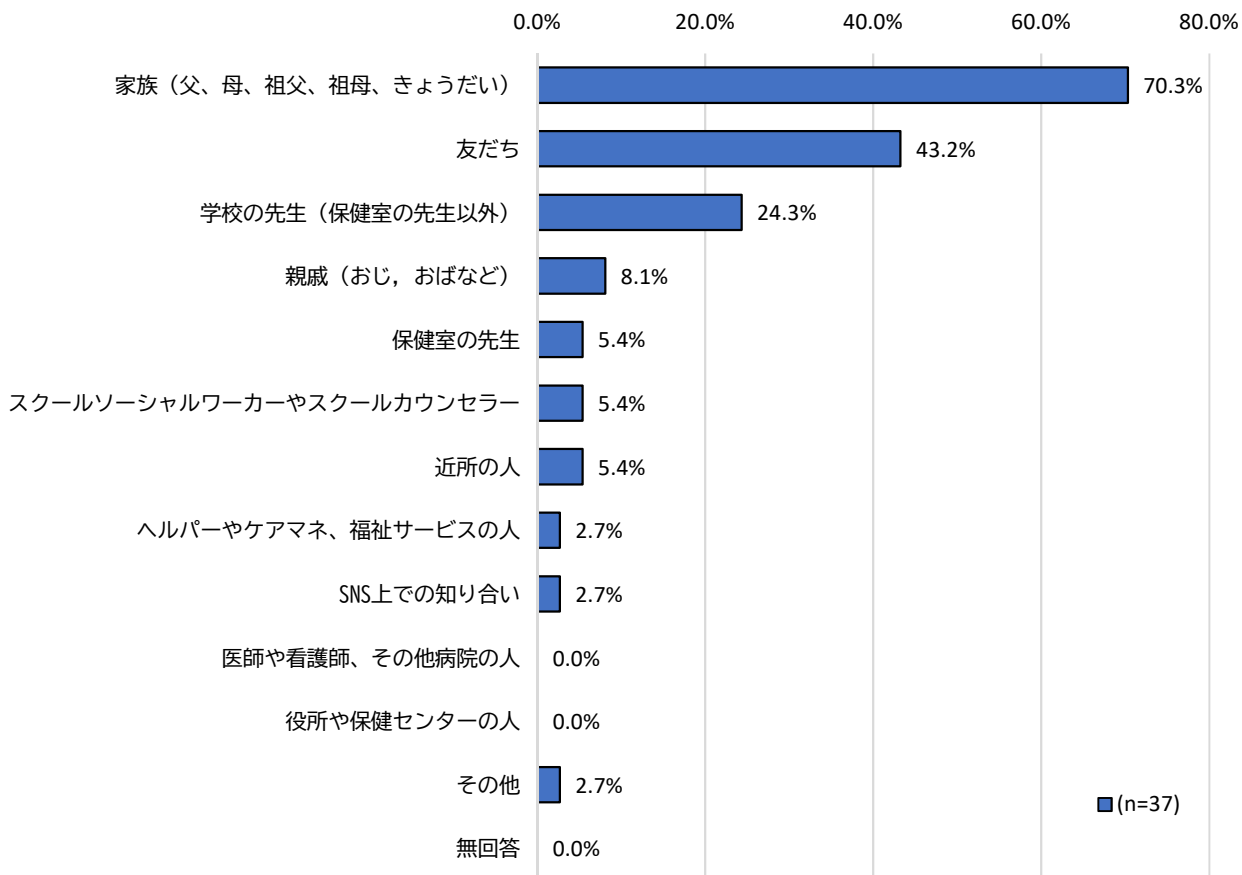
(n=238)



No.	選択肢	今回調査 (n=238)	国(R2年度) (n=319)
1	ある	15.5%	21.6%
2	ない	71.0%	67.7%
3	無回答	13.4%	10.7%
	合計	100.0%	100.0%

⑮ 世話についての相談相手（中学生）（複数回答）

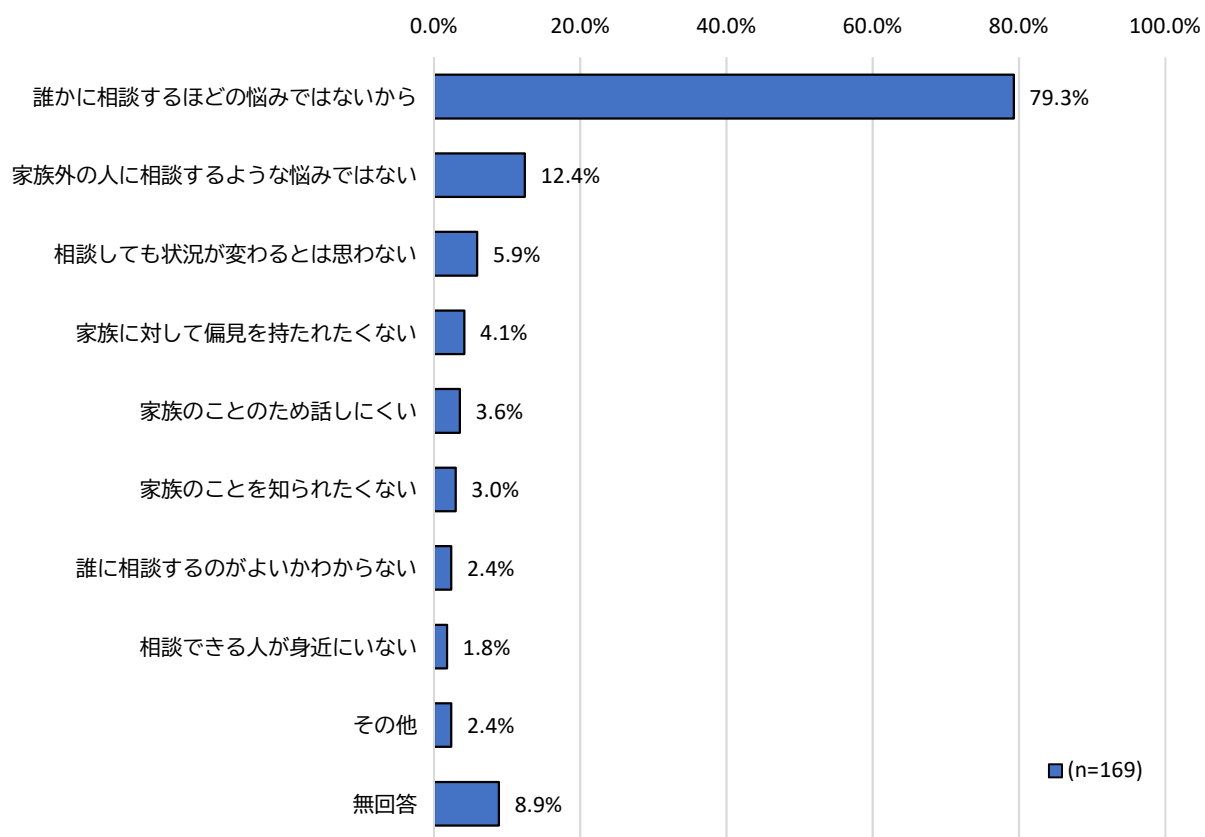
世話についての相談相手については、「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」70.3%が最も高く、次いで「友だち」43.2%、「学校の先生（保健室の先生以外）」24.3%となっている。国調査と比較すると、「学校の先生（保健室の先生以外）」は11.3ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=37)	国(R2年度) (n=69)
1	家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）	70.3%	69.6%
2	親戚（おじ、おばなど）	8.1%	8.7%
3	友だち	43.2%	40.6%
4	学校の先生（保健室の先生以外）	24.3%	13.0%
5	保健室の先生	5.4%	4.3%
6	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	5.4%	7.2%
7	医師や看護師、その他病院の人	0.0%	1.4%
8	ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人	2.7%	1.4%
9	役所や保健センターの人	0.0%	0.0%
10	近所の人	5.4%	1.4%
11	SNS上での知り合い	2.7%	7.2%
12	その他	2.7%	1.4%
13	無回答	0.0%	1.4%

⑩ 世話について相談したことがない理由（中学生）（複数回答）

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「誰かに相談するほどの悩みではないから」79.3%が最も高く、次いで「家族外の人に相談するような悩みではない」12.4%、「相談しても状況が変わるとは思わない」5.9%となっている。国調査と比較すると、「相談しても状況が変わるとは思わない」は18.2ポイント低く、「誰かに相談するほどの悩みではないから」は4.8ポイント高くなっている。

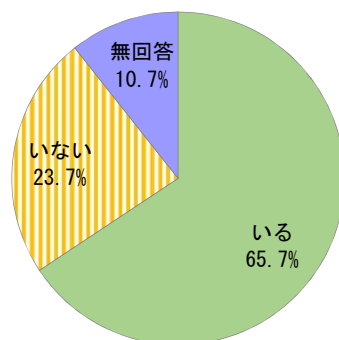


No.	選択肢	今回調査 (n=169)	国(R2年度) (n=216)
1	誰かに相談するほどの悩みではないから	79.3%	74.5%
2	家族外の人に相談するような悩みではない	12.4%	15.3%
3	誰に相談するのがよいかわからない	2.4%	11.1%
4	相談できる人が身近にいない	1.8%	4.6%
5	家族のここのため話しにくい	3.6%	12.0%
6	家族のことを知られたくない	3.0%	7.9%
7	家族に対して偏見を持たれたくない	4.1%	8.3%
8	相談しても状況が変わるとは思わない	5.9%	24.1%
9	その他	2.4%	4.6%
10	無回答	8.9%	3.2%

⑰ 世話について話を聞いてくれる人の有無（中学生）

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」65.7%、「いない」23.7%となっている。国調査と比較すると、「いない」は14.7ポイント低く、「いる」は7.8ポイント高くなっている。

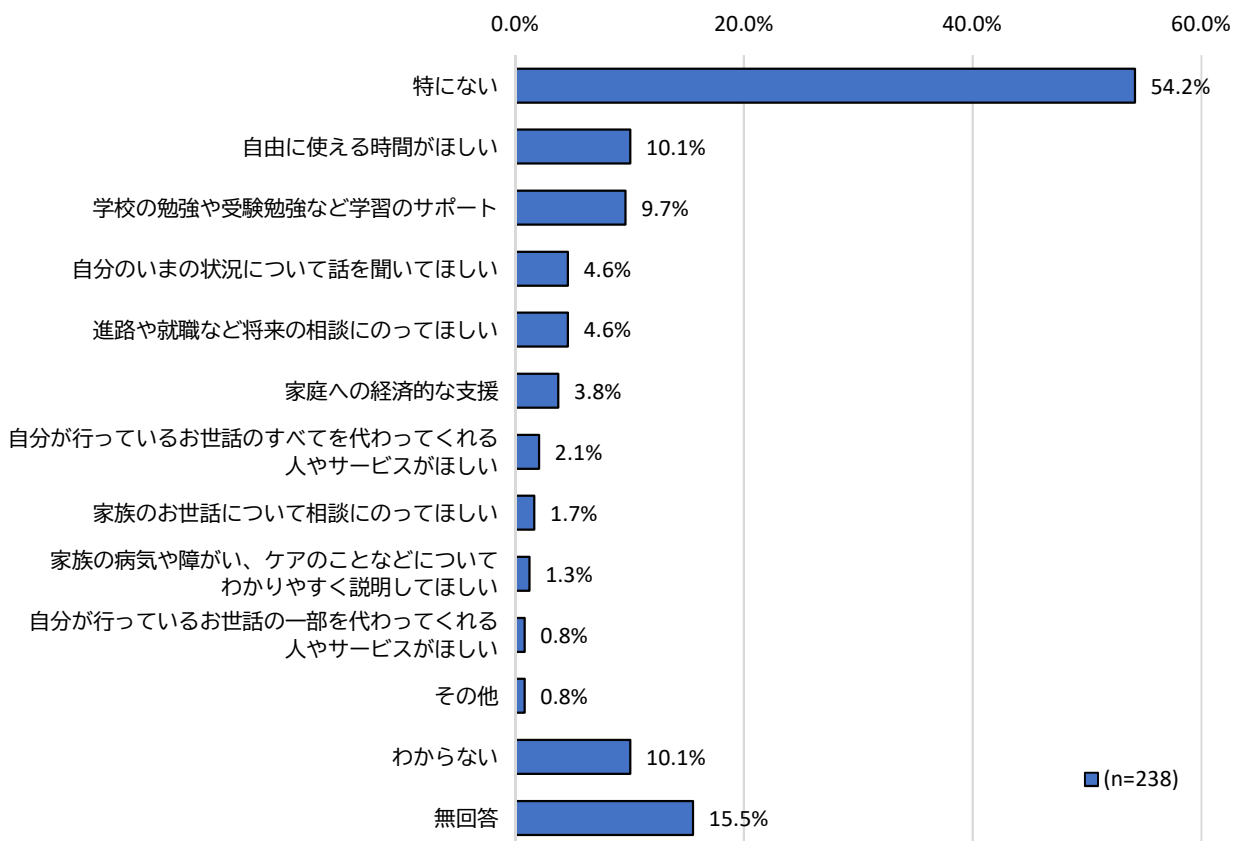
(n=169)



No.	選択肢	今回調査 (n=169)	国(R2年度) (n=216)
1	いる	65.7%	57.9%
2	いない	23.7%	38.4%
3	無回答	10.7%	3.7%
	合計	100.0%	100.0%

⑱ 学校や大人にしてもらいたいこと（中学生）（複数回答）

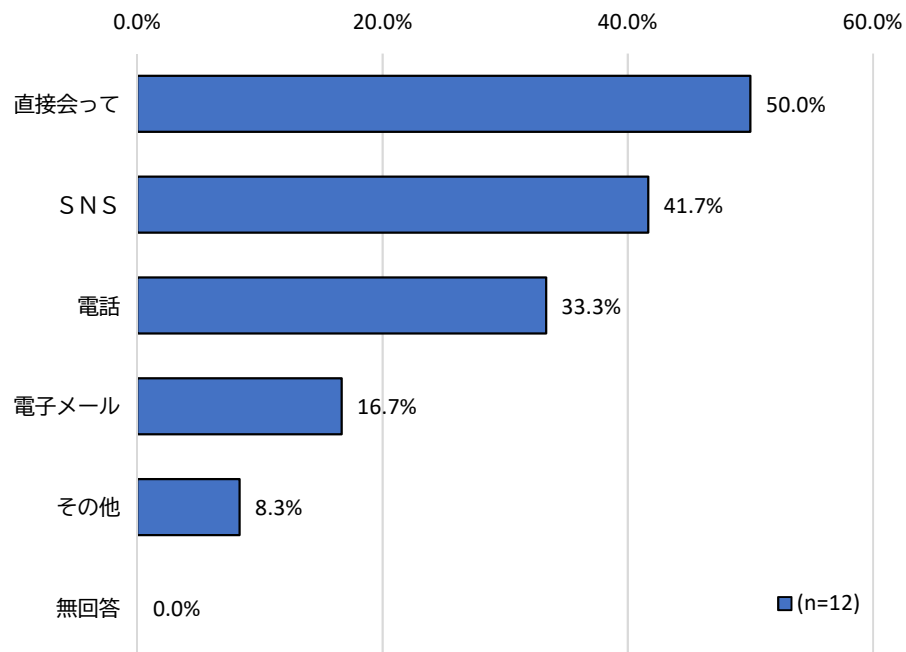
学校や大人にしてもらいたいことについては、「特にない」54.2%が最も高く、次いで「自由に使える時間がほしい」10.1%、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」9.7%となっている。国調査と比較すると、「特にない」を除く概ねの項目で、回答した割合が低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=238)	国(R2年度) (n=319)
1	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	4.6%	12.9%
2	家族のお世話について相談にのってほしい	1.7%	3.1%
3	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	1.3%	2.2%
4	自分が行っているお世話のすべてを代わりにしてくれる人やサービスがほしい	2.1%	3.4%
5	自分が行っているお世話の一部を代わりにしてくれる人やサービスがほしい	0.8%	2.5%
6	自由に使える時間がほしい	10.1%	19.4%
7	進路や就職など将来の相談にのってほしい	4.6%	16.3%
8	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	9.7%	21.3%
9	家庭への経済的な支援	3.8%	9.4%
10	その他	0.8%	1.6%
11	特にない	54.2%	45.8%
12	わからない	10.1%	9.1%
13	無回答	15.5%	5.3%

⑱ 希望する相談方法（中学生）（複数回答）

前問で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に希望する相談方法について聞いたところ、「直接会って」50.0%が最も高く、次いで「SNS」41.7%、「電話」33.3%となっている。

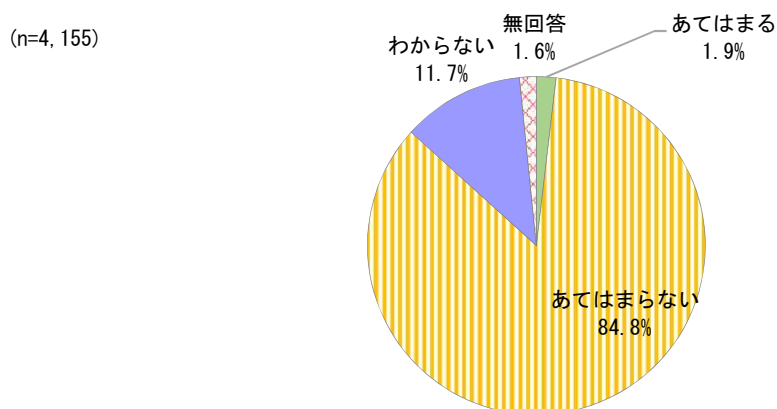


No.	選択肢	今回調査 (n=12)	国(R2年度) (n=319)
1	直接会って	50.0%	-
2	電話	33.3%	-
3	SNS	41.7%	-
4	電子メール	16.7%	-
5	その他	8.3%	-
6	無回答	0.0%	-

(4) ヤングケアラーについて

① 「ヤングケアラー」にあてはまるか (中学生)

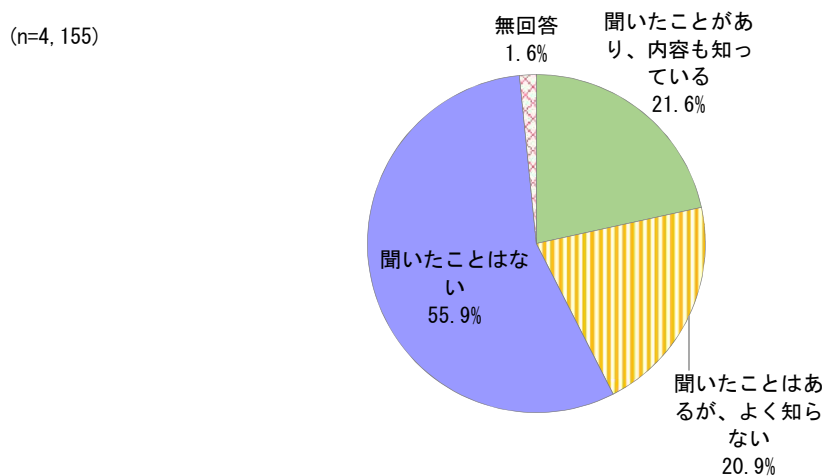
「ヤングケアラー」にあてはまるかについては、「あてはまらない」84.8%が最も高く、次いで「わからない」11.7%、「あてはまる」1.9%となっている。国調査と比較して、大きな差異は見られない。



No.	選択肢	今回調査 (n=4,155)	国(R2年度) (n=5,558)
1	あてはまる	1.9%	1.8%
2	あてはまらない	84.8%	85.0%
3	わからない	11.7%	12.5%
4	無回答	1.6%	0.7%
	合計	100.0%	100.0%

② 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか (中学生)

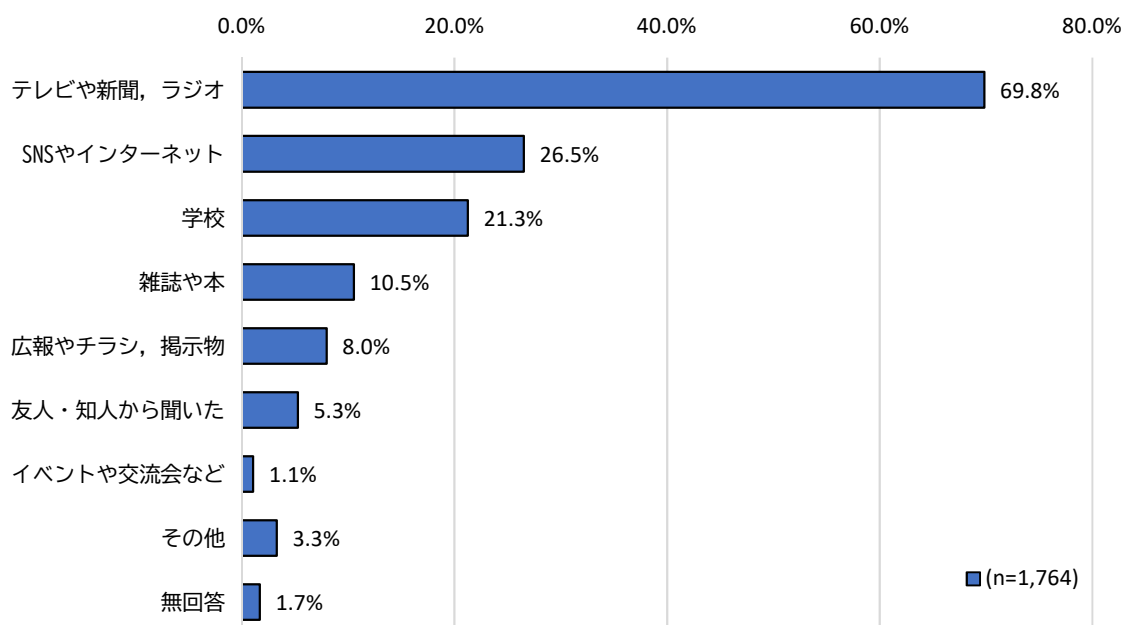
「ヤングケアラー」という言葉の認知度については、「聞いたことはない」55.9%が最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」21.6%、「聞いたことはあるが、よく知らない」20.9%となっている。国調査と比較すると、「聞いたことがあり、内容も知っている」は15.3ポイント、「聞いたことはあるが、よく知らない」は12.1ポイント高く、「聞いたことはない」は28.3ポイント低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=4,155)	国(R2年度) (n=5,558)
1	聞いたことがあり、内容も知っている	21.6%	6.3%
2	聞いたことはあるが、よく知らない	20.9%	8.8%
3	聞いたことはない	55.9%	84.2%
4	無回答	1.6%	0.6%
	合計	100.0%	100.0%

③ 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか（中学生）（複数回答）

「ヤングケアラー」という言葉について「聞いたことがあり、内容も知っている」、聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した人に、どこで知ったかについて聞いたところ、「テレビや新聞、ラジオ」69.8%が最も高く、次いで「SNSやインターネット」26.5%、「学校」21.3%となっている。国調査と比較すると、「テレビや新聞、ラジオ」14.6ポイント高く、「学校」は6.5ポイント低くなっている。



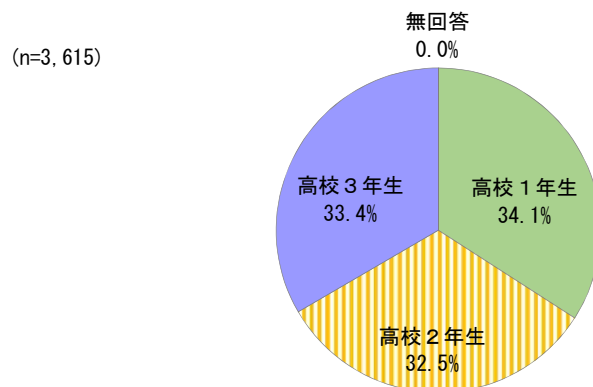
No.	選択肢	今回調査 (n=1,764)	国(R2年度) (n=843)
1	テレビや新聞, ラジオ	69.8%	55.2%
2	雑誌や本	10.5%	10.6%
3	SNSやインターネット	26.5%	22.3%
4	広報やチラシ, 掲示物	8.0%	10.7%
5	イベントや交流会など	1.1%	0.6%
6	学校	21.3%	27.8%
7	友人・知人から聞いた	5.3%	3.4%
8	その他	3.3%	3.2%
9	無回答	1.7%	1.2%

IV 調査結果（全日制高校生）

（1）基本情報

① 学年（全日制高校生）

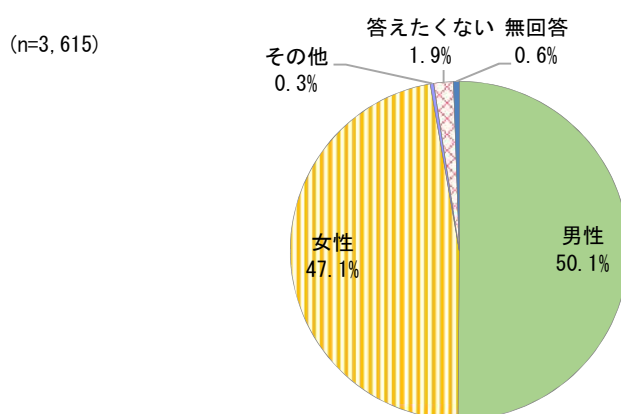
回答者の学年は、「高校1年生」34.1%、「高校2年生」32.5%、「高校3年生」33.4%となっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=3,615)	国(R2年度) (n=7,407)
1	高校1年生	34.1%	-
2	高校2年生	32.5%	100.0%
3	高校3年生	33.4%	-
4	無回答	0.0%	-
	合計	100.0%	100.0%

② 性別（全日制高校生）

回答者の性別は、「男性」50.1%、「女性」47.1%となっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=3,615)	国(R2年度) (n=7,407)
1	男性	50.1%	42.8%
2	女性	47.1%	55.8%
3	その他	0.3%	1.3%
4	答えたくない	1.9%	-
5	無回答	0.6%	0.1%
	合計	100.0%	100.0%

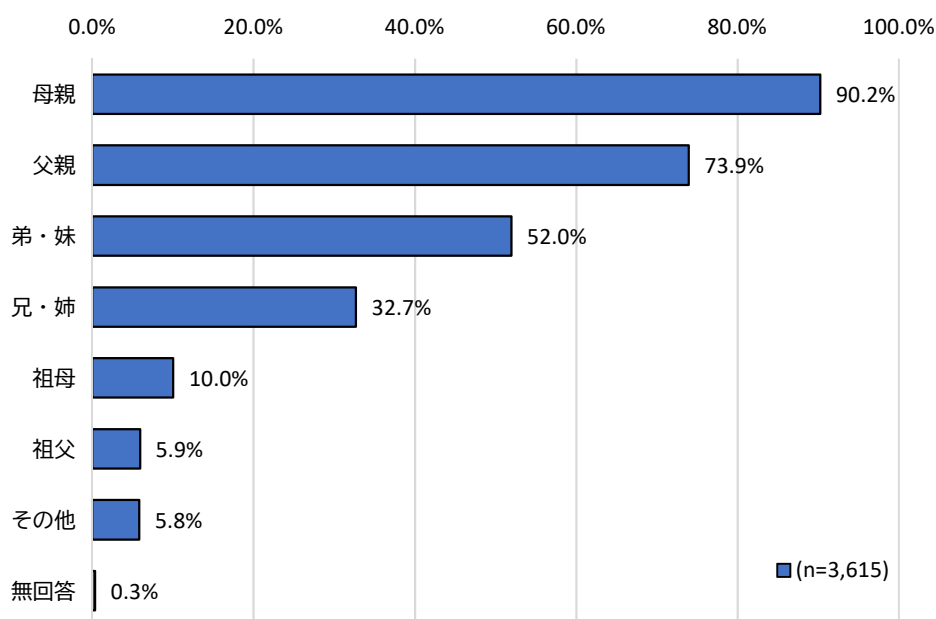
③ 居住地（全日制高校生）

回答者の居住地は、以下の通り。

番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数
1	鹿児島市	1,054	12	霧島市	220	23	長島町	18	34	宇検村	2
2	鹿屋市	204	13	いちき串木野市	100	24	湧水町	9	35	瀬戸内町	22
3	枕崎市	56	14	南さつま市	67	25	大崎町	18	36	龍郷町	6
4	阿久根市	40	15	志布志市	49	26	東串良町	12	37	喜界町	124
5	出水市	106	16	奄美市	98	27	錦江町	23	38	徳之島町	72
6	指宿市	31	17	南九州市	81	28	南大隅町	40	39	天城町	34
7	西之表市	111	18	伊佐市	113	29	肝付町	30	40	伊仙町	46
8	垂水市	29	19	姶良市	126	30	中種子町	32	41	和泊町	34
9	薩摩川内市	197	20	三島村	-	31	南種子町	12	42	知名町	45
10	日置市	100	21	十島村	-	32	屋久島町	65	43	与論町	42
11	曾於市	64	22	さつま町	59	33	大和村	4	44	無回答	20

④ 同居家族（全日制高校生）（複数回答）

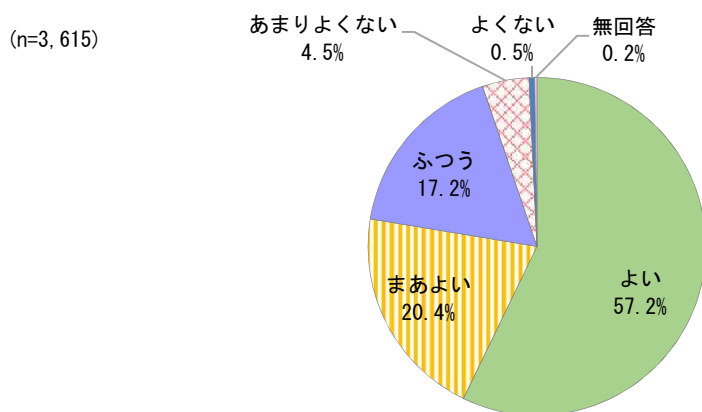
同居家族は、「母親」90.2%が最も高く、次いで「父親」73.9%、「弟・妹」52.0%となっている。国調査と比較すると、「祖母」「祖父」と回答した割合が低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=3,615)	国(R2年度) (n=7,407)
1	母親	90.2%	95.5%
2	父親	73.9%	81.3%
3	祖母	10.0%	20.8%
4	祖父	5.9%	13.4%
5	兄・姉	32.7%	36.9%
6	弟・妹	52.0%	50.5%
7	その他	5.8%	3.0%
8	無回答	0.3%	0.2%

⑤ 健康状態（全日制高校生）

健康状態は、「よい」57.2%、「まあよい」20.4%、「ふつう」17.2%、「あまりよくない」4.5%となっている。国調査と比較すると、「よい」は12.3ポイント高くなっている。

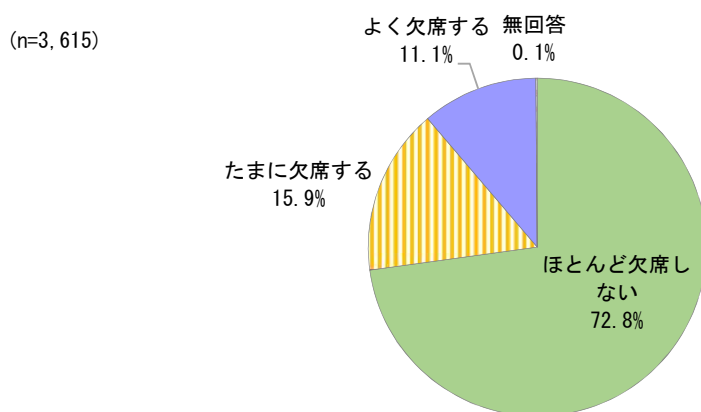


No.	選択肢	今回調査 (n=3,615)	国(R2年度) (n=7,407)
1	よい	57.2%	44.9%
2	まあよい	20.4%	22.4%
3	ふつう	17.2%	27.2%
4	あまりよくない	4.5%	4.5%
5	よくない	0.5%	0.8%
6	無回答	0.2%	0.2%
	合計	100.0%	100.0%

(2) 普段の生活について

① 出欠状況（全日制高校生）

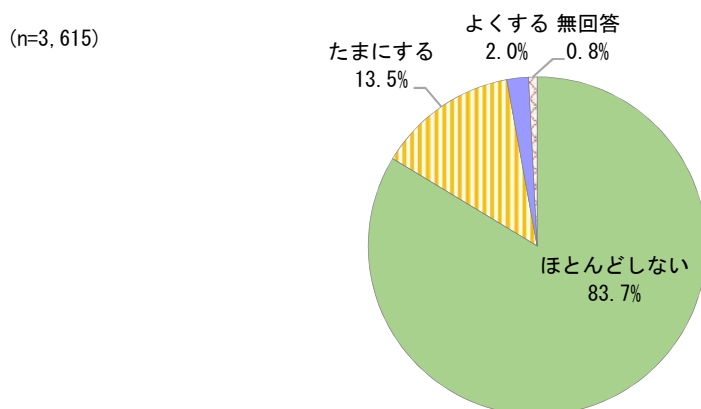
出席状況については、「ほとんど欠席しない」72.8%、「たまに欠席する」15.9%、「よく欠席する」11.1%となっている。国調査と比較すると、「たまに欠席する」は3.7ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=3,615)	国(R2年度) (n=7,407)
1	ほとんど欠席しない	72.8%	74.3%
2	たまに欠席する	15.9%	12.2%
3	よく欠席する	11.1%	13.4%
4	無回答	0.1%	0.1%
	合計	100.0%	100.0%

② 遅刻や早退の状況（全日制高校生）

遅刻や早退の状況については、「ほとんどしない」83.7%、「たまにする」13.5%、「よくする」2.0%となっている。国調査と比較して、大きな差異は見られない。

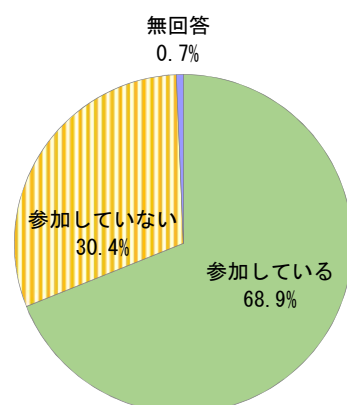


No.	選択肢	今回調査 (n=3,615)	国(R2年度) (n=7,407)
1	ほとんどしない	83.7%	83.5%
2	たまにする	13.5%	13.7%
3	よくする	2.0%	2.6%
4	無回答	0.8%	0.2%
	合計	100.0%	100.0%

③ 部活動などへの参加状況（全日制高校生）

部活動などへの参加状況については、「参加している」68.9%、「参加していない」30.4%となっている。国調査と比較すると、「参加している」は5.2ポイント低く、「参加していない」は4.7ポイント高くなっている。

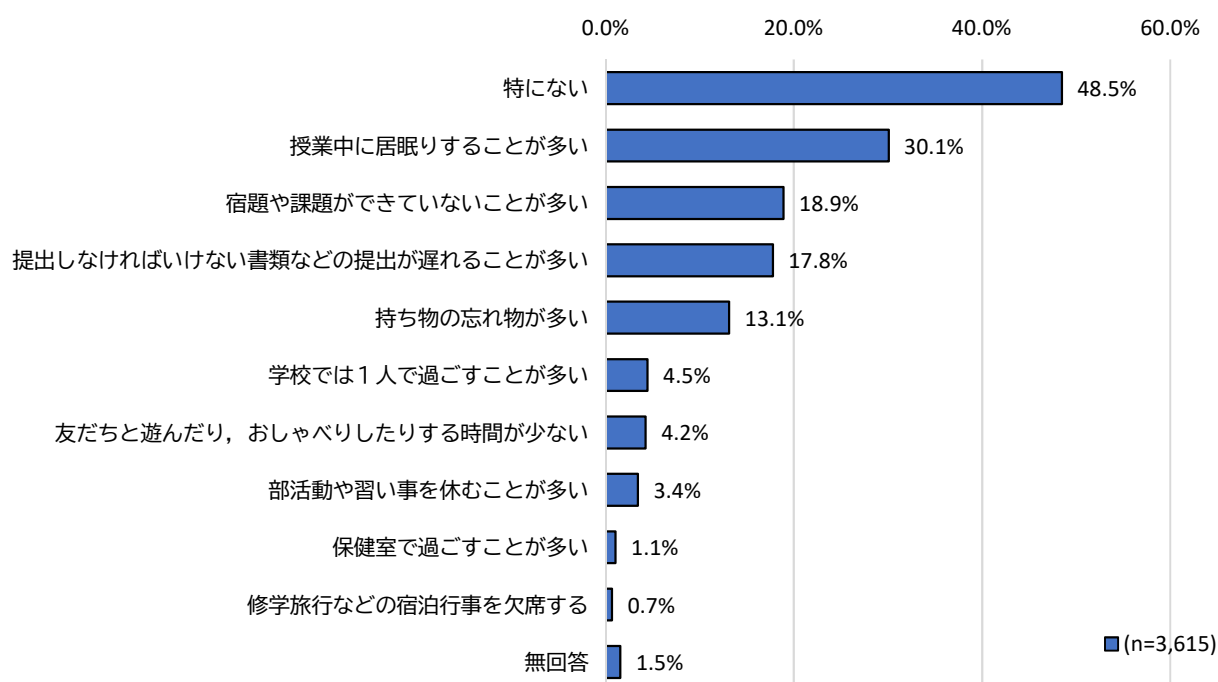
(n=3,615)



No.	選択肢	今回調査 (n=3,615)	国(R2年度) (n=7,407)
1	参加している	68.9%	74.1%
2	参加していない	30.4%	25.7%
3	無回答	0.7%	0.3%
	合計	100.0%	100.0%

④ 普段の学校生活などであてはまること（全日制高校生）（複数回答）

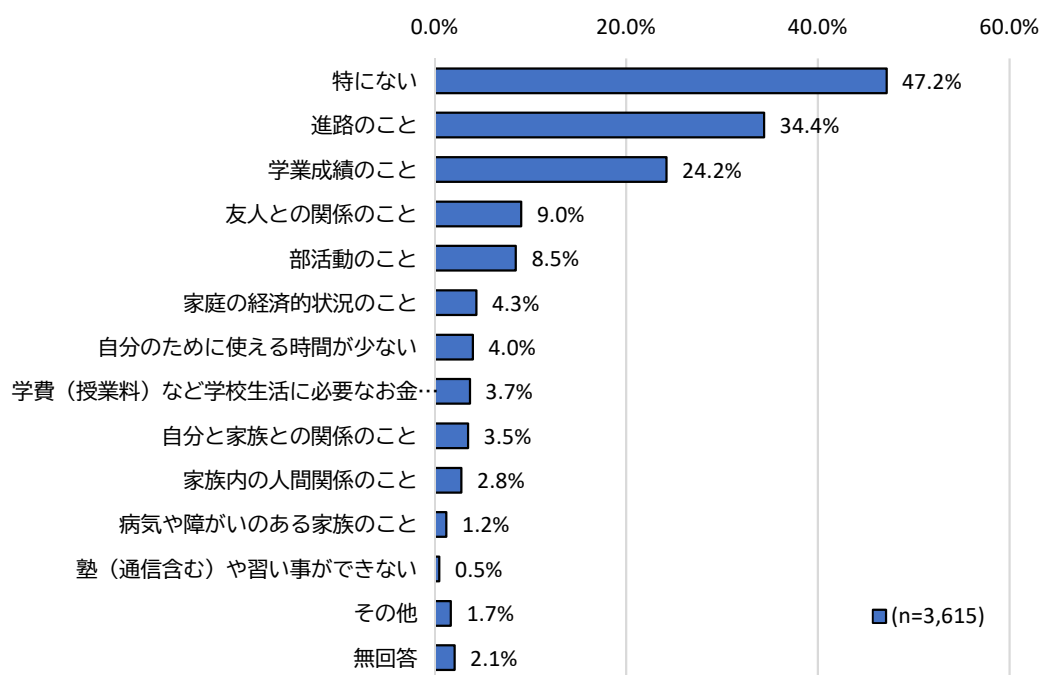
普段の学校生活などであてはまることについては、「特にない」48.5%が最も高く、次いで「授業中に居眠りすることが多い」30.1%、「宿題や課題ができていないことが多い」18.9%となっている。国調査と比較すると、「授業中に居眠りすることが多い」は9.6ポイント低く、「学校では1人で過ごすことが多い」は3.7ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=3,615)	国(R2年度) (n=5,558)
1	授業中に居眠りすることが多い	30.1%	39.7%
2	宿題や課題ができていないことが多い	18.9%	17.6%
3	持ち物の忘れ物が多い	13.1%	12.7%
4	部活動や習い事を休むことが多い	3.4%	4.8%
5	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	17.8%	15.3%
6	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	0.7%	1.6%
7	保健室で過ごすことが多い	1.1%	0.9%
8	学校では1人で過ごすことが多い	4.5%	0.8%
9	友だちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	4.2%	7.1%
10	特にない	48.5%	42.9%
11	無回答	1.5%	1.5%

⑤ 現在の悩みごと（全日制高校生）（複数回答）

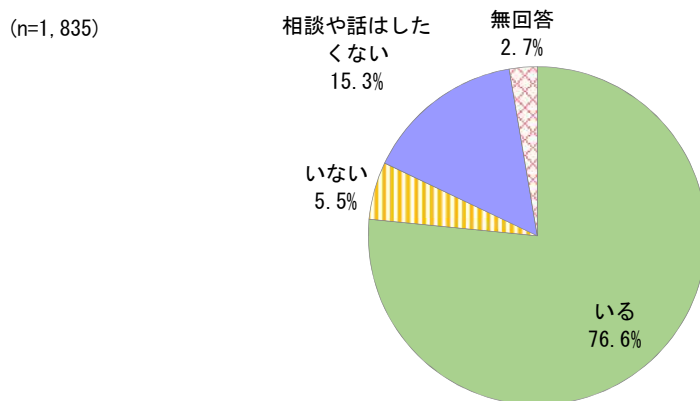
現在の悩みごとについては、「特にない」47.2%が最も高く、次いで「進路のこと」34.4%、「学業成績のこと」24.2%となっている。国調査と比較すると、「特にない」は19.8ポイント高くなっている。一方、「進路のこと」は19.3ポイント、「学業成績のこと」は14.3ポイント低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=3,615)	国(R2年度) (n=5,558)
1	友人との関係のこと	9.0%	12.3%
2	学業成績のこと	24.2%	38.5%
3	進路のこと	34.4%	53.7%
4	部活動のこと	8.5%	13.0%
5	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	3.7%	6.7%
6	塾（通信含む）や習い事ができない	0.5%	1.5%
7	家庭の経済的状況のこと	4.3%	7.1%
8	自分と家族との関係のこと	3.5%	5.9%
9	家族内の人間関係のこと	2.8%	4.8%
10	病気や障がいのある家族のこと	1.2%	1.5%
11	自分のために使える時間が少ない	4.0%	8.0%
12	その他	1.7%	2.6%
13	特にない	47.2%	27.4%
14	無回答	2.1%	1.7%

⑥ 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無（全日制高校生）

前問で何らかの悩みごとがあると回答した人に、話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」76.6%が最も高く、次いで「相談や話はしたくない」は15.3%、「いない」は5.5%となっている。国調査と比較すると、「相談や話はしたくない」は4.6ポイント低くなっている。

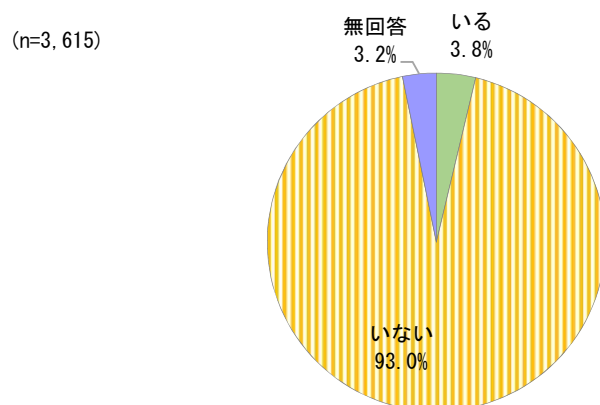


No.	選択肢	今回調査 (n=1,835)	国(R2年度) (n=5,254)
1	いる	76.6%	74.6%
2	いない	5.5%	4.9%
3	相談や話はしたくない	15.3%	19.9%
4	無回答	2.7%	0.5%
	合計	100.0%	100.0%

(3) 家庭や家族のことについて

① 世話をしている家族の有無（全日制高校生）

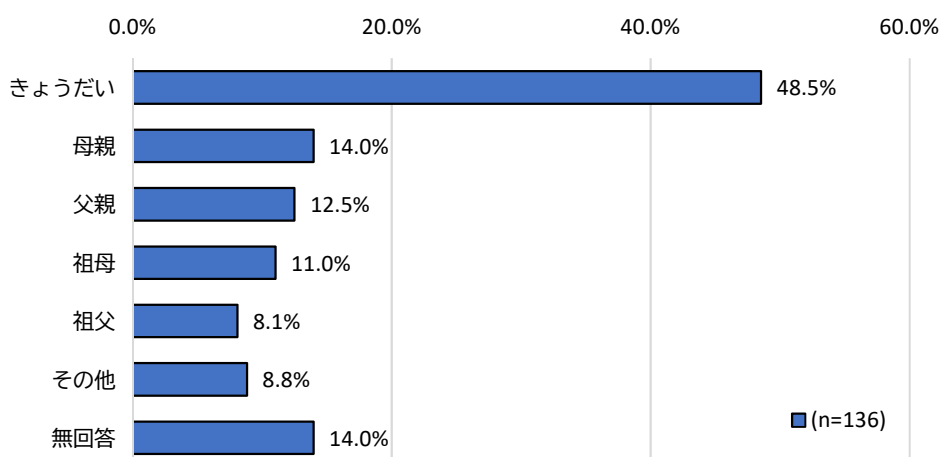
世話をしている家族の有無については、「いる」3.8%、「いない」93.0%となっている。国調査と比較して、大きな差異は見られない。



No.	選択肢	今回調査 (n=3,615)	国(R2年度) (n=7,407)
1	いる	3.8%	4.1%
2	いない	93.0%	94.9%
3	無回答	3.2%	0.9%
	合計	100.0%	100.0%

② 世話を必要としている家族（複数回答）（全日制高校生）

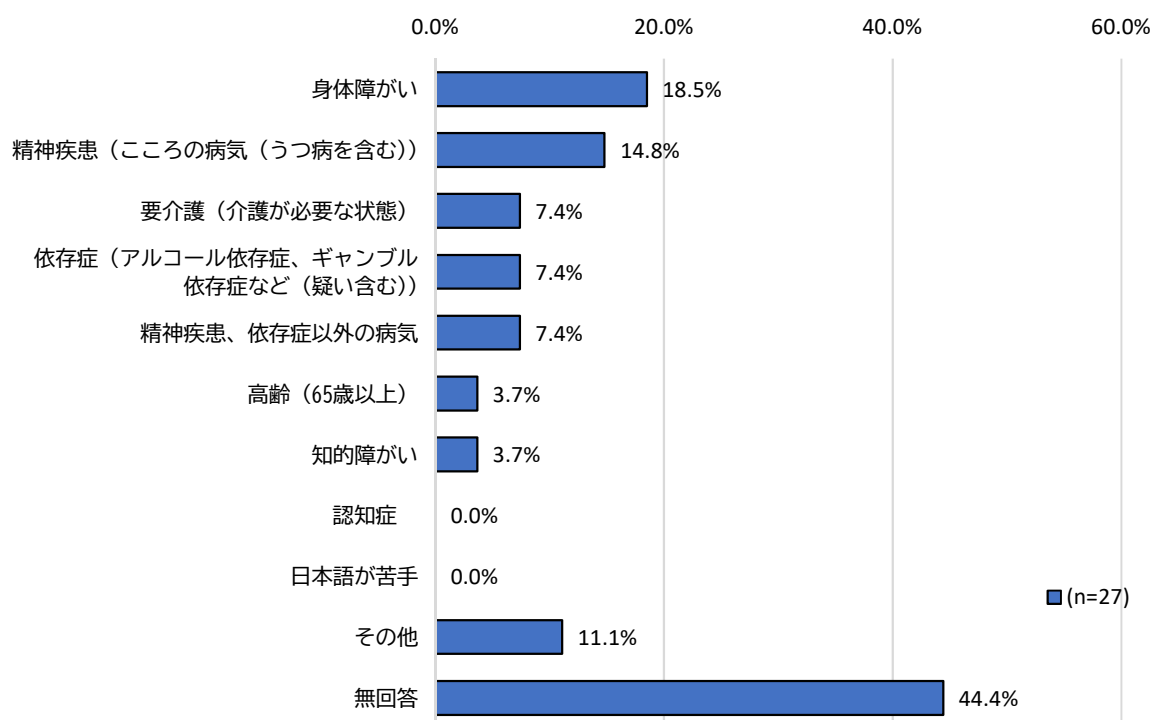
世話を必要としている家族については、「きょうだい」48.5%が最も高く、次いで「母親」18.5%、「父親」12.5%となっている。国調査と比較すると、大きな差異は見られない。



No.	選択肢	今回調査 (n=136)	国(R2年度) (n=307)
1	母親	14.0%	29.6%
2	父親	12.5%	22.5%
3	祖母	11.0%	8.1%
4	祖父	8.1%	48.5%
5	きょうだい	48.5%	5.5%
6	その他	8.8%	8.8%
7	無回答	14.0%	

③ 父母の状況（全日制高校生）（複数回答）

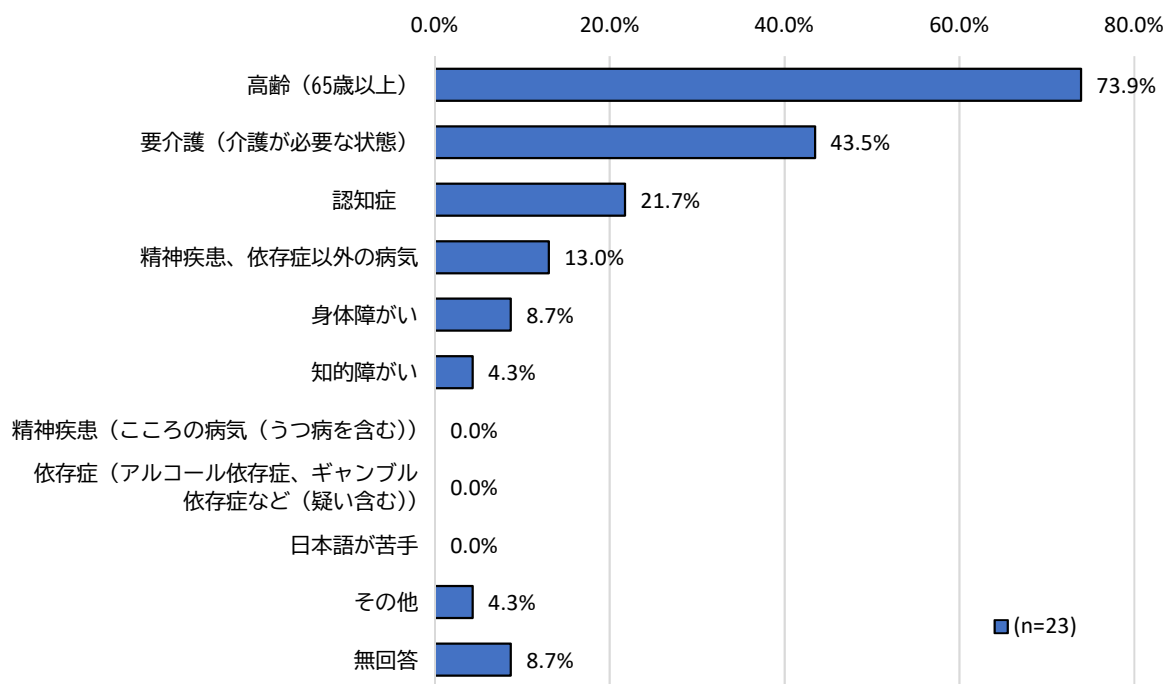
世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、父母の状況を聞いたところ、「身体障がい」18.5%が最も高く、次いで「精神疾患（こころの病気（うつ病を含む）」14.8%、「その他」11.1%となっている。国調査と比較すると、「精神疾患（こころの病気（うつ病を含む）」+「依存症（アルコール依存症、ギャンブル依存症など（疑いを含む）」は7.9ポイント高くなっている。一方、「高齢（65歳以上）」は9.5ポイント低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=27)	国(R2年度) (n=91)
1	高齢(65歳以上)	3.7%	13.2%
2	要介護(介護が必要な状態)	7.4%	9.9%
3	認知症	0.0%	4.4%
4	身体障がい	18.5%	15.4%
5	知的障がい	3.7%	3.3%
6	精神疾患(こころの病気(うつ病を含む))	14.8%	14.3%
7	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など(疑い含む))	7.4%	7.7%
8	精神疾患、依存症以外の病気	7.4%	7.7%
9	日本語が苦手	0.0%	-
10	その他	11.1%	17.6%
11	無回答	44.4%	37.4%

④ 祖父母の状況（全日制高校生）（複数回答）

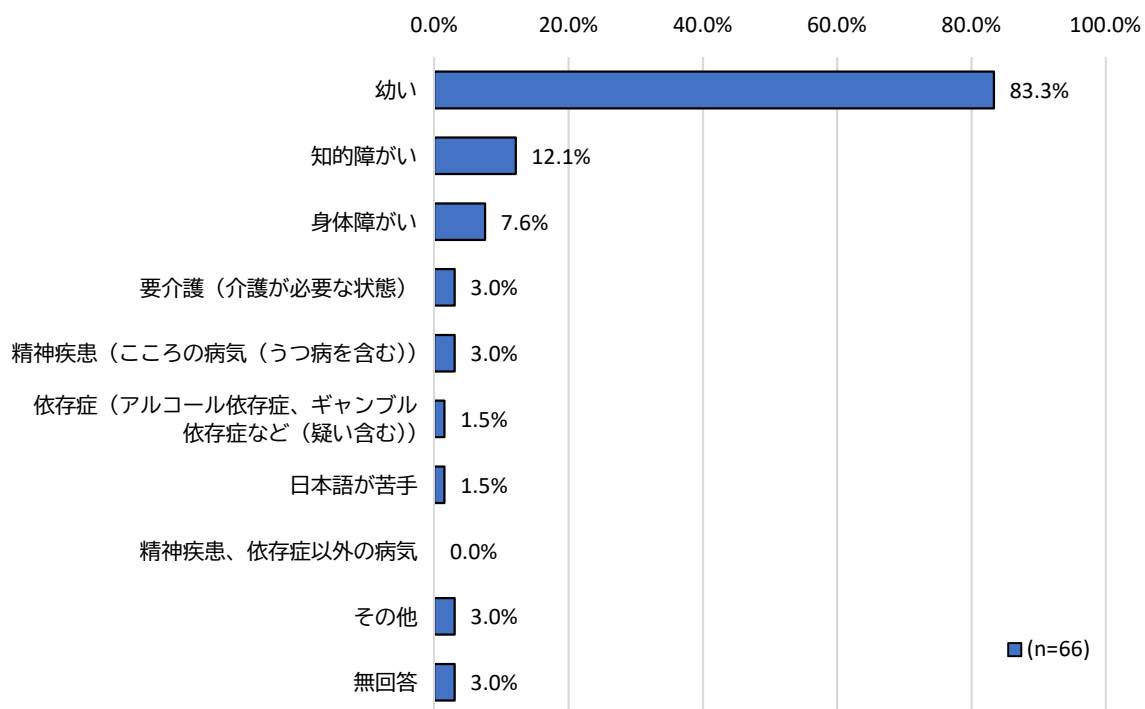
世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、祖父母の状況を聞いたところ、「高齢（65歳以上）」73.9%が最も高く、次いで「要介護（介護が必要な状態）」43.5%、「認知症」21.7%となっている。国調査と比較すると、「要介護（介護が必要な状態）」は10.2ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=23)	国(R2年度) (n=69)
1	高齢(65歳以上)	73.9%	76.8%
2	要介護(介護が必要な状態)	43.5%	33.3%
3	認知症	21.7%	23.2%
4	身体障がい	8.7%	17.4%
5	知的障がい	4.3%	7.2%
6	精神疾患(こころの病気(うつ病を含む))	0.0%	5.8%
7	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など(疑い含む))	0.0%	
8	精神疾患、依存症以外の病気	13.0%	8.7%
9	日本語が苦手	0.0%	-
10	その他	4.3%	8.7%
11	無回答	8.7%	5.8%

⑤ きょうだいの状況（全日制高校生）（複数回答）

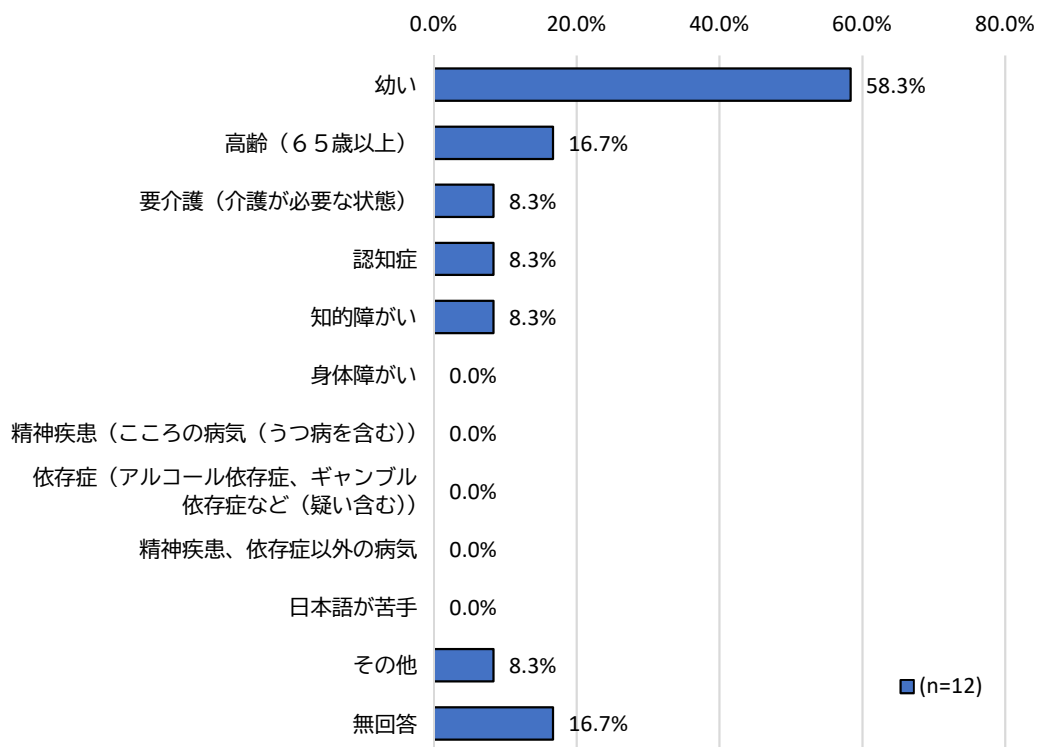
世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した人に、きょうだいの状況を聞いたところ、「若い」83.3%が最も高く、次いで「知的障がい」12.1%、「身体障がい」7.6%となっている。国調査と比較すると、「若い」は12.7ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=66)	国 (R2年度) (n=136)
1	若い	83.3%	70.6%
2	要介護 (介護が必要な状態)	3.0%	-
3	身体障がい	7.6%	6.6%
4	知的障がい	12.1%	8.1%
5	精神疾患 (こころの病気 (うつ病を含む))	3.0%	1.5%
6	依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など (疑い含む))	1.5%	-
7	精神疾患、依存症以外の病気	0.0%	0.7%
8	日本語が苦手	1.5%	-
9	その他	3.0%	9.6%
10	無回答	3.0%	11.8%

⑥ その他の家族の状況（全日制高校生）（複数回答）

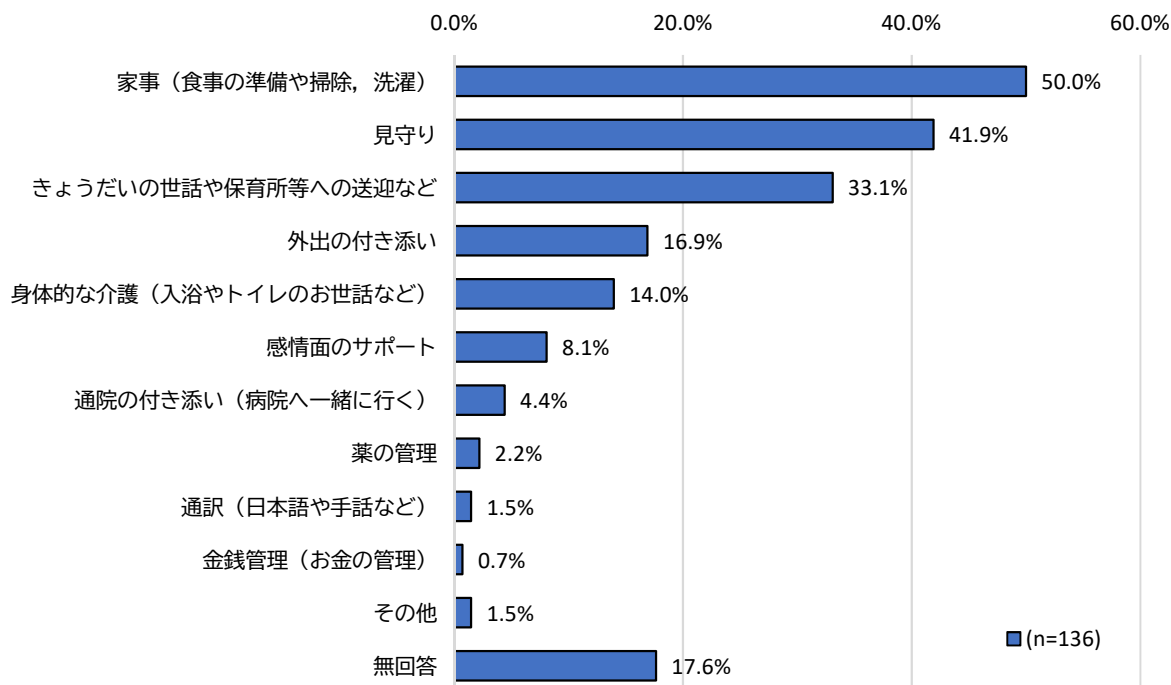
世話を必要としている家族として「その他」と回答した人に、その他の人の状況を聞いたところ、「若い」58.3%が最も高く、次いで「高齢（65歳以上）」16.7%となっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=12)	国 (R2年度)
1	高齢(65歳以上)	16.7%	-
2	若い	58.3%	-
3	要介護(介護が必要な状態)	8.3%	-
4	認知症	8.3%	-
5	身体障がい	0.0%	-
6	知的障がい	8.3%	-
7	精神疾患(こころの病気(うつ病を含む))	0.0%	-
8	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など(疑い含む))	0.0%	-
9	精神疾患、依存症以外の病気	0.0%	-
10	日本語が苦手	0.0%	-
11	その他	8.3%	-
12	無回答	16.7%	-

⑦ 世話の内容（全日制高校生）（複数回答）

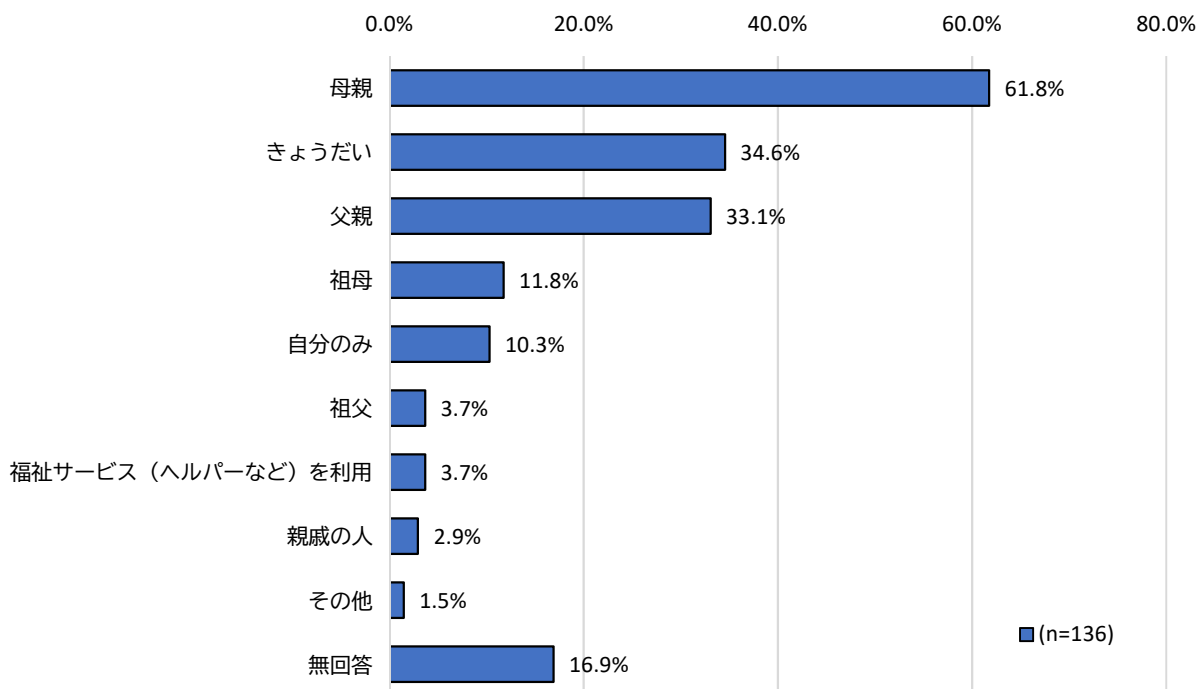
世話をしている家族がいると回答した人に世話の内容について聞いたところ、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」50.0%が最も高く、次いで「見守り」41.9%、「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」33.1%となっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=136)	国(R2年度)
1	家事(食事の準備や掃除, 洗濯)	50.0%	-
2	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	33.1%	-
3	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	14.0%	-
4	外出の付き添い	16.9%	-
5	通院の付き添い(病院へ一緒に行く)	4.4%	-
6	感情面のサポート	8.1%	-
7	見守り	41.9%	-
8	通訳(日本語や手話など)	1.5%	-
9	金銭管理(お金の管理)	0.7%	-
10	薬の管理	2.2%	-
11	その他	1.5%	-
12	無回答	17.6%	-

⑧ 世話を一緒にしている人（全日制高校生）（複数回答）

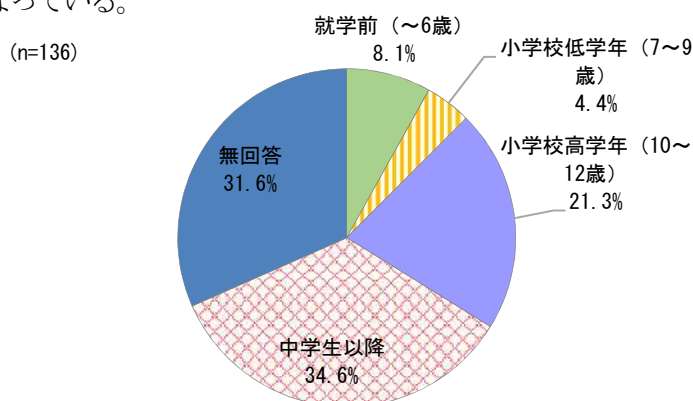
世話を一緒にしている人については、「母親」61.8%が最も高く、次いで「きょうだい」34.6%、「父親」33.1%となっている。国調査と比較すると、「母親」は9.7ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=136)	国(R2年度) (n=307)
1	母親	61.8%	52.1%
2	父親	33.1%	28.3%
3	祖母	11.8%	11.4%
4	祖父	3.7%	4.9%
5	きょうだい	34.6%	34.5%
6	親戚の人	2.9%	7.2%
7	自分のみ	10.3%	11.4%
8	福祉サービス(ヘルパーなど)を利用	3.7%	7.2%
9	その他	1.5%	1.3%
10	無回答	16.9%	16.3%

⑨ 世話を始めた年齢（全日制高校生）

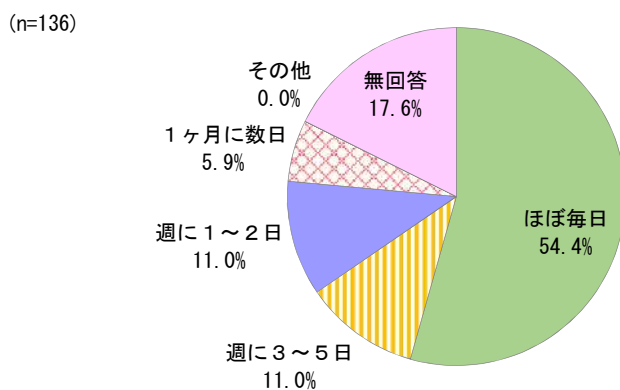
世話を始めた年齢については、「中学生以降」34.6%が最も高く、次いで「小学校高学年（10～12歳）」21.3%、「就学前（～6歳）」8.1%となっている。国調査と比較すると、「小学校高学年（10～12歳）」は8.3ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=136)	国(R2年度) (n=307)
1	就学前（～6歳）	8.1%	6.2%
2	小学校低学年（7～9歳）	4.4%	9.4%
3	小学校高学年（10～12歳）	21.3%	13.0%
4	中学生以降	34.6%	37.8%
5	無回答	31.6%	33.6%
	合計	100.0%	100.0%

⑩ 世話をしている頻度（全日制高校生）

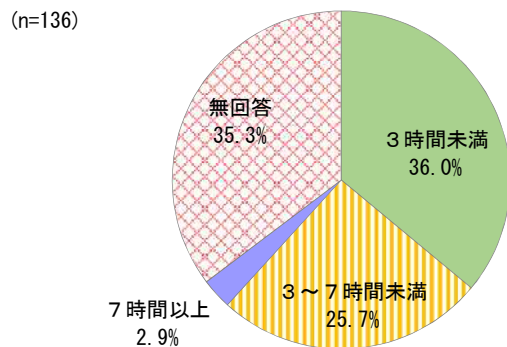
世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」54.4%が最も高く、次いで「週に3～5日」「週に1～2日」がともに11.0%となっている。国調査と比較すると、「ほぼ毎日」は6.8ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=136)	国(R2年度) (n=307)
1	ほぼ毎日	54.4%	47.6%
2	週に3～5日	11.0%	16.9%
3	週に1～2日	11.0%	10.4%
4	1ヶ月に数日	5.9%	6.8%
5	その他	0.0%	2.0%
6	無回答	17.6%	16.3%
	合計	100.0%	100.0%

⑪ 平日1日あたりの世話に費やす時間（全日制高校生）

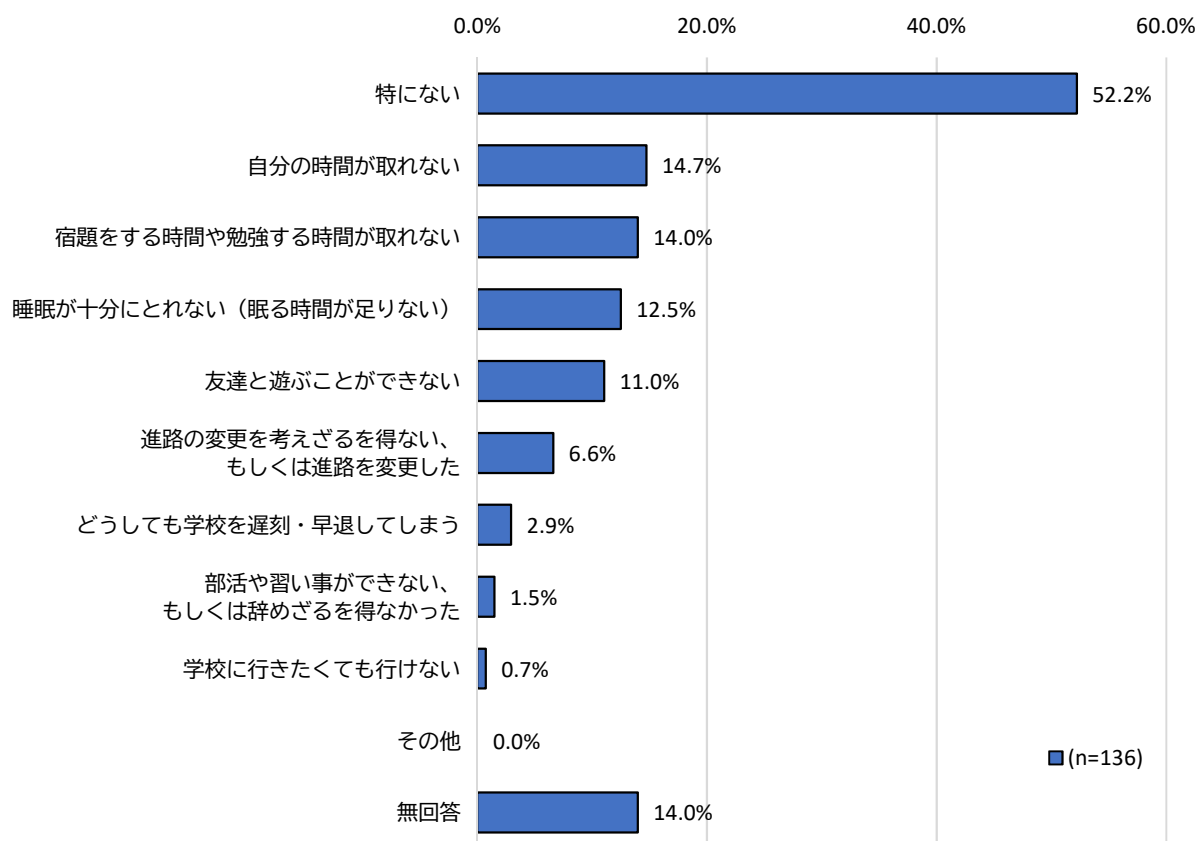
平日1日あたりに世話に費やす時間については、「3時間未満」36.0%、「3～7時間未満」25.7%、「7時間以上」2.9%となっている。国調査と比較して、「7時間以上」は7.8ポイント低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=136)	国(R2年度) (n=307)
1	3時間未満	36.0%	35.8%
2	3～7時間未満	25.7%	24.4%
3	7時間以上	2.9%	10.7%
4	無回答	35.3%	29.0%
	合計	100.0%	100.0%

⑫ 世話をしているためにやりたいけれどできないこと（全日制高校生）（複数回答）

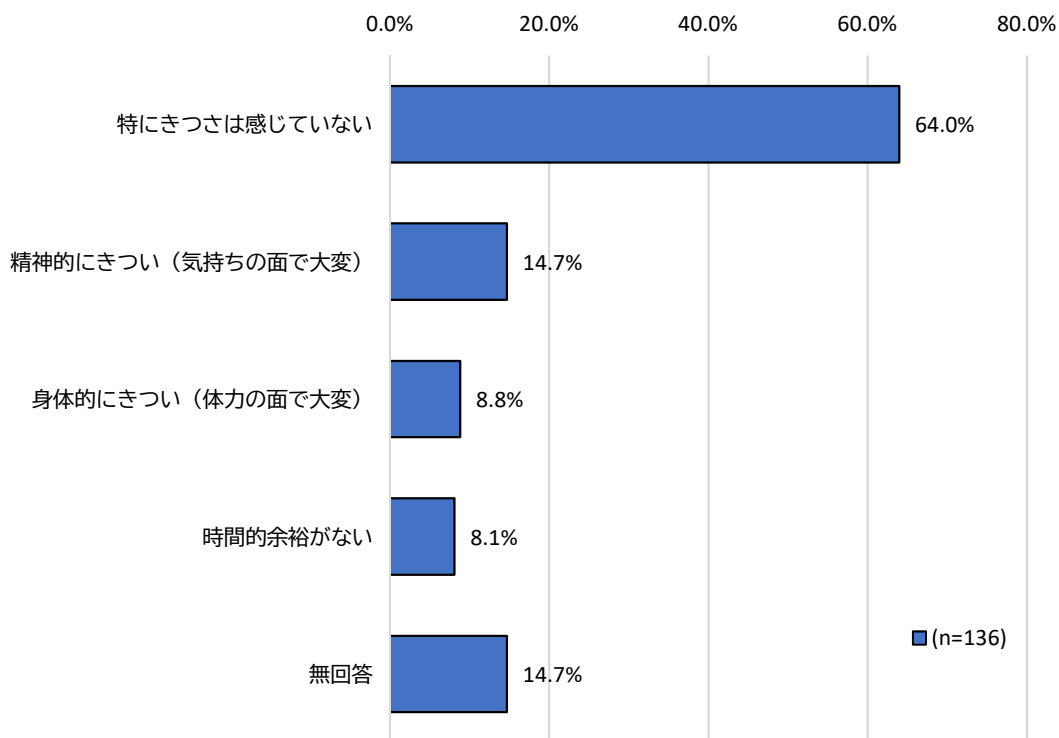
世話をしているためにやりたいけれどできないことについては、「特にない」52.2%が最も高く、次いで「自分の時間が取れない」14.7%、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」14.0%となっている。国調査と比較して、大きな差異はみられない。



No.	選択肢	今回調査 (n=136)	国(R4) (n=307)
1	学校に行きたくても行けない	0.7%	1.0%
2	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	2.9%	2.9%
3	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	14.0%	13.0%
4	睡眠が十分にとれない(眠る時間が足りない)	12.5%	11.1%
5	友達と遊ぶことができない	11.0%	11.4%
6	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	1.5%	2.3%
7	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	6.6%	5.5%
8	自分の時間が取れない	14.7%	16.6%
9	その他	0.0%	1.6%
10	特にない	52.2%	52.1%
11	無回答	14.0%	16.0%

⑬ 世話の大変さ（全日制高校生）（複数回答）

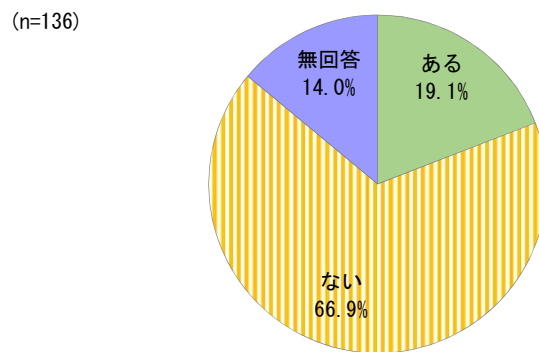
世話の大変さについては、「特に大変さは感じていない」64.0%が最も高く、次いで「精神的にきつい（気持ちの面で大変）」14.7%、「身体的にきつい（体力の面で大変）」8.8%となっている。国調査と比較すると、「特に大変さは感じていない」は11.9ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=136)	国(R4) (n=307)
1	身体的にきつい(体力の面で大変)	8.8%	6.5%
2	精神的にきつい(気持ちの面で大変)	14.7%	19.9%
3	時間的余裕がない	8.1%	16.9%
4	特にきつさは感じていない	64.0%	52.1%
5	無回答	14.7%	16.0%

⑭ 世話について相談した経験（全日制高校生）

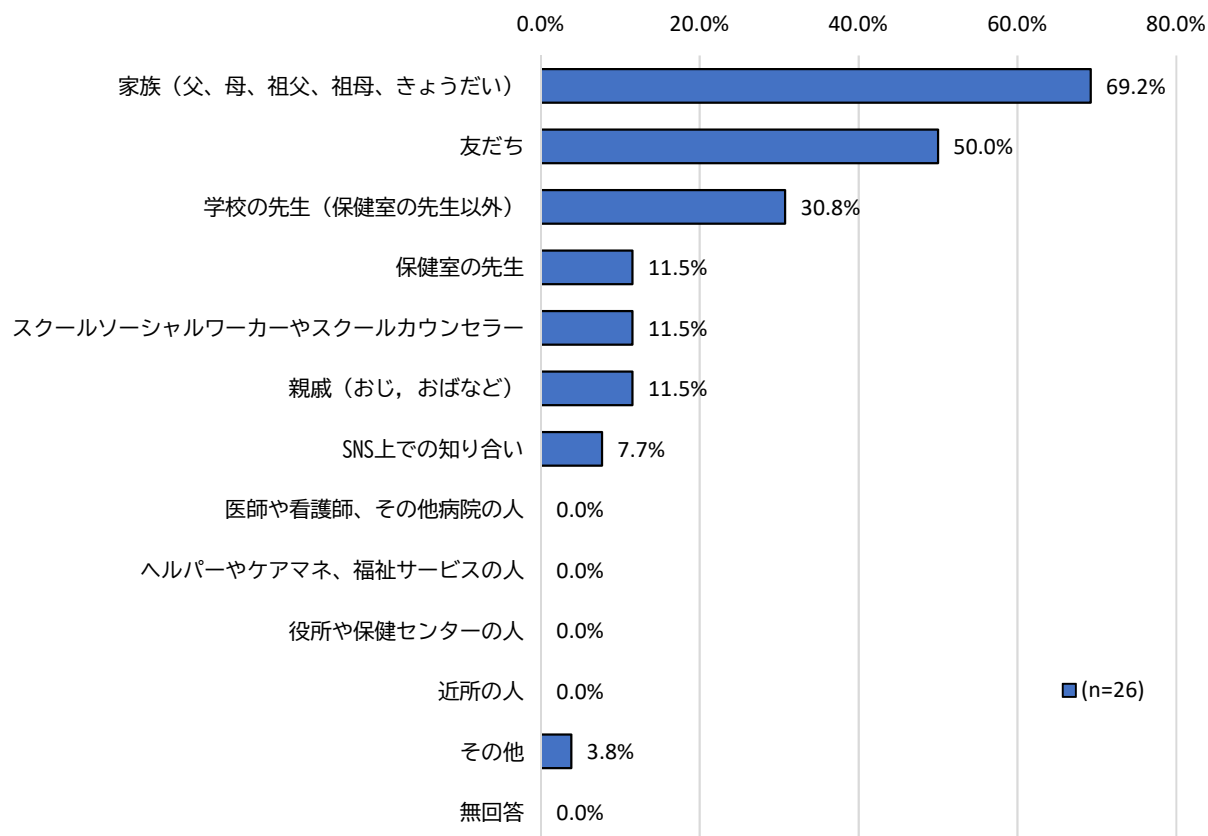
世話について相談した経験については、「ある」15.0%、「ない」66.9%となっている。国調査と比較すると、「ある」は4.4ポイント低くなっている



No.	選択肢	今回調査 (n=136)	国(R2年度) (n=307)
1	ある	19.1%	23.5%
2	ない	66.9%	64.2%
3	無回答	14.0%	12.4%
	合計	100.0%	100.0%

⑮ 世話についての相談相手（全日制高校生）（複数回答）

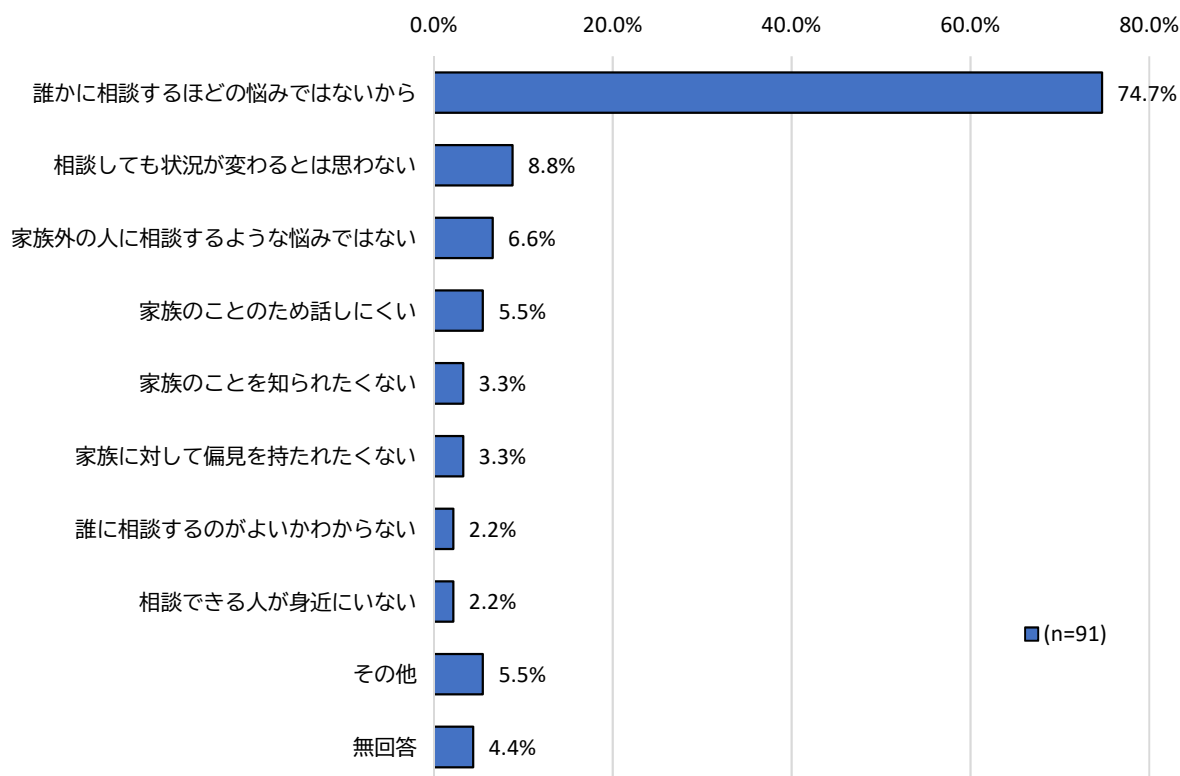
世話についての相談相手については、「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」69.2%が最も高く、次いで「友だち」50.0%、「学校の先生（保健室の先生以外）」30.8%となっている。国調査と比較すると、「学校の先生（保健室の先生以外）」が12.7ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=26)	国 (R4) (n=72)
1	家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）	69.2%	69.4%
2	親戚（おじ、おばなど）	11.5%	8.3%
3	友だち	50.0%	47.2%
4	学校の先生（保健室の先生以外）	30.8%	18.1%
5	保健室の先生	11.5%	4.2%
6	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	11.5%	8.3%
7	医師や看護師、その他病院の人	0.0%	2.8%
8	ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人	0.0%	4.2%
9	役所や保健センターの人	0.0%	1.4%
10	近所の人	0.0%	1.4%
11	SNS上での知り合い	7.7%	9.7%
12	その他	3.8%	1.4%
13	無回答	0.0%	4.2%

⑩ 世話について相談したことがない理由（全日制高校生）（複数回答）

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「誰かに相談するほどの悩みではないから」74.7%が最も高く、次いで「相談しても状況が変わるとは思わない」8.8%、「家族外の人に相談するような悩みではない」6.6%となっている。国調査と比較すると、「誰かに相談するほどの悩みではないから」は9.7ポイント高くなっている。一方、「相談しても状況が変わるとは思わない」は14.0ポイント、「家族外の人に相談するような悩みではない」は11.2ポイント低くなっている。

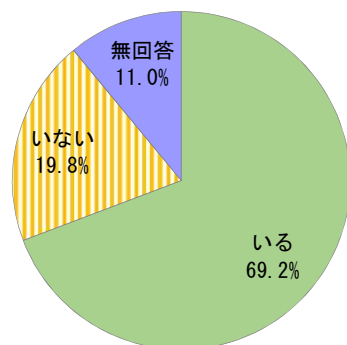


No.	選択肢	今回調査 (n=91)	国(R2年度) (n=197)
1	誰かに相談するほどの悩みではないから	74.7%	65.0%
2	家族外の人に相談するような悩みではない	6.6%	17.8%
3	誰に相談するのがよいかわからない	2.2%	7.1%
4	相談できる人が身近にいない	2.2%	9.1%
5	家族のここのため話しにくい	5.5%	11.7%
6	家族のことを知られたくない	3.3%	9.1%
7	家族に対して偏見を持たれたくない	3.3%	11.2%
8	相談しても状況が変わるとは思わない	8.8%	22.8%
9	その他	5.5%	4.6%
10	無回答	4.4%	3.0%

⑰ 世話について話を聞いてくれる人の有無（全日制高校生）

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」69.2%、「いない」19.8%となっている。国調査と比較すると、「いない」は16.2ポイント低くなっている。一方、「いる」は8.3ポイント高くなっている。

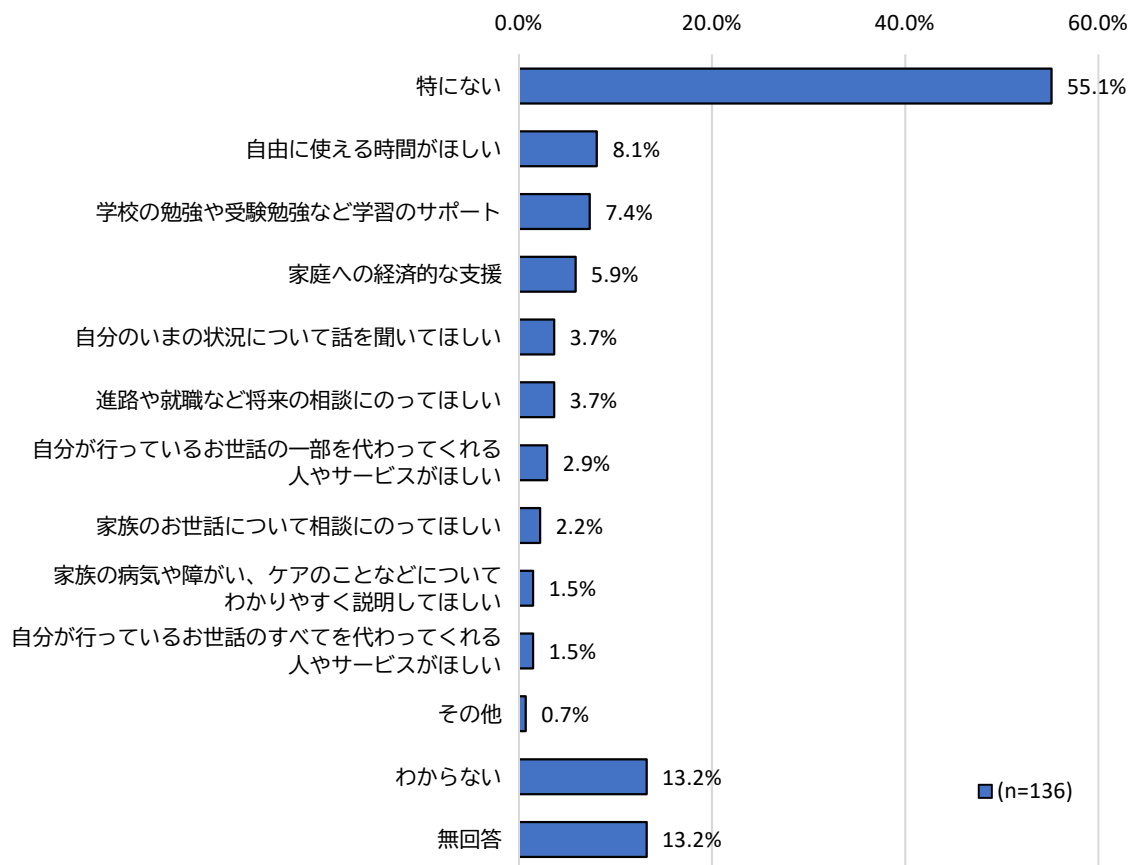
(n=91)



No.	選択肢	今回調査 (n=91)	国(R2年度) (n=197)
1	いる	69.2%	60.9%
2	いない	19.8%	36.0%
3	無回答	11.0%	3.0%
	合計	100.0%	100.0%

⑱ 学校や大人にしてもらいたいこと（全日制高校生）（複数回答）

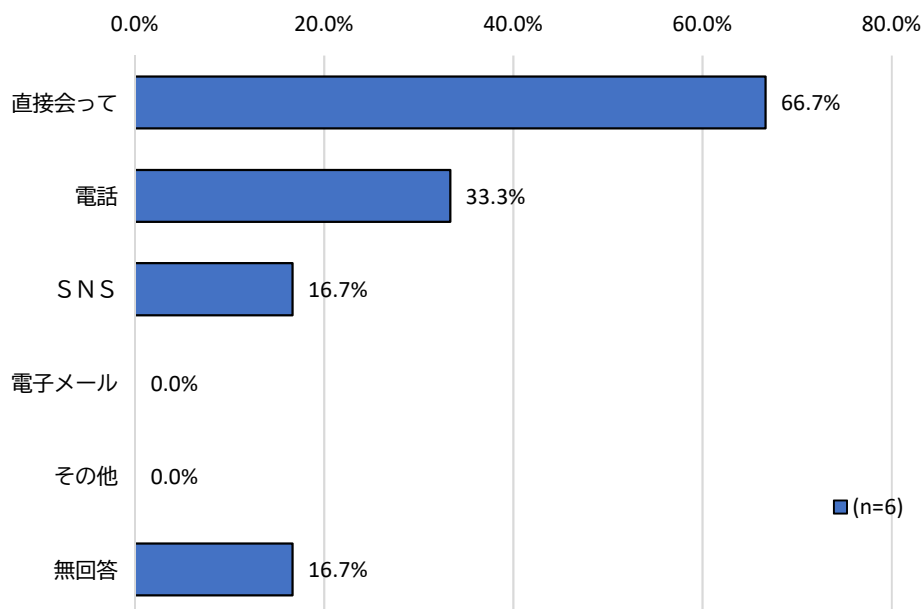
学校や大人にしてもらいたいことについては、「特にない」55.1%が最も高く、次いで「わからない」13.2%、「自由に使える時間がほしい」8.1%となっている。国調査と比較すると、「特にない」は15.4ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=136)	国(R2年度) (n=307)
1	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	3.7%	16.6%
2	家族のお世話について相談にのってほしい	2.2%	2.9%
3	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	1.5%	3.3%
4	自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	1.5%	2.6%
5	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	2.9%	3.6%
6	自由に使える時間がほしい	8.1%	17.9%
7	進路や就職など将来の相談にのってほしい	3.7%	17.3%
8	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	7.4%	18.9%
9	家庭への経済的な支援	5.9%	14.7%
10	その他	0.7%	0.7%
11	特にない	55.1%	39.7%
12	わからない	13.2%	6.2%
13	無回答	13.2%	6.5%

⑱ 希望する相談方法（全日制高校生）（複数回答）

前問で「自分のことについて話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に、希望する相談方法について聞いたところ、「直接会って」66.7%が最も高く、次いで「電話」33.3%、「SNS」16.7%となっている。



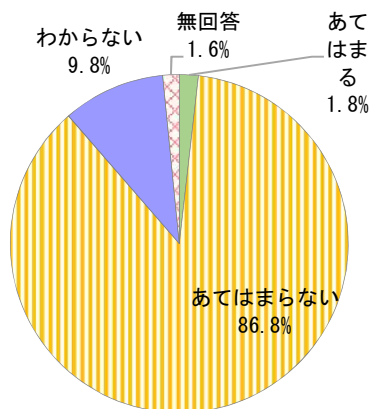
No.	選択肢	今回調査 (n=6)	国(R2年度)
1	直接会って	66.7%	-
2	電話	33.3%	-
3	SNS	16.7%	-
4	電子メール	0.0%	-
5	その他	0.0%	-
6	無回答	16.7%	-

(4) ヤングケアラーについて

① 「ヤングケアラー」にあてはまると思うか（全日制高校生）

「ヤングケアラー」にあてはまるかについては、「あてはまらない」86.8%が最も高く、次いで「わからない」3.8%、「あてはまる」1.8%となっている。国調査と比較すると、「あてはまらない」は6.3ポイント高くなっている。

(n=3,615)

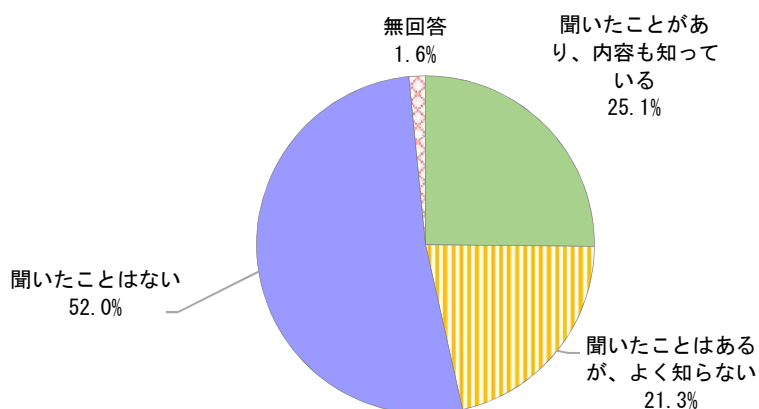


No.	選択肢	今回調査 (n=3,615)	国(R2年度) (n=7,407)
1	あてはまる	1.8%	2.3%
2	あてはまらない	86.8%	80.5%
3	わからない	9.8%	16.3%
4	無回答	1.6%	0.8%
	合計	100.0%	100.0%

② 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか（全日制高校生）

「ヤングケアラー」という言葉の認知度については、「聞いたことはない」52.0%が最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」25.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」21.3%となっている。国調査と比較すると、「聞いたことがあり、内容も知っている」19.4ポイント、「聞いたことはあるが、よく知らない」は14.4ポイント高くなっている。一方、「聞いたことはない」は34.8ポイント低くなっている。

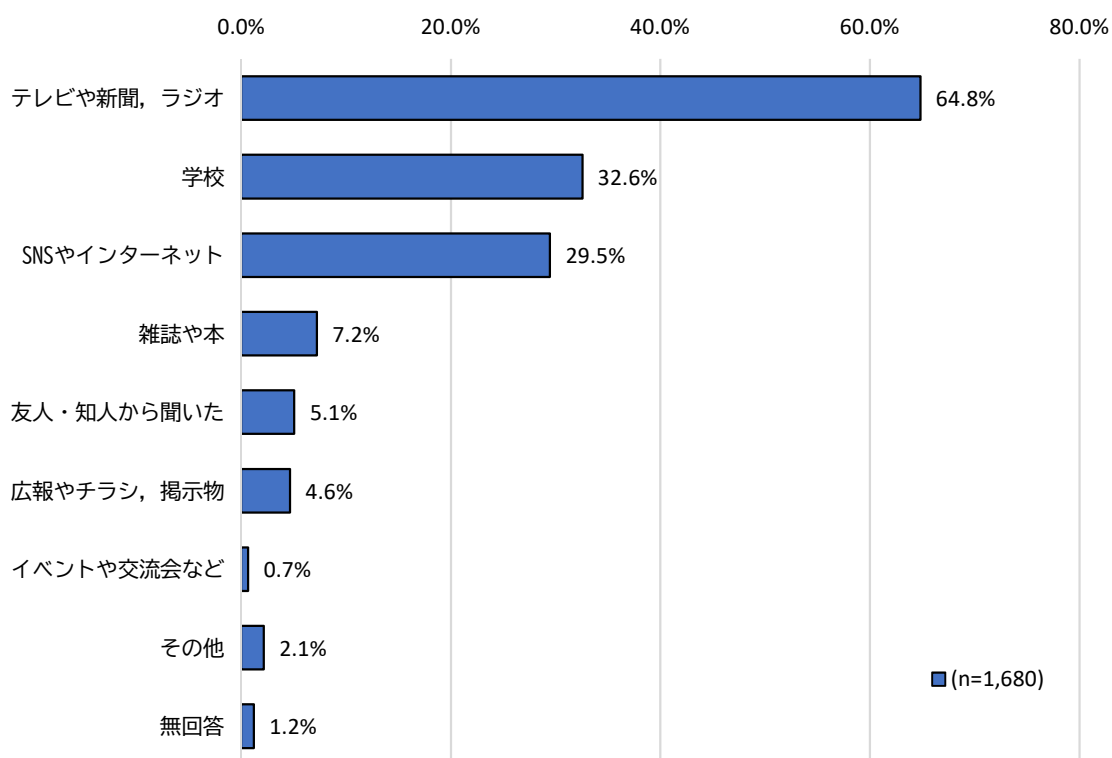
(n=3,615)



No.	選択肢	今回調査 (n=3,615)	国(R2年度) (n=7,407)
1	聞いたことがあり、内容も知っている	25.1%	5.7%
2	聞いたことはあるが、よく知らない	21.3%	6.9%
3	聞いたことはない	52.0%	86.8%
4	無回答	1.6%	0.6%
	合計	100.0%	100.0%

③ 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか（全日制高校生）（複数回答）

「ヤングケアラー」という言葉について「聞いたことがあり、内容も知っている」、聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した人に、どこで知ったかについて聞いたところ、「テレビや新聞、ラジオ」64.8%が最も高く、次いで「学校」32.6%、「SNSやインターネット」29.5%となっている。国調査と比較すると、「テレビや新聞、ラジオ」では13.6ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=1,680)	国(R4) (n=930)
1	テレビや新聞, ラジオ	64.8%	51.2%
2	雑誌や本	7.2%	7.6%
3	SNSやインターネット	29.5%	28.2%
4	広報やチラシ, 掲示物	4.6%	6.7%
5	イベントや交流会など	0.7%	1.0%
6	学校	32.6%	32.7%
7	友人・知人から聞いた	5.1%	3.0%
8	その他	2.1%	2.2%
9	無回答	1.2%	1.9%

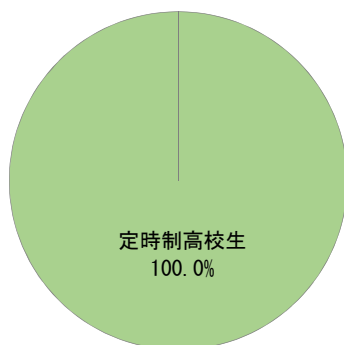
V 調査結果（定時制高校生）

（1）基本情報

① 対象者（定時制高校生）

回答者は、定時制高校生が全数となっている。

(n=80)

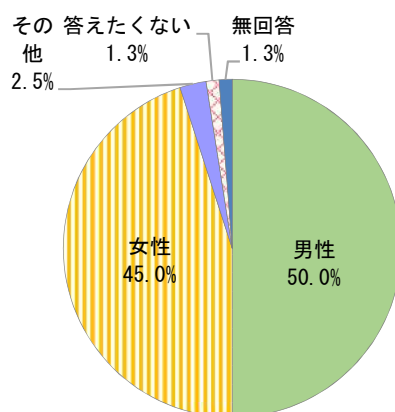


No.	選択肢	今回調査 (n=80)	国(R2年度) (n=366)
1	定時制高校生	100.0%	100.0%
2	無回答	0.0%	0.0%
	合計	100.0%	100.0%

② 性別（定時制高校生）

回答者の性別は、「男性」50.0%、「女性」45.0%となっている。

(n=80)



No.	選択肢	今回調査 (n=80)	国(R2年度) (n=366)
1	男性	50.0%	48.9%
2	女性	45.0%	49.2%
3	その他	2.5%	1.9%
4	答えたくない	1.3%	-
5	無回答	1.3%	-
	合計	100.0%	100.0%

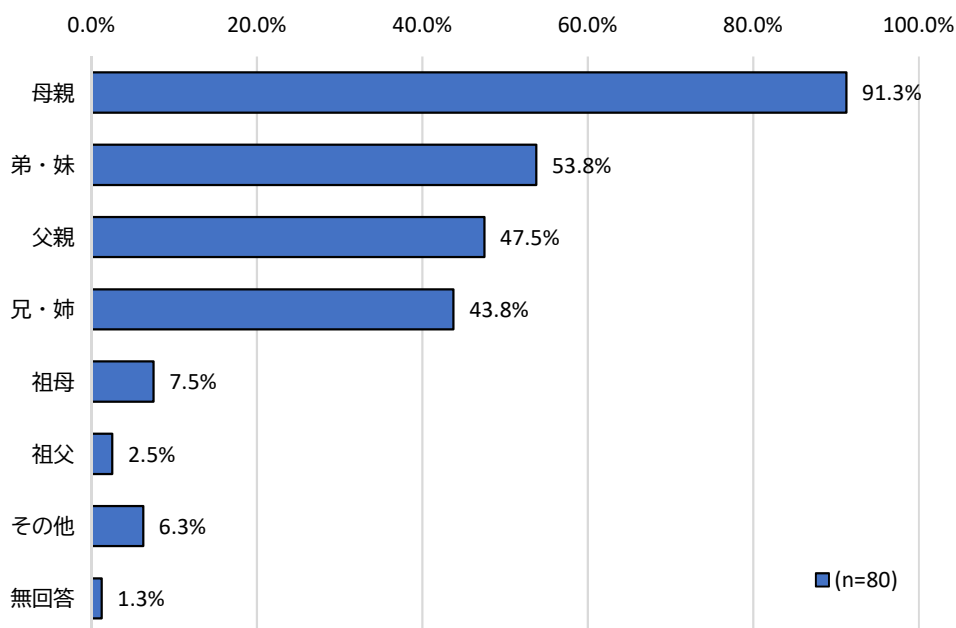
③ 居住地（定時制高校生）

回答者の居住地は、以下の通り。

番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数
1	鹿児島市	44	12	霧島市	2	23	長島町	-	34	宇検村	-
2	鹿屋市	-	13	いちき串木野市	1	24	湧水町	-	35	瀬戸内町	-
3	枕崎市	-	14	南さつま市	1	25	大崎町	-	36	龍郷町	-
4	阿久根市	-	15	志布志市	-	26	東串良町	-	37	喜界町	-
5	出水市	-	16	奄美市	23	27	錦江町	-	38	徳之島町	1
6	指宿市	2	17	南九州市	1	28	南大隅町	-	39	天城町	-
7	西之表市	-	18	伊佐市	-	29	肝付町	-	40	伊仙町	-
8	垂水市	-	19	始良市	-	30	中種子町	-	41	和泊町	-
9	薩摩川内市	1	20	三島村	-	31	南種子町	-	42	知名町	-
10	日置市	3	21	十島村	-	32	屋久島町	-	43	与論町	-
11	曾於市	-	22	さつま町	-	33	大和村	-	44	無回答	1

④ 同居家族（定時制高校生）（複数回答）

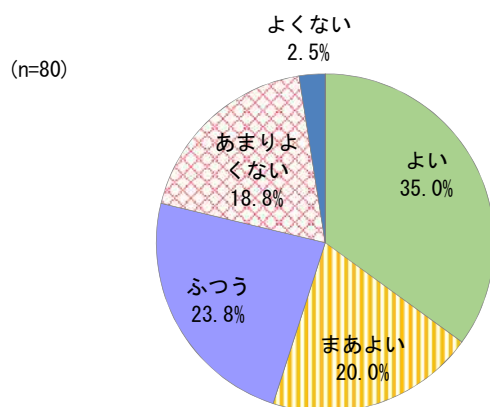
同居家族は、「母親」91.3%が最も高く、次いで「弟・妹」53.8%、「父親」47.5%となっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=80)	国(R2年度) (n=366)
1	母親	91.3%	94.3%
2	父親	47.5%	72.7%
3	祖母	7.5%	18.6%
4	祖父	2.5%	10.7%
5	兄・姉	43.8%	39.1%
6	弟・妹	53.8%	48.1%
7	その他	6.3%	3.8%
8	無回答	1.3%	0.3%

⑤ 健康状態（定時制高校生）

健康状態は、「よい」35.0%が最も高く、次いで「ふつう」23.8%、「まあよい」20.0%となっている。国調査と比較すると、「あまりよくない」は11.4ポイント高くなっている。



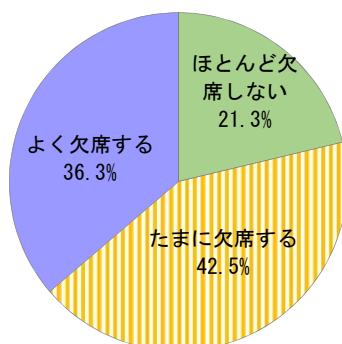
No.	選択肢	今回調査 (n=80)	国(R2年度) (n=366)
1	よい	35.0%	35.5%
2	まあよい	20.0%	18.0%
3	ふつう	23.8%	37.2%
4	あまりよくない	18.8%	7.4%
5	よくない	2.5%	1.9%
6	無回答	0.0%	0.0%
	合計	100.0%	100.0%

(2) 普段の生活について

① 出欠状況（定時制高校生）

出席状況については、「よく欠席する」36.3%が最も多く、次いで「たまに欠席する」42.5%、「ほとんど欠席しない」21.3%となっている。国調査と比較すると、「たまに欠席する」は17.9ポイント、「よく欠席する」は16.6ポイント高くなっている。

(n=80)

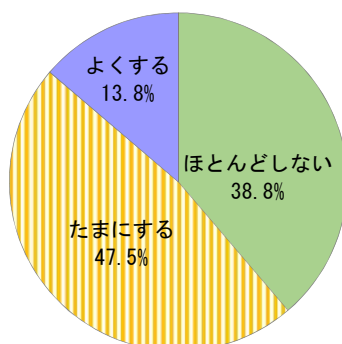


No.	選択肢	今回調査 (n=80)	国(R2年度) (n=366)
1	ほとんど欠席しない	21.3%	55.7%
2	たまに欠席する	42.5%	24.6%
3	よく欠席する	36.3%	19.7%
4	無回答	0.0%	0.0%
	合計	100.0%	100.0%

② 遅刻や早退の状況（定時制高校生）

遅刻や早退の状況については、「たまにする」47.5%が最も多く、次いで「ほとんどしない」38.8%、「よくする」13.8%となっている。国調査と比較すると、「たまにする」は16.1ポイント、「よくする」は5.3ポイント高くなっている。

(n=80)

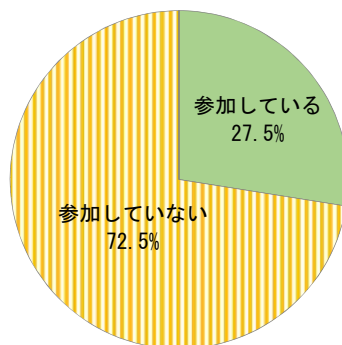


No.	選択肢	今回調査 (n=80)	国(R2年度) (n=366)
1	ほとんどしない	38.8%	60.1%
2	たまにする	47.5%	31.4%
3	よくする	13.8%	8.5%
4	無回答	0.0%	0.0%
	合計	100.0%	100.0%

③ 部活動などへの参加状況（定時制高校生）

部活動などへの参加状況については、「参加している」27.5%、「参加していない」72.5%となっている。国調査と比較すると、「参加していない」は15.4ポイント高く、「参加している」は14.8ポイント低くなっている。

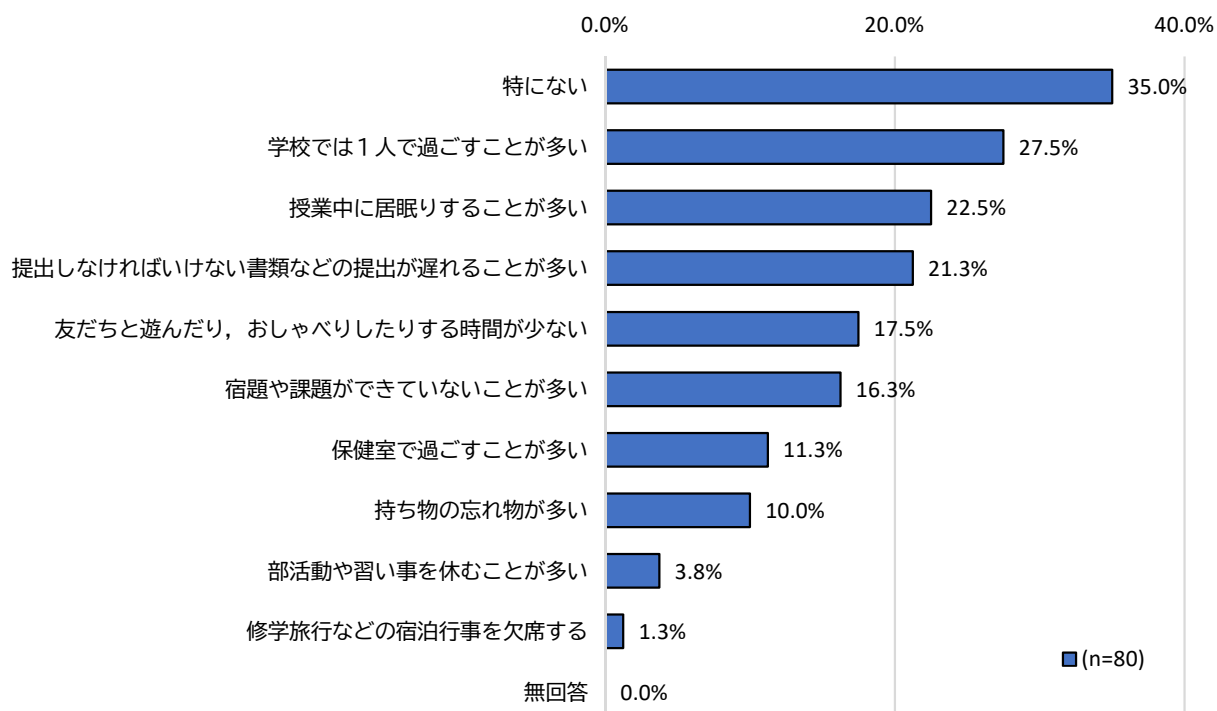
(n=80)



No.	選択肢	今回調査 (n=80)	国(R2年度) (n=366)
1	参加している	27.5%	42.3%
2	参加していない	72.5%	57.1%
3	無回答	0.0%	0.5%
	合計	100.0%	100.0%

④ 普段の学校生活などであてはまること（定時制高校生）（複数回答）

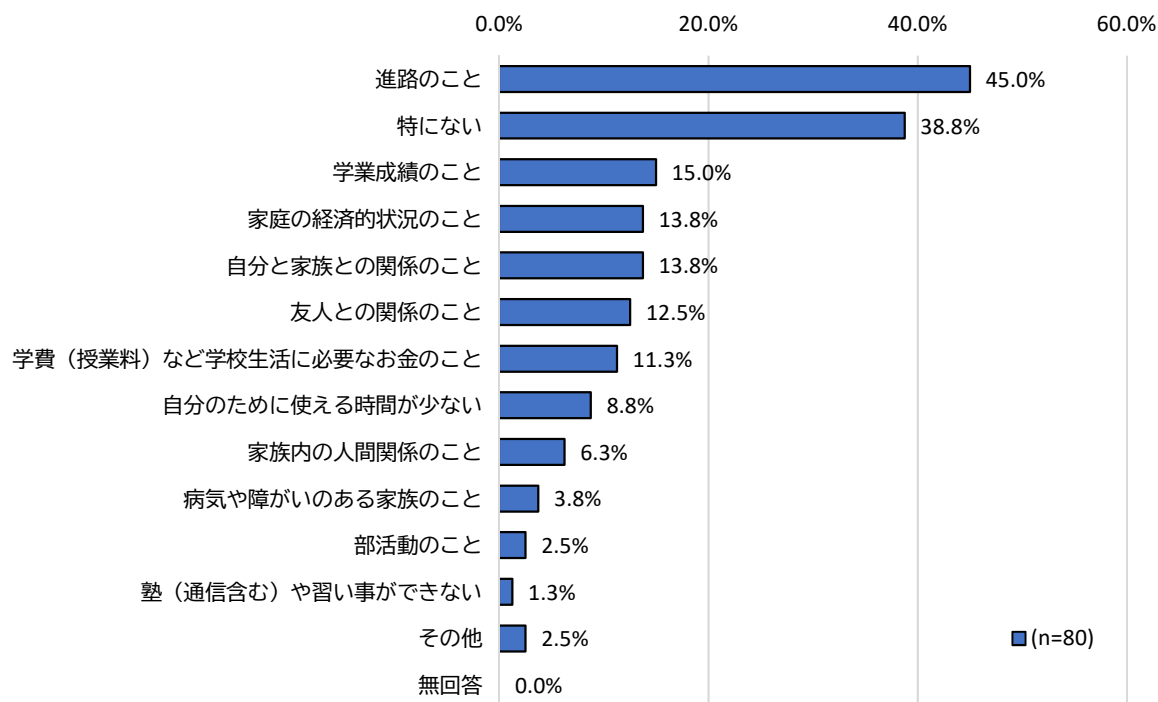
普段の学校生活などであてはまることについては、「特にない」35.0%が最も高く、次いで「学校では1人で過ごすことが多い」27.5%、「授業中に居眠りすることが多い」22.5%となっている。国調査と比較すると、「学校では1人で過ごすことが多い」は13.0ポイント、「保健室で過ごすことが多い」は9.7ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=80)	国(R2年度) (n=366)
1	授業中に居眠りすることが多い	22.5%	35.0%
2	宿題や課題ができていないことが多い	16.3%	19.1%
3	持ち物の忘れ物が多い	10.0%	15.0%
4	部活動や習い事を休むことが多い	3.8%	8.5%
5	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	21.3%	20.2%
6	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	1.3%	2.7%
7	保健室で過ごすことが多い	11.3%	1.6%
8	学校では1人で過ごすことが多い	27.5%	14.5%
9	友だちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	17.5%	13.9%
10	特にない	35.0%	37.4%
11	無回答	0.0%	0.5%

⑤ 現在の悩みごと（定時制高校生）（複数回答）

現在の悩みごとについては、「進路のこと」45.0%が最も高く、次いで「特にない」38.8%、「学校の成績のこと」15.0%となっている。国調査と比較すると、「特にない」は10.4ポイント高くなっている。一方、「学業成績のこと」は14.0ポイント、「進路のこと」は9.1ポイント低くなっている。

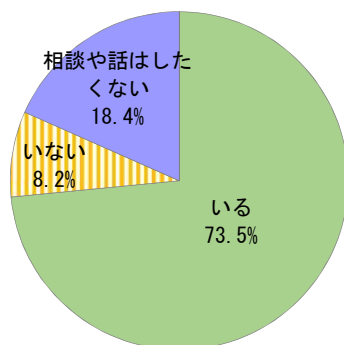


No.	選択肢	今回調査 (n=80)	国(R2年度) (n=366)
1	友人との関係のこと	12.5%	16.4%
2	学業成績のこと	15.0%	29.0%
3	進路のこと	45.0%	54.1%
4	部活動のこと	2.5%	6.3%
5	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	11.3%	10.4%
6	塾（通信含む）や習い事ができない	1.3%	1.6%
7	家庭の経済的状況のこと	13.8%	12.3%
8	自分と家族との関係のこと	13.8%	10.1%
9	家族内の人間関係のこと	6.3%	8.7%
10	病気や障がいのある家族のこと	3.8%	3.0%
11	自分のために使える時間が少ない	8.8%	6.3%
12	その他	2.5%	3.6%
13	特にない	38.8%	28.4%
14	無回答	0.0%	1.6%

⑥ 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無（定時制高校生）

前問で何らかの悩みごとがあると回答した人に、話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」73.5%が最も高く、次いで「相談や話はしたくない」18.4%、「いない」8.2%となっている。国調査と比較すると、「いる」は5.9ポイント高くなっている。一方、「相談や話はしたくない」は5.8ポイント低くなっている。

(n=49)

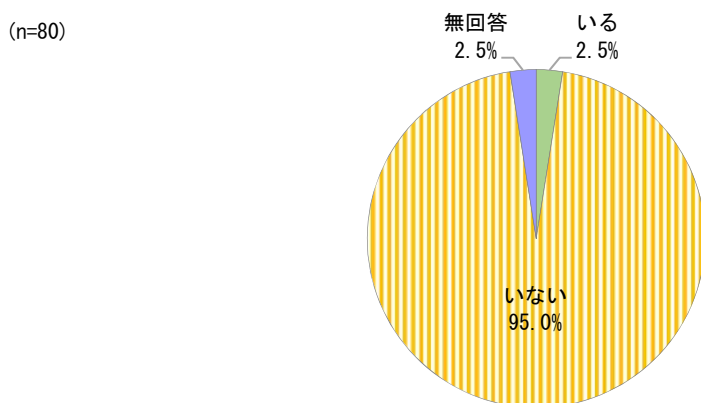


No.	選択肢	今回調査 (n=49)	国(R2年度) (n=256)
1	いる	73.5%	67.6%
2	いない	8.2%	7.4%
3	相談や話はしたくない	18.4%	24.2%
4	無回答	0.0%	0.8%
	合計	100.0%	100.0%

(3) 家庭や家族のことについて

① 世話をしている家族の有無（定時制高校生）

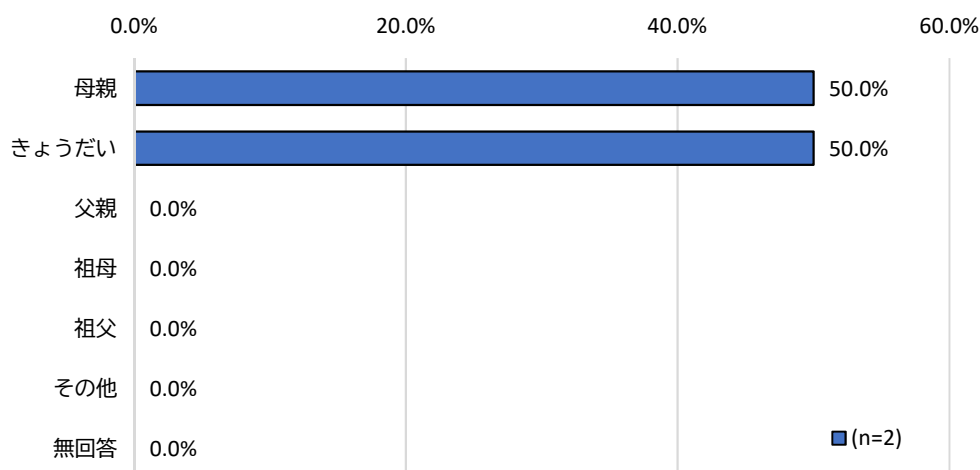
世話をしている家族の有無については、「いる」2.5%、「いない」95.0%となっている。国調査と比較すると、「いる」は6.0ポイント低く、「いない」は5.1ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=80)	国(R2年度) (n=366)
1	いる	2.5%	8.5%
2	いない	95.0%	89.9%
3	無回答	2.5%	1.6%
	合計	100.0%	100.0%

② 世話を必要としている家族（定時制高校生）（複数回答）

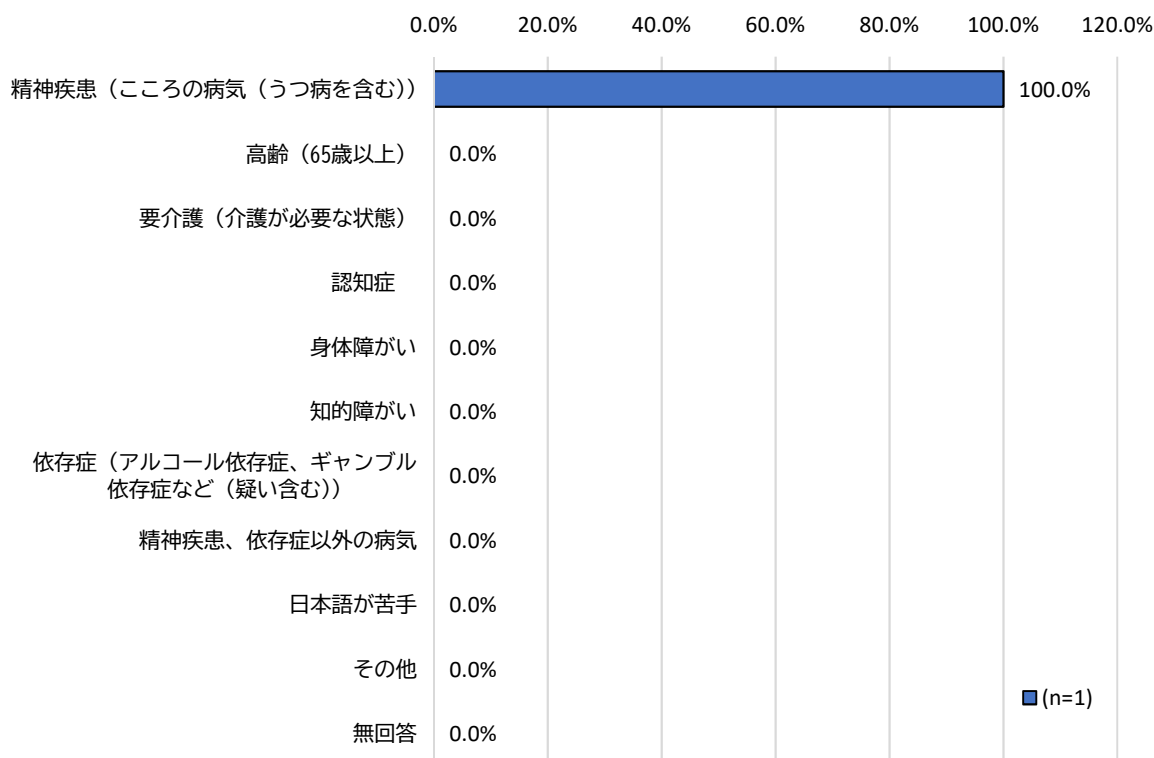
世話を必要としている家族については、「母親」「きょうだい」と回答した割合が同数となっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=2)	国(R2年度) (n=31)
1	母親	50.0%	35.5%
2	父親	0.0%	
3	祖母	0.0%	16.1%
4	祖父	0.0%	
5	きょうだい	50.0%	41.9%
6	その他	0.0%	12.9%
7	無回答	0.0%	9.7%

③ 父母の状況（定時制高校生）（複数回答）

世話を必要としている家族として「父母」と回答した1名に、父母の状況を聞いたところ、「精神疾患（こころの病気（うつ病を含む））」との回答であった。



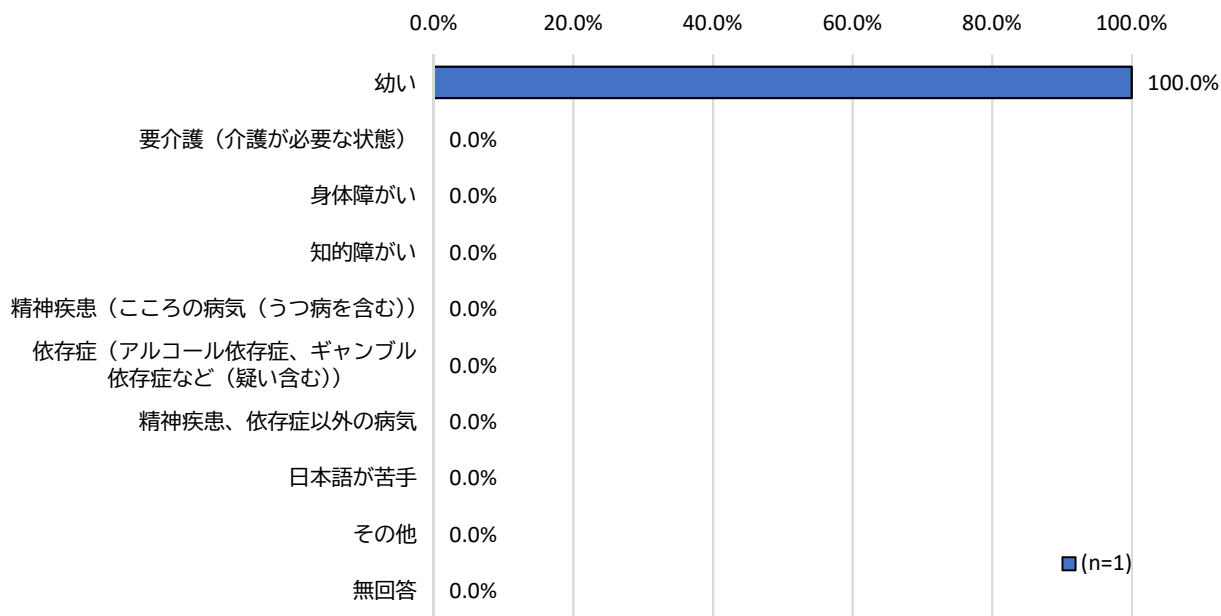
No.	選択肢	今回調査 (n=1)	国(R2年度) (n=11)
1	高齢(65歳以上)	0.0%	9.1%
2	要介護(介護が必要な状態)	0.0%	18.2%
3	認知症	0.0%	0.0%
4	身体障がい	0.0%	0.0%
5	知的障がい	0.0%	9.1%
6	精神疾患(こころの病気(うつ病を含む))	100.0%	9.1%
7	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など(疑い含む))	0.0%	0.0%
8	精神疾患、依存症以外の病気	0.0%	9.1%
9	日本語が苦手	0.0%	-
10	その他	0.0%	27.3%
11	無回答	0.0%	45.5%

④ 祖父母の状況（定時制高校生）（複数回答）

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人は該当なしであった。

⑤ きょうだいの状況（定時制高校生）（複数回答）

世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した1名に、きょうだいの状況を聞いたところ、「幼い」との回答であった。



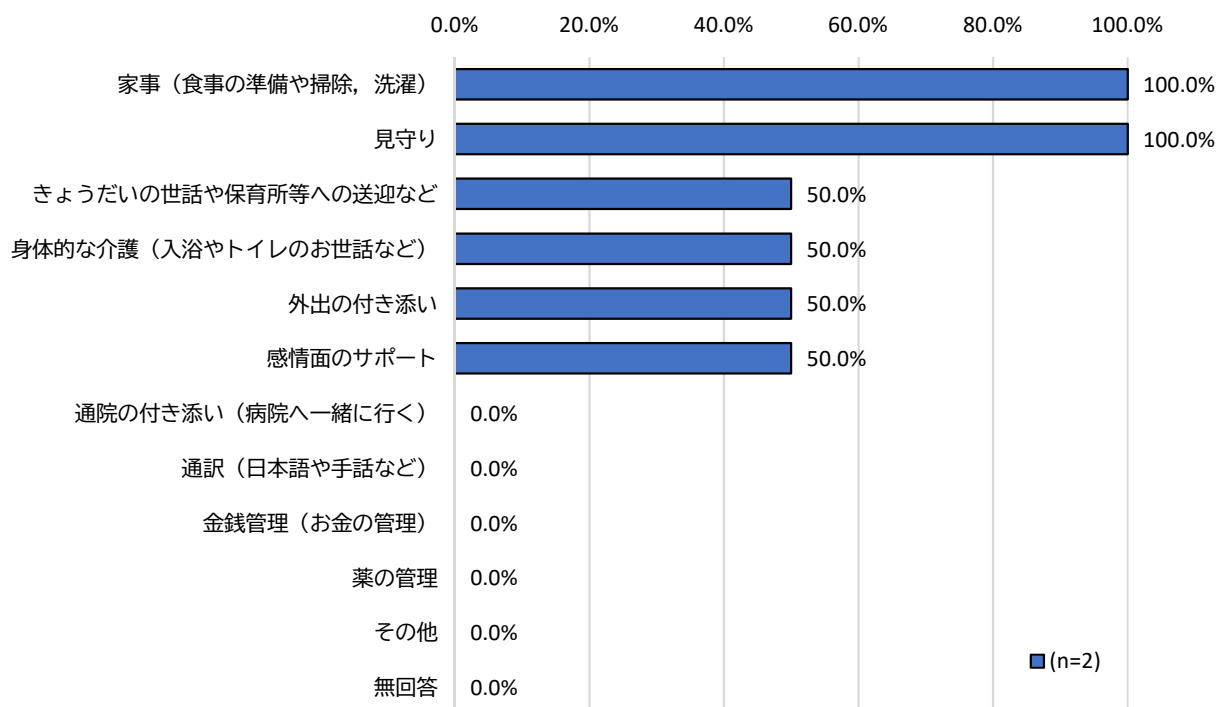
No.	選択肢	今回調査 (n=1)	国(R2年度) (n=13)
1	幼い	100.0%	46.2%
2	要介護(介護が必要な状態)	0.0%	-
3	身体障がい	0.0%	0.0%
4	知的障がい	0.0%	23.1%
5	精神疾患(こころの病気(うつ病を含む))	0.0%	-
6	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など(疑い含む))	0.0%	7.7%
7	精神疾患、依存症以外の病気	0.0%	0.0%
8	日本語が苦手	0.0%	-
9	その他	0.0%	7.7%
10	無回答	0.0%	15.4%

⑥ その他の家族の状況（定時制高校生）（複数回答）

世話を必要としている家族として「その他」と回答した人は該当なしであった。

⑦ 世話の内容（定時制高校生）（複数回答）

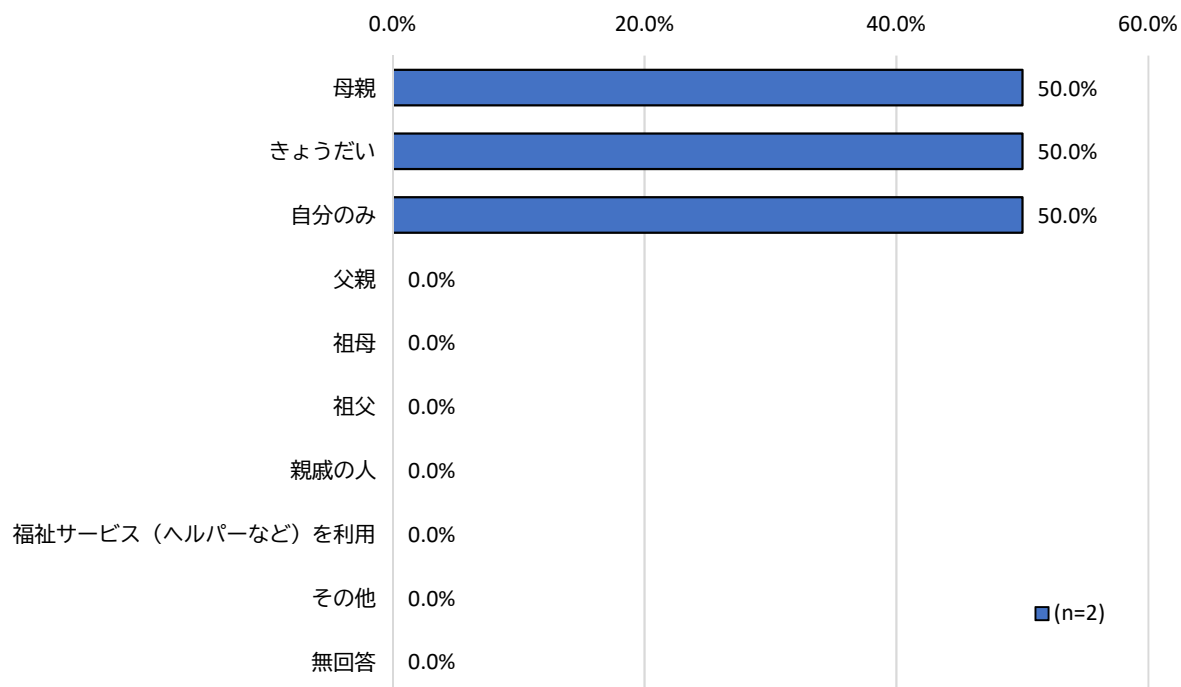
世話をしている家族がいると回答した2名に世話の内容について聞いたところ、「家事」「見守り」については2名とも回答、他には、「きょうだいの世話や保育所等への送迎」「身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）」「外出の付き添い」「感情面のサポート」との回答であった。



No.	選択肢	今回調査 (n=2)	国 (R2年度) (n=7,407)
1	家事(食事の準備や掃除, 洗濯)	100.0%	-
2	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	50.0%	-
3	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	50.0%	-
4	外出の付き添い	50.0%	-
5	通院の付き添い(病院へ一緒に行く)	0.0%	-
6	感情面のサポート	50.0%	-
7	見守り	100.0%	-
8	通訳(日本語や手話など)	0.0%	-
9	金銭管理(お金の管理)	0.0%	-
10	薬の管理	0.0%	-
11	その他	0.0%	-
12	無回答	0.0%	-

⑧ 世話を一緒にしている人（定時制高校生）（複数回答）

世話を一緒にしている人については、「母親」「きょうだい」「自分のみ」との回答であった。

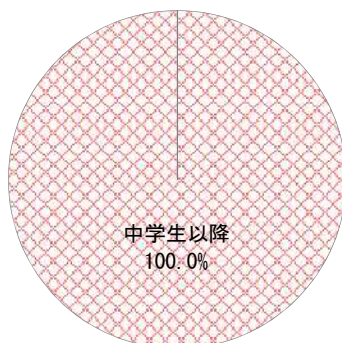


No.	選択肢	今回調査 (n=2)	国(R2年度) (n=31)
1	母親	50.0%	41.9%
2	父親	0.0%	19.4%
3	祖母	0.0%	12.9%
4	祖父	0.0%	3.2%
5	きょうだい	50.0%	25.8%
6	親戚の人	0.0%	9.7%
7	自分のみ	50.0%	19.4%
8	福祉サービス(ヘルパーなど)を利用	0.0%	6.5%
9	その他	0.0%	3.2%
10	無回答	0.0%	19.4%

⑨ 世話を始めた年齢（定時制高校生）

世話を始めた年齢については、回答対象者2名ともに「中学生以降」との回答であった。

(n=2)

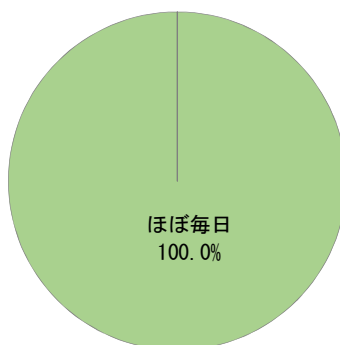


No.	選択肢	今回調査 (n=2)	国(R2年度) (n=31)
1	就学前(～6歳)	0.0%	3.2%
2	小学校低学年(7～9歳)	0.0%	0.0%
3	小学校高学年(10～12歳)	0.0%	25.8%
4	中学生以降	100.0%	29.0%
5	無回答	0.0%	41.9%
	合計	100.0%	100.0%

⑩ 世話をしている頻度（定時制高校生）

世話をしている頻度については、回答対象者2名ともに「ほぼ毎日」との回答であった。

(n=2)

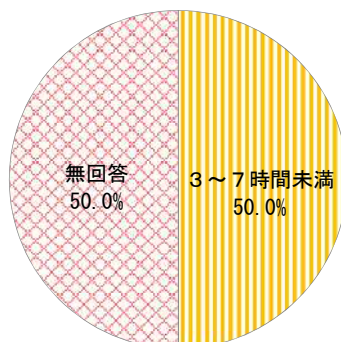


No.	選択肢	今回調査 (n=2)	国(R2年度) (n=31)
1	ほぼ毎日	100.0%	35.5%
2	週に3～5日	0.0%	12.9%
3	週に1～2日	0.0%	16.1%
4	1ヶ月に数日	0.0%	3.2%
5	その他	0.0%	12.9%
6	無回答	0.0%	19.4%
	合計	100.0%	100.0%

⑪ 平日1日あたりの世話を費やす時間（定時制高校生）

平日1日あたりに世事に費やす時間については、「3～7時間未満」が半数となっている。

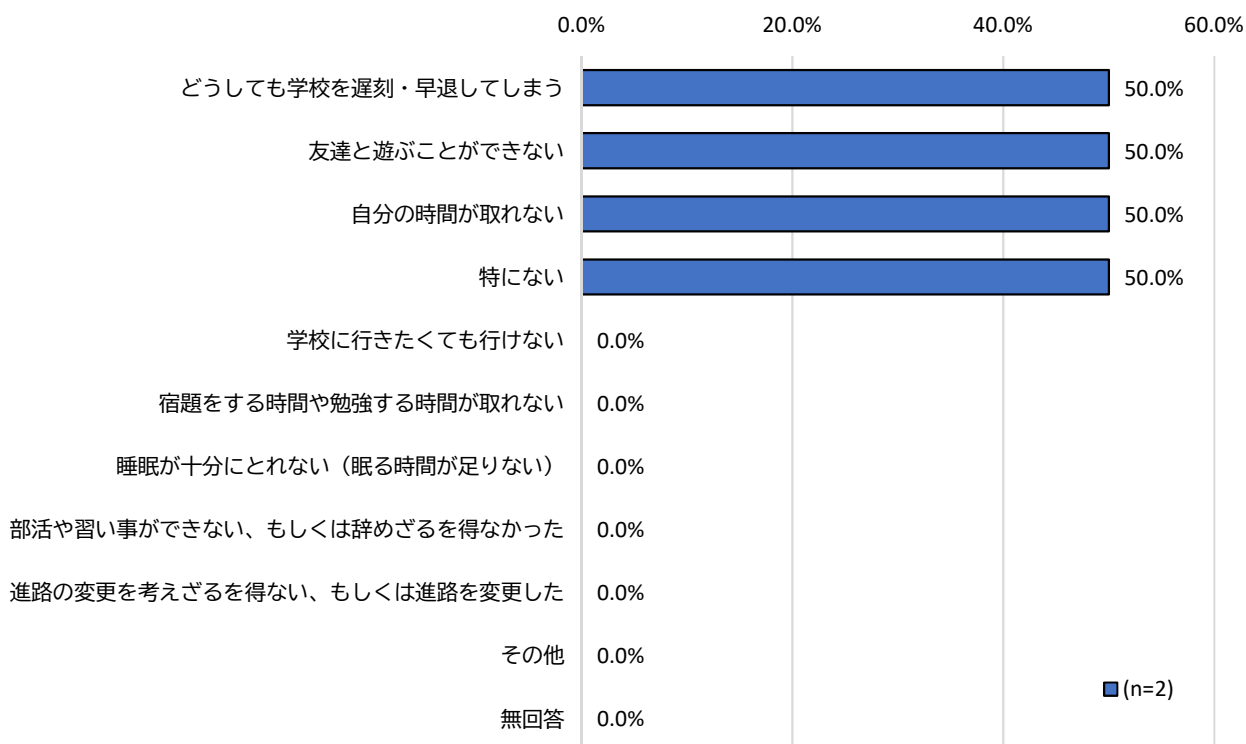
(n=2)



No.	選択肢	今回調査 (n=2)	国(R2年度) (n=31)
1	3時間未満	0.0%	19.4%
2	3～7時間未満	50.0%	25.8%
3	7時間以上	0.0%	9.7%
4	無回答	50.0%	45.2%
合計		100.0%	100.0%

⑫ 世話をしているためにやりたいけれどできないこと（定時制高校生）（複数回答）

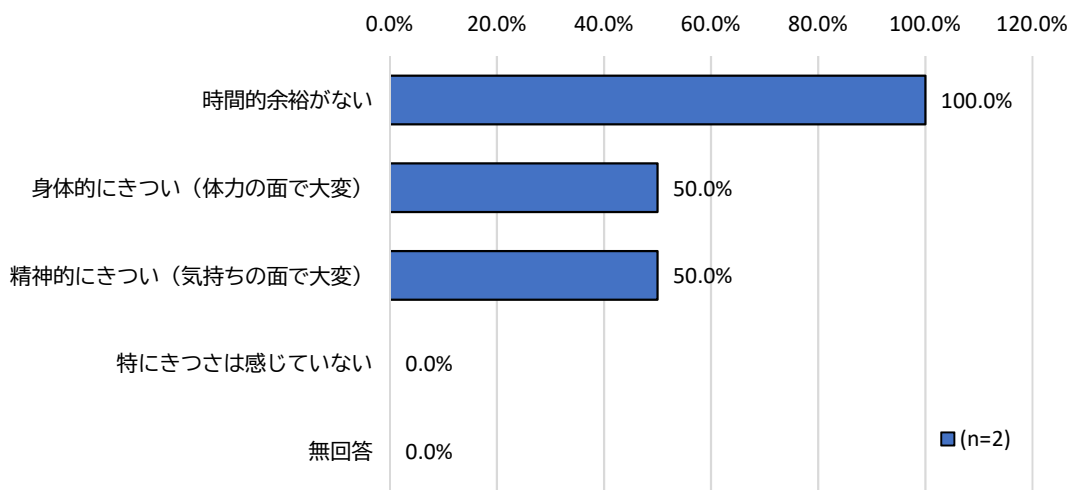
世話をしているためにやりたいけれどできないことについては、「どうしても学校を遅刻・早退してしまう」「友達と遊ぶことができない」「自分の時間が取れない」「特にない」との回答であった。



No.	選択肢	今回調査 (n=2)	国(R2年度) (n=31)
1	学校に行きたくても行けない	0.0%	0.0%
2	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	50.0%	3.2%
3	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	0.0%	12.9%
4	睡眠が十分にとれない(眠る時間が足りない)	0.0%	16.1%
5	友達と遊ぶことができない	50.0%	16.1%
6	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	0.0%	0.0%
7	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	0.0%	6.5%
8	自分の時間が取れない	50.0%	19.4%
9	その他	0.0%	0.0%
10	特にない	50.0%	58.1%
11	無回答	0.0%	16.1%

⑬ 世話の大変さ（定時制高校生）（複数回答）

世話の大変さについては、回答対象者2名とも「時間の余裕がない」と回答し、他には「身体的にきつい（体力面で大変）」、「精神的にきつい（気持ちの面で大変）」との回答であった。

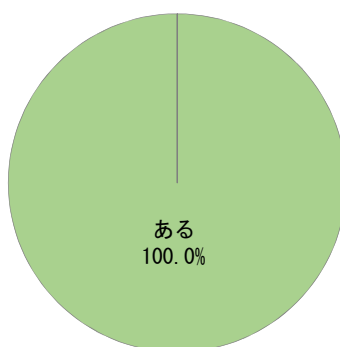


No.	選択肢	今回調査 (n=2)	国(R2年度) (n=31)
1	身体的にきつい(体力の面で大変)	50.0%	16.1%
2	精神的にきつい(気持ちの面で大変)	50.0%	29.0%
3	時間的余裕がない	100.0%	25.8%
4	特にきつさは感じていない	0.0%	45.2%
5	無回答	0.0%	19.4%

⑭ 世話について相談した経験（定時制高校生）

世話について相談した経験については、回答対象者2名とも「ある」との回答であった。

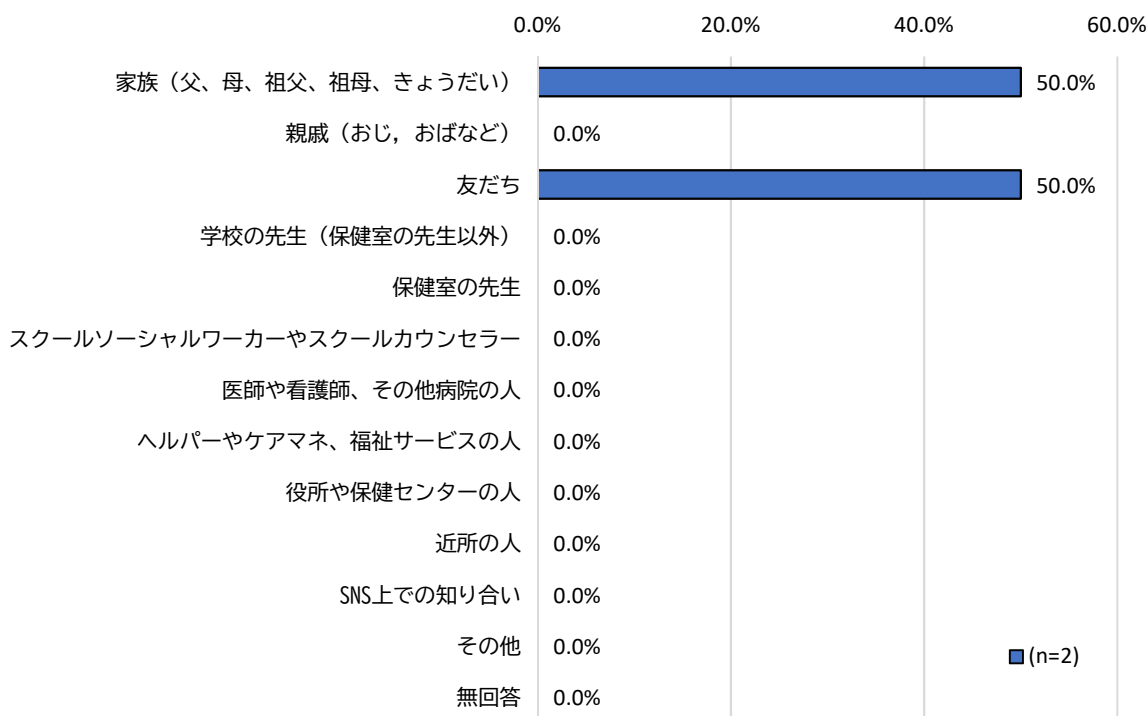
(n=2)



No.	選択肢	今回調査 (n=2)	国(R2年度) (n=31)
1	ある	100.0%	32.3%
2	ない	0.0%	51.6%
3	無回答	0.0%	16.1%
合計		100.0%	100.0%

⑮ 世話についての相談相手（定時制高校生）（複数回答）

世話についての相談相手については、「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」、「友だち」となっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=2)	国(R2年度) (n=10)
1	家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）	50.0%	70.0%
2	親戚（おじ、おばなど）	0.0%	10.0%
3	友だち	50.0%	10.0%
4	学校の先生（保健室の先生以外）	0.0%	10.0%
5	保健室の先生	0.0%	0.0%
6	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	0.0%	0.0%
7	医師や看護師、その他病院の人	0.0%	0.0%
8	ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人	0.0%	0.0%
9	役所や保健センターの人	0.0%	0.0%
10	近所の人	0.0%	0.0%
11	SNS上での知り合い	0.0%	10.0%
12	その他	0.0%	10.0%
13	無回答	0.0%	10.0%

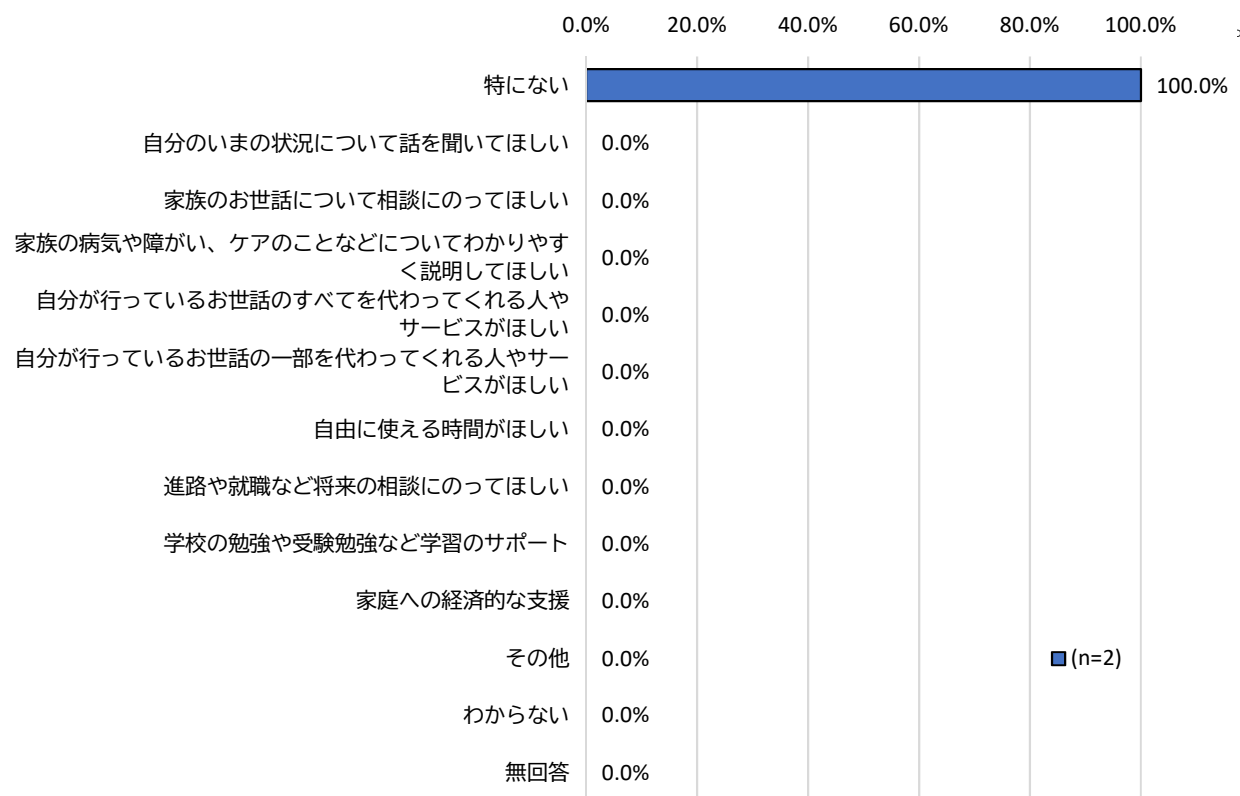
⑩ 世話について相談したことがない理由（定時制高校生）（複数回答）

世話について相談した経験が「ない」と回答した人は該当なしであった。

⑪ 世話について話を聞いてくれる人の有無（定時制高校生）

世話について相談した経験が「ない」と回答した人は該当なしであった。

⑫ 学校や大人にしてもらいたいこと（定時制高校生）（複数回答）



No.	選択肢	今回調査 (n=2)	国(R2年度) (n=31)
1	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	0.0%	6.5%
2	家族のお世話について相談にのってほしい	0.0%	3.2%
3	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	0.0%	6.5%
4	自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	0.0%	3.2%
5	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	0.0%	3.2%
6	自由に使える時間がほしい	0.0%	22.6%
7	進路や就職など将来の相談にのってほしい	0.0%	12.9%
8	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	0.0%	12.9%
9	家庭への経済的な支援	0.0%	6.5%
10	その他	0.0%	0.0%
11	特になし	100.0%	45.2%
12	わからない	0.0%	9.7%
13	無回答	0.0%	19.4%

⑬ 希望する相談方法（定時制高校生）

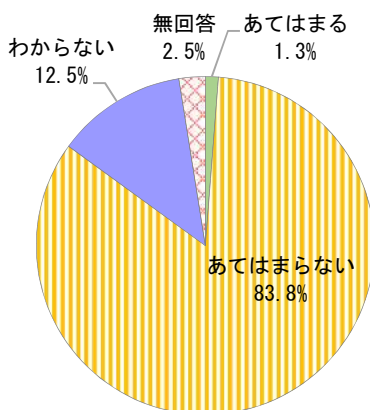
前問で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人は該当なしであった。

(4) ヤングケアラーについて

① 「ヤングケアラー」にあてはまると思うか（定時制高校生）

「ヤングケアラー」にあてはまると思うかについては、「あてはまる」1.3%、「あてはまらない」83.8%、「わからない」12.5%となっている。国調査と比較すると、「あてはまらない」は15.8ポイント高くなっている。

(n=80)

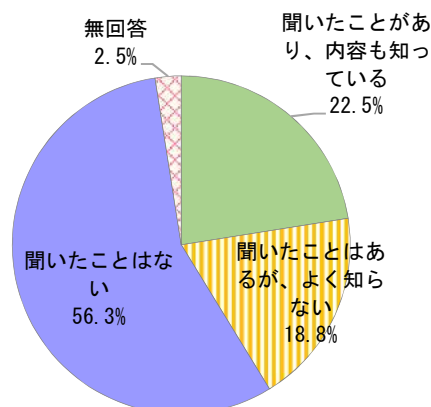


No.	選択肢	今回調査 (n=80)	国(R2年度) (n=366)
1	あてはまる	1.3%	4.6%
2	あてはまらない	83.8%	68.0%
3	わからない	12.5%	26.8%
4	無回答	2.5%	0.5%
	合計	100.0%	100.0%

② 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか（定時制高校生）

「ヤングケアラー」という言葉の認知度については、「聞いたことはない」56.3%が最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」22.5%、「聞いたことはあるが、よく知らない」18.8%となっている。国調査と比較すると、「聞いたことがあり、内容も知っている」は16.5ポイント、「聞いたことはあるが、よく知らない」は11.1ポイント高くなっている。一方、「聞いたことはない」は29.2ポイント低くなっている。

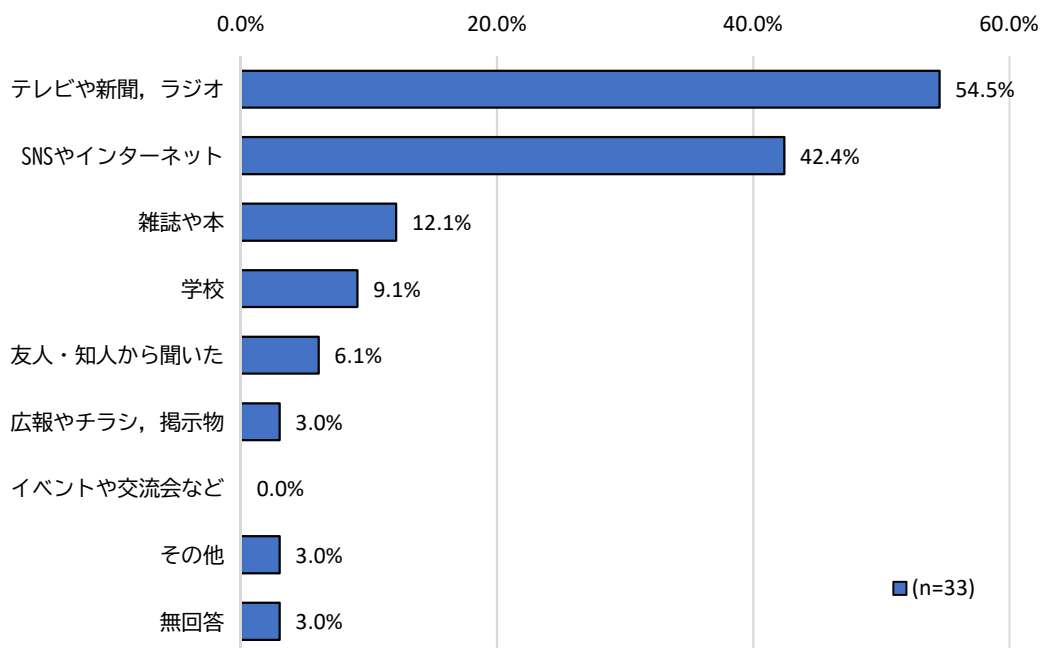
(n=80)



No.	選択肢	今回調査 (n=80)	国(R2年度) (n=366)
1	聞いたことがあり、内容も知っている	22.5%	6.0%
2	聞いたことはあるが、よく知らない	18.8%	7.7%
3	聞いたことはない	56.3%	85.5%
4	無回答	2.5%	0.8%
	合計	100.0%	100.0%

③ 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか（定時制高校生）（複数回答）

「ヤングケアラー」という言葉について「聞いたことがあり、内容も知っている」、聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した人に、どこで知ったかについて聞いたところ、「テレビや新聞、ラジオ」54.5%が最も高く、次いで「SNSやインターネット」42.4%となっている。国調査と比較すると、「テレビや新聞、ラジオ」は20.5ポイント、「SNSやインターネット」は12.4ポイント高くなっている。一方、「学校」は22.9ポイント低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=33)	国(R2年度) (n=50)
1	テレビや新聞、ラジオ	54.5%	34.0%
2	雑誌や本	12.1%	14.0%
3	SNSやインターネット	42.4%	30.0%
4	広報やチラシ、掲示物	3.0%	4.0%
5	イベントや交流会など	0.0%	2.0%
6	学校	9.1%	32.0%
7	友人・知人から聞いた	6.1%	4.0%
8	その他	3.0%	8.0%
9	無回答	3.0%	8.0%

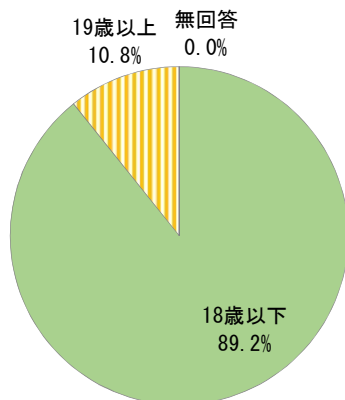
VI 調査結果（通信制高校生）

（1）基本情報

① 年齢（通信制高校生）

回答者の年齢は、「18歳以下」89.2%、「19歳以上」10.8%となっている。

(n=158)

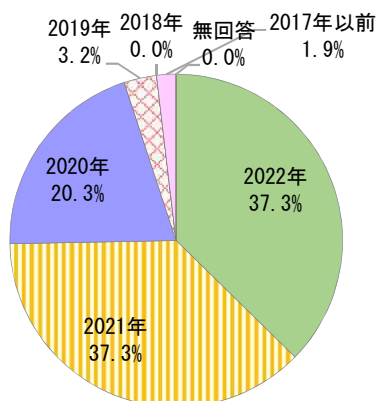


No.	選択肢	今回調査 (n=158)	国(R2年度) (n=7,407)
1	18歳以下	89.2%	—
2	19歳以上	10.8%	—
3	無回答	0.0%	—
	合計	100.0%	—

② 入学した年（通信制高校生）

回答者の入学した年は、「2022年」「2021年」とともに37.3%が最も高く、次いで「2020年」20.3%となっている。

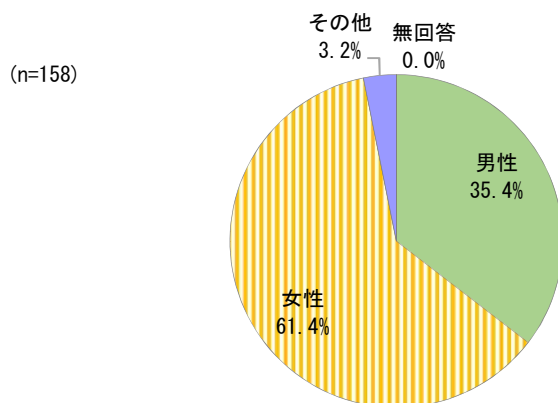
(n=158)



No.	選択肢	今回調査 (n=158)	国(R2年度)
1	2022年	37.3%	—
2	2021年	37.3%	—
3	2020年	20.3%	—
4	2019年	3.2%	—
5	2018年	0.0%	—
6	2017年以前	1.9%	—
7	無回答	0.0%	—
	合計	100.0%	—

③ 性別（通信制高校生）

回答者の性別は、「男性」35.4%、「女性」61.4%となっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=158)	国(R2年度) (n=446)
1	男性	35.4%	31.8%
2	女性	61.4%	63.9%
3	その他	3.2%	3.6%
4	無回答	0.0%	0.7%
	合計	100.0%	100.0%

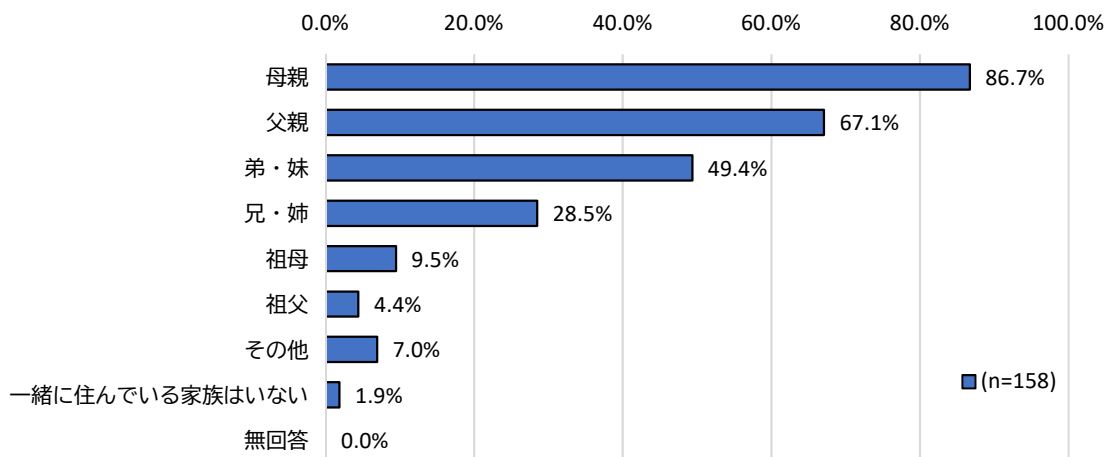
④ 居住地（通信制高校生）

回答者の居住地は、以下の通り。

番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数	番号	市町村	回答者数
1	鹿児島市	62	12	霧島市	9	23	長島町	-	34	宇検村	-
2	鹿屋市	14	13	いちき串木野市	5	24	湧水町	1	35	瀬戸内町	1
3	枕崎市	6	14	南さつま市	3	25	大崎町	3	36	龍郷町	-
4	阿久根市	3	15	志布志市	4	26	東串良町	-	37	喜界町	-
5	出水市	9	16	奄美市	4	27	錦江町	-	38	徳之島町	3
6	指宿市	1	17	南九州市	4	28	南大隅町	-	39	天城町	-
7	西之表市	4	18	伊佐市	7	29	肝付町	1	40	伊仙町	-
8	垂水市	2	19	始良市	2	30	中種子町	-	41	和泊町	1
9	薩摩川内市	5	20	三島村	-	31	南種子町	2	42	知名町	-
10	日置市	-	21	十島村	-	32	屋久島町	-	43	与論町	-
11	曾於市	1	22	さつま町	1	33	大和村	-			

⑤ 同居家族（通信制高校生）（複数回答）

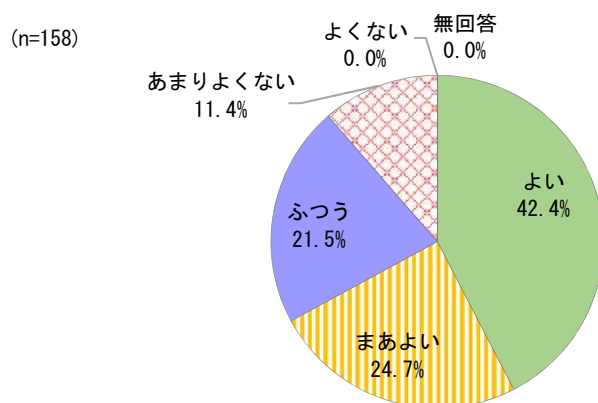
同居家族は、「母親」86.7%が最も高く、次いで「父親」67.1%、「弟・妹」49.4%となっている。国調査と比較すると、「祖母」、「祖父」と回答した割合が低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=158)	国(R2年度) (n=446)
1	母親	86.7%	85.9%
2	父親	67.1%	65.0%
3	祖母	9.5%	21.5%
4	祖父	4.4%	13.0%
5	兄・姉	28.5%	32.3%
6	弟・妹	49.4%	42.8%
7	その他	7.0%	11.0%
8	一緒に住んでいる家族はいない	1.9%	0.0%
9	無回答	0.0%	0.9%

⑥ 健康状態（通信制高校生）

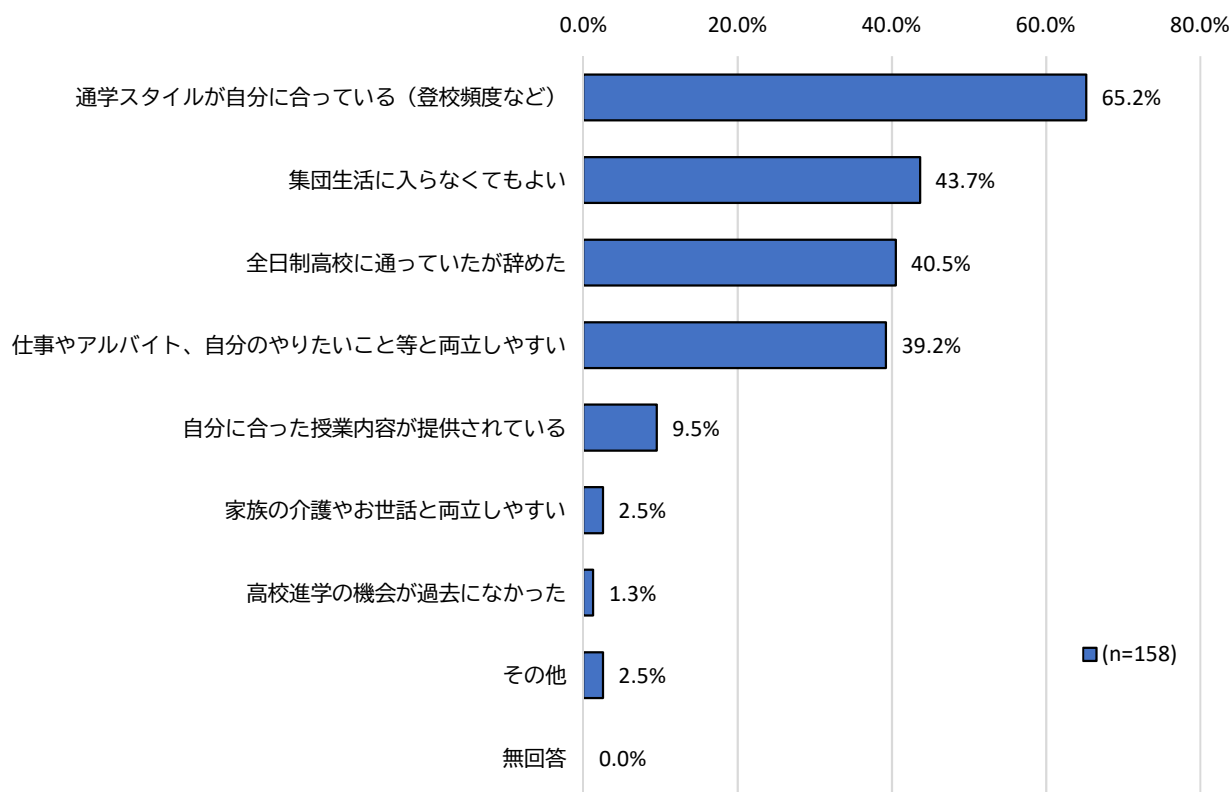
健康状態は、「よい」42.4%、「まあよい」24.7%、「ふつう」21.5%、「あまりよくない」11.4%となっている。国調査と比較すると、「よい」は24.5ポイント、「まあよい」は9.7ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=158)	国(R2年度) (n=446)
1	よい	42.4%	17.9%
2	まあよい	24.7%	15.0%
3	ふつう	21.5%	46.0%
4	あまりよくない	11.4%	14.8%
5	よくない	0.0%	2.9%
6	無回答	0.0%	3.4%
	合計	100.0%	100.0%

⑦ 入学理由（通信制高校生）（複数回答）

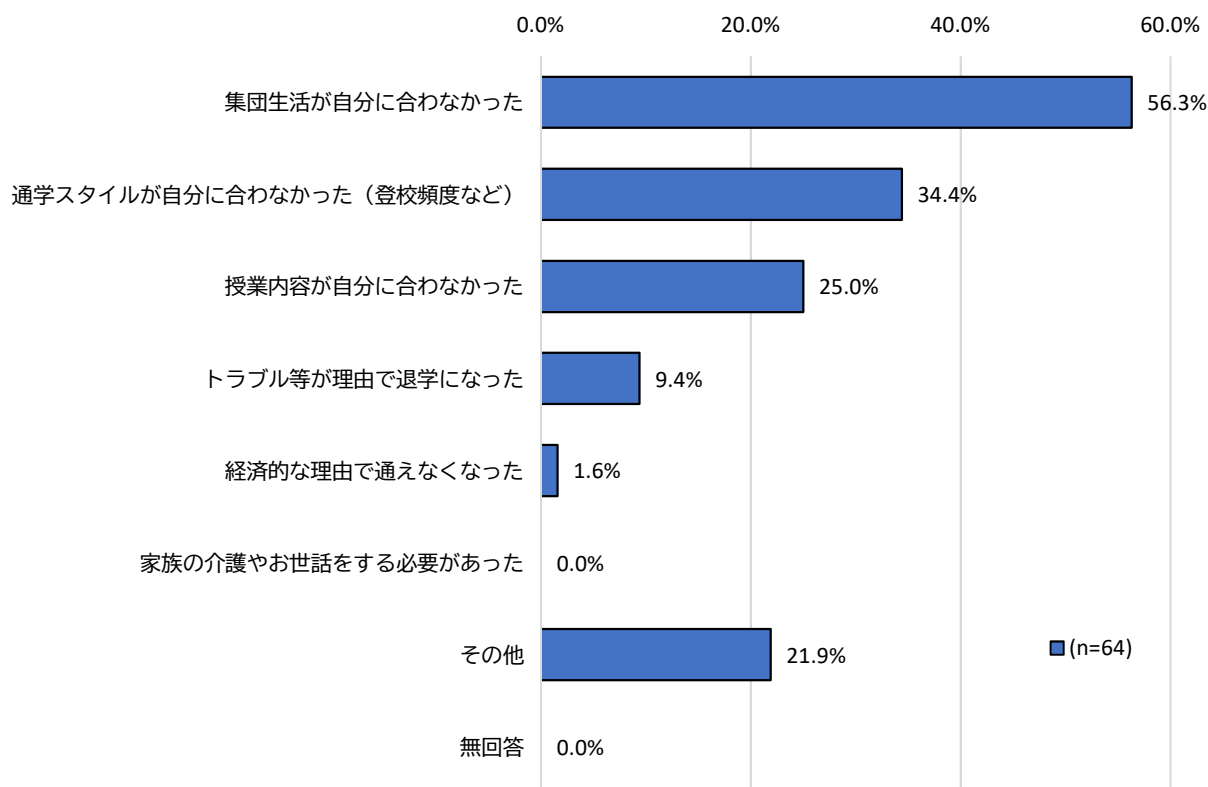
通信制高校への入学理由については、「通学スタイルが自分に合っている（登校頻度など）」65.2%が最も高く、次いで「集団生活に入らなくてもよい」43.7%、「全日制高校に通っていたが辞めた」40.5%となっている。国と比較して大きな差異はみられない。



No.	選択肢	今回調査 (n=158)	国(R2年度) (n=446)
1	通学スタイルが自分に合っている（登校頻度など）	65.2%	61.9%
2	自分に合った授業内容が提供されている	9.5%	11.0%
3	集団生活に入らなくてもよい	43.7%	49.1%
4	仕事やアルバイト、自分のやりたいこと等と両立しやすい	39.2%	42.4%
5	家族の介護やお世話と両立しやすい	2.5%	3.4%
6	全日制高校に通っていたが辞めた	40.5%	44.2%
7	高校進学が機会が過去になかった	1.3%	2.0%
8	その他	2.5%	6.5%
9	無回答	0.0%	0.4%

⑧ 全日制高校を辞めた理由（通信制高校生）（複数回答）

入学理由として「全日制高校に通っていたが辞めた」と回答した人に、全日制高校を辞めた理由を聞いたところ、「集団生活が自分に合わなかった」56.3%が最も高く、次いで、「通学スタイルが自分に合わなかった（登校頻度など）」34.4%、「授業内容が合わなかった」25.0%となっている。国調査と比較すると、「授業内容が自分に合わなかった」は6.2ポイント高くなっている。

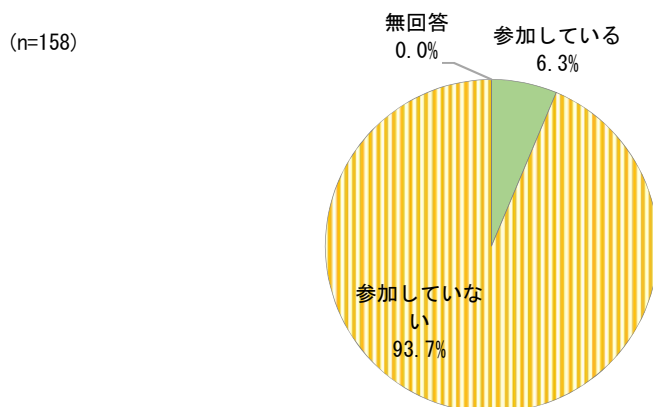


No.	選択肢	今回調査 (n=64)	国(R2年度) (n=446)
1	通学スタイルが自分に合わなかった(登校頻度など)	34.4%	34.5%
2	授業内容が自分に合わなかった	25.0%	18.8%
3	集団生活が自分に合わなかった	56.3%	54.3%
4	経済的な理由で通えなくなった	1.6%	3.0%
5	家族の介護やお世話をする必要があった	0.0%	2.0%
6	トラブル等が理由で退学になった	9.4%	11.2%
7	その他	21.9%	27.4%
8	無回答	0.0%	—

(2) 普段の生活について

① 部活動などへの参加状況（通信制高校生）

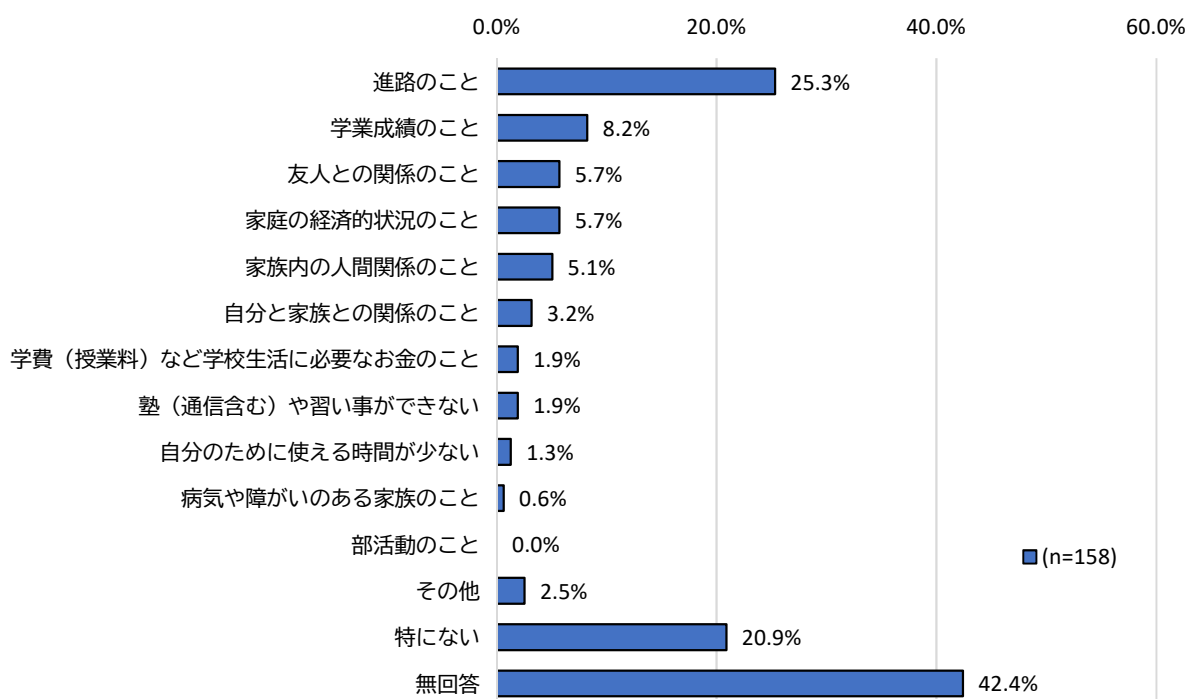
部活動などへの参加状況については、「参加している」6.3%、「参加していない」93.7%となっている。国調査と比較すると、「参加している」は3.8ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=158)	国(R2年度) (n=446)
1	参加している	6.3%	10.1%
2	参加していない	93.7%	89.7%
3	無回答	0.0%	0.2%
	合計	100.0%	100.0%

② 現在の悩みごと（通信制高校生）（複数回答）

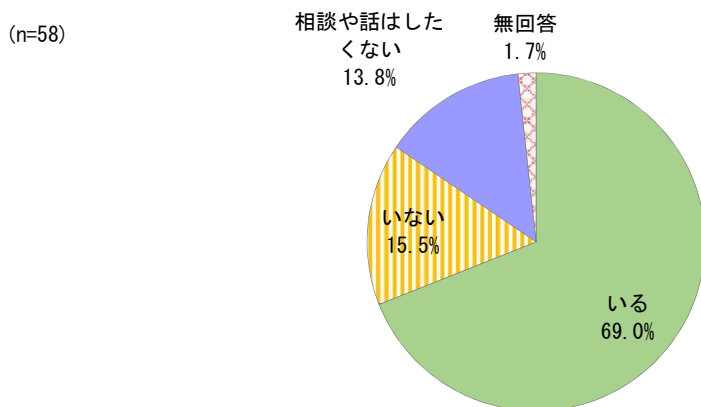
現在の悩みごとについては、「進路のこと」25.3%が最も高く、次いで「特にない」20.9%、「学業成績のこと」8.2%となっている。国調査と比較すると、概ねの項目で回答した割合が低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=158)	国(R2年度) (n=446)
1	友人との関係のこと	5.7%	10.5%
2	学業成績のこと	8.2%	20.6%
3	進路のこと	25.3%	60.5%
4	部活動のこと	0.0%	0.4%
5	学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと	1.9%	9.9%
6	塾(通信含む)や習い事ができない	1.9%	2.5%
7	家庭の経済的状況のこと	5.7%	16.6%
8	自分と家族との関係のこと	3.2%	15.7%
9	家族内の人間関係のこと	5.1%	13.5%
10	病気や障がいのある家族のこと	0.6%	4.9%
11	自分のために使える時間が少ない	1.3%	5.8%
12	その他	2.5%	7.2%
13	特になし	20.9%	25.1%
14	無回答	42.4%	0.7%

③ 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無（通信制高校生）

前問で何らかの悩みごとがあると回答した人に、話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」69.0%が最も高く、次いで「いない」15.5%、「相談や話したくない」13.8%となっている。国調査と比較すると、「いる」は12.2ポイント高くなっている。

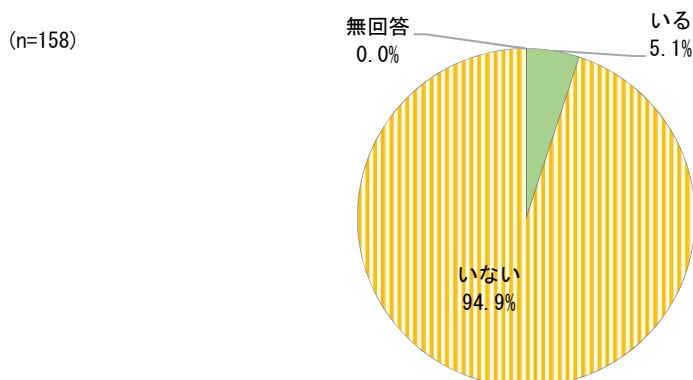


No.	選択肢	今回調査 (n=58)	国(R2年度) (n=331)
1	いる	69.0%	56.8%
2	いない	15.5%	11.8%
3	相談や話したくない	13.8%	29.9%
4	無回答	1.7%	1.5%
合計		100.0%	100.0%

(3) 家庭や家族のことについて

① 世話をしている家族の有無（通信制高校生）

世話をしている家族の有無については、「いる」5.1%、「いない」94.9%となっている。国調査と比較すると、「いる」は5.9ポイント低くなっている。

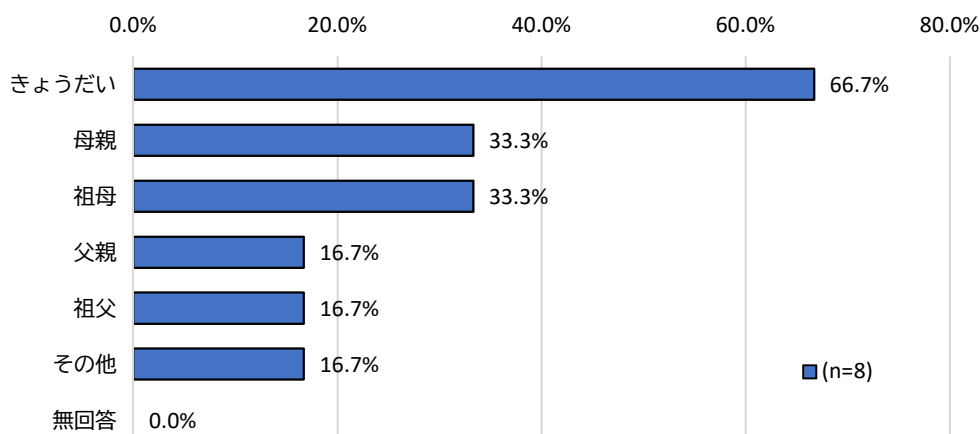


No.	選択肢	今回調査 (n=158)	国(R2年度) (n=445)
1	いる	5.1%	11.0%
2	いない	94.9%	88.1%
3	無回答	0.0%	0.9%
	合計	100.0%	100.0%

※通信制高校生について、本設問から18歳以下、19歳以上の年齢別に聞いている。
 ※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計。19歳以上は「いた（現在はお世話をしていない）」「現在まで継続してお世話をしている」が含まれる。

② 世話を必要としている家族（通信制高校生）（複数回答）

世話を必要としている家族については、「きょうだい」66.7%が最も高く、次いで「母親」「祖母」33.3%となっている。国調査と比較すると、大きな差異は見られない。

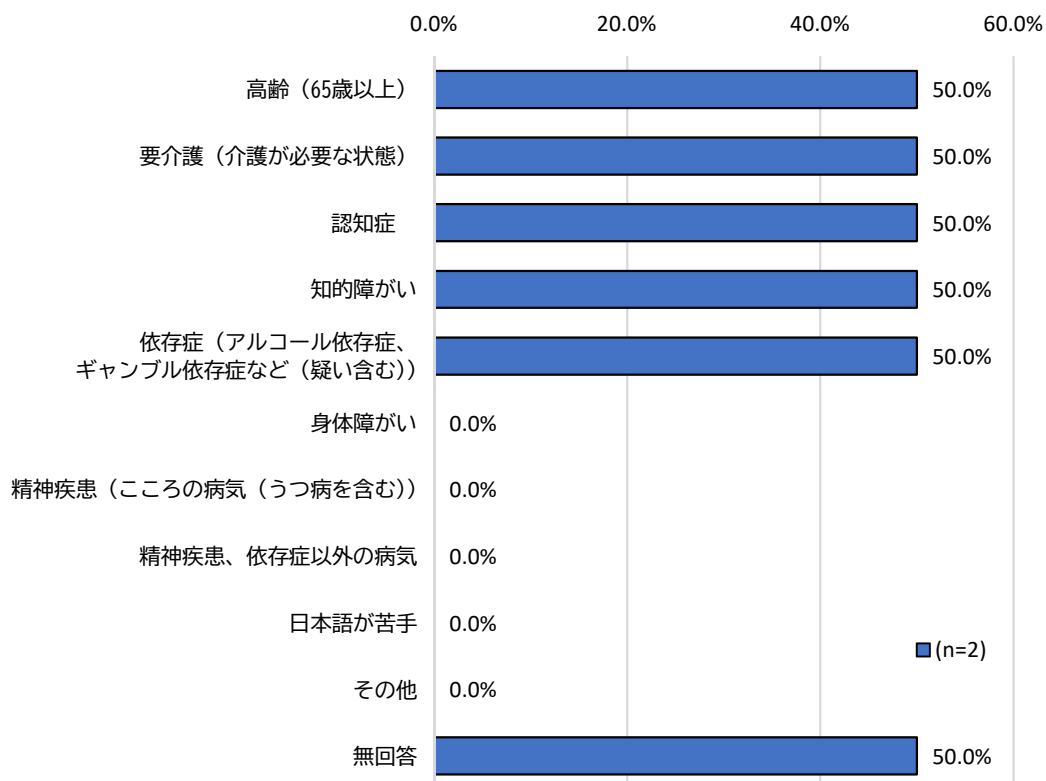


No.	選択肢	今回調査 (n=8)	国(R2年度) (n=49)
1	母親	33.3%	32.7%
2	父親	16.7%	
3	祖母	33.3%	22.4%
4	祖父	16.7%	
5	きょうだい	66.7%	42.9%
6	その他	16.7%	12.2%
7	無回答	0.0%	0.0%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

③ 父母の状況（通信制高校生）（複数回答）

世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、父母の状況を聞いたところ、高齢（65歳以上）「要介護（介護が必要な状態）」「認知症」「知的障がい」「依存症（アルコール依存症、ギャンブル依存症など（疑い含む）」と回答した割合が高くなっている。

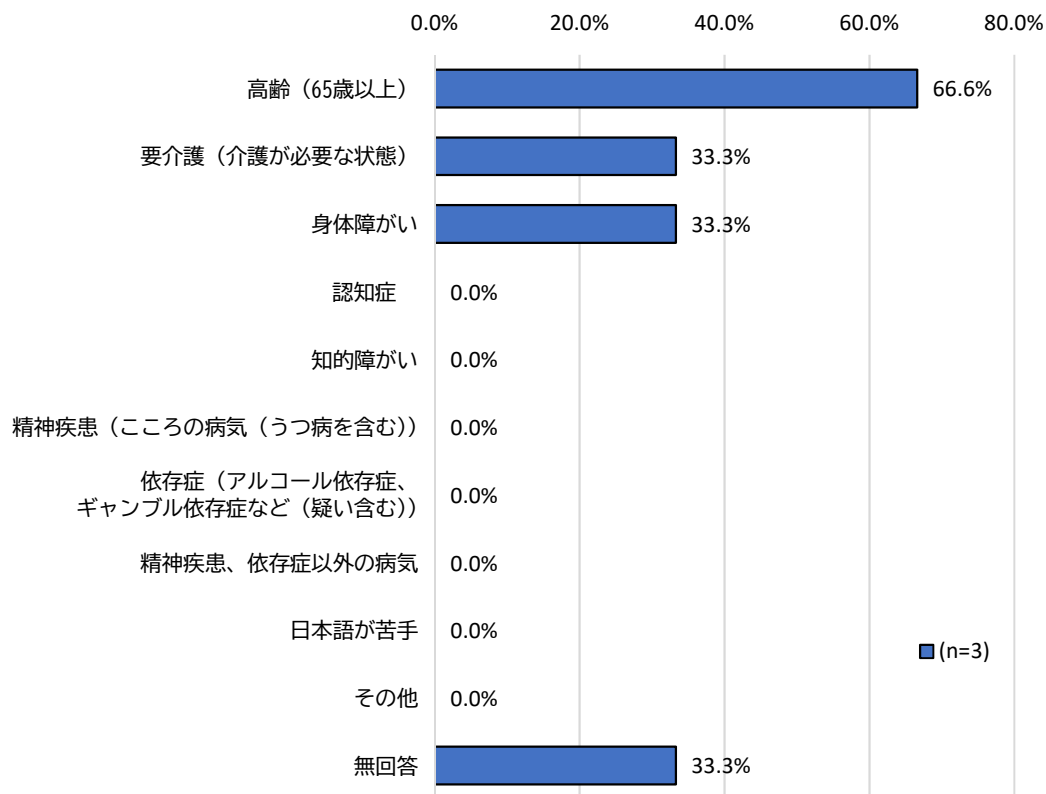


No.	選択肢	今回調査 (n=2)	国(R2年度) (n=16)
1	高齢(65歳以上)	50.0%	0.0%
2	要介護(介護が必要な状態)	50.0%	0.0%
3	認知症	50.0%	0.0%
4	身体障がい	0.0%	18.8%
5	知的障がい	50.0%	0.0%
6	精神疾患(こころの病気(うつ病を含む))	0.0%	62.5%
7	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など(疑い含む))	50.0%	0.0%
8	精神疾患、依存症以外の病気	0.0%	18.8%
9	日本語が苦手	0.0%	-
10	その他	0.0%	31.3%
11	無回答	50.0%	0.0%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

④ 祖父母の状況（通信制高校生）（複数回答）

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、祖父母の状況を聞いたところ、「高齢（65歳以上）」66.6%が最も高く、次いで「要介護（介護が必要な状態）」「身体障がい」がともに33.3%となっている。国調査と比較すると、「高齢（65歳以上）」は24.3ポイント低くなっている。

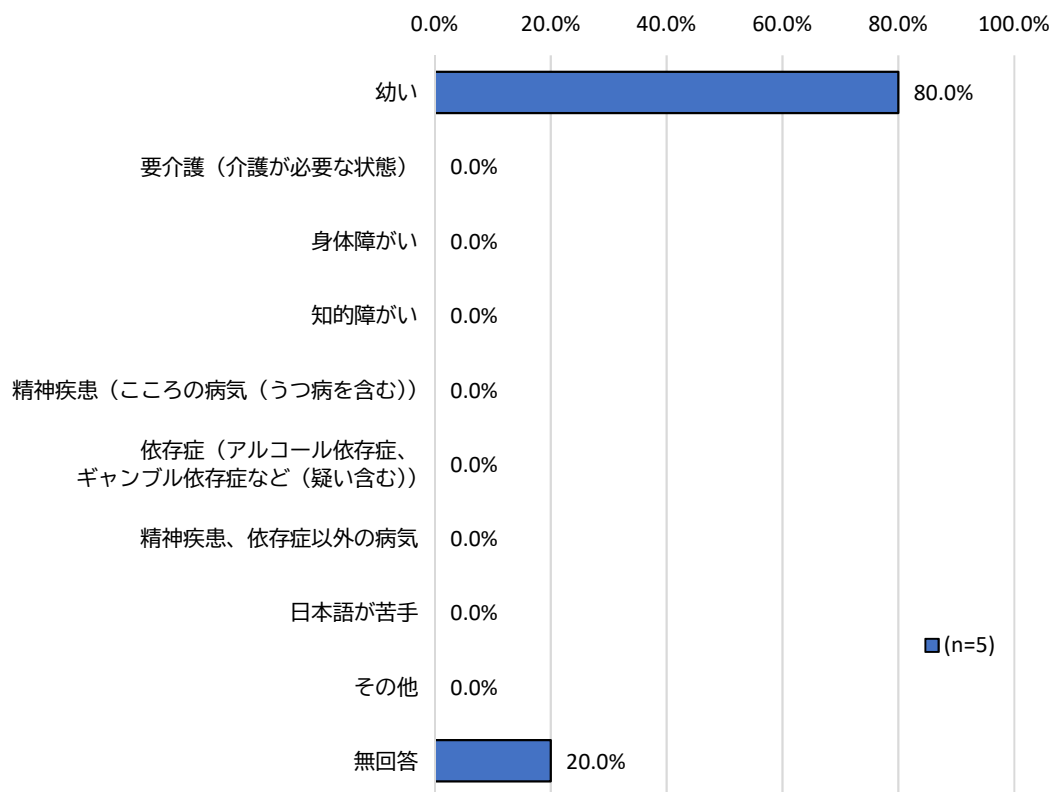


No.	選択肢	今回調査 (n=3)	国(R2年度) (n=11)
1	高齢 (65歳以上)	66.6%	90.9%
2	要介護 (介護が必要な状態)	33.3%	18.2%
3	認知症	0.0%	36.4%
4	身体障がい	33.3%	27.3%
5	知的障がい	0.0%	0.0%
6	精神疾患 (こころの病気 (うつ病を含む))	0.0%	0.0%
7	依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など (疑い含む))	0.0%	0.0%
8	精神疾患、依存症以外の病気	0.0%	0.0%
9	日本語が苦手	0.0%	—
10	その他	0.0%	18.2%
11	無回答	33.3%	0.0%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑤ きょうだいの状況（通信制高校生）（複数回答）

世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した人に、きょうだいの状況を聞いたところ、「若い」80.0%が最も高くなっている。国調査と比較すると、「若い」は32.4ポイント高くなっている。

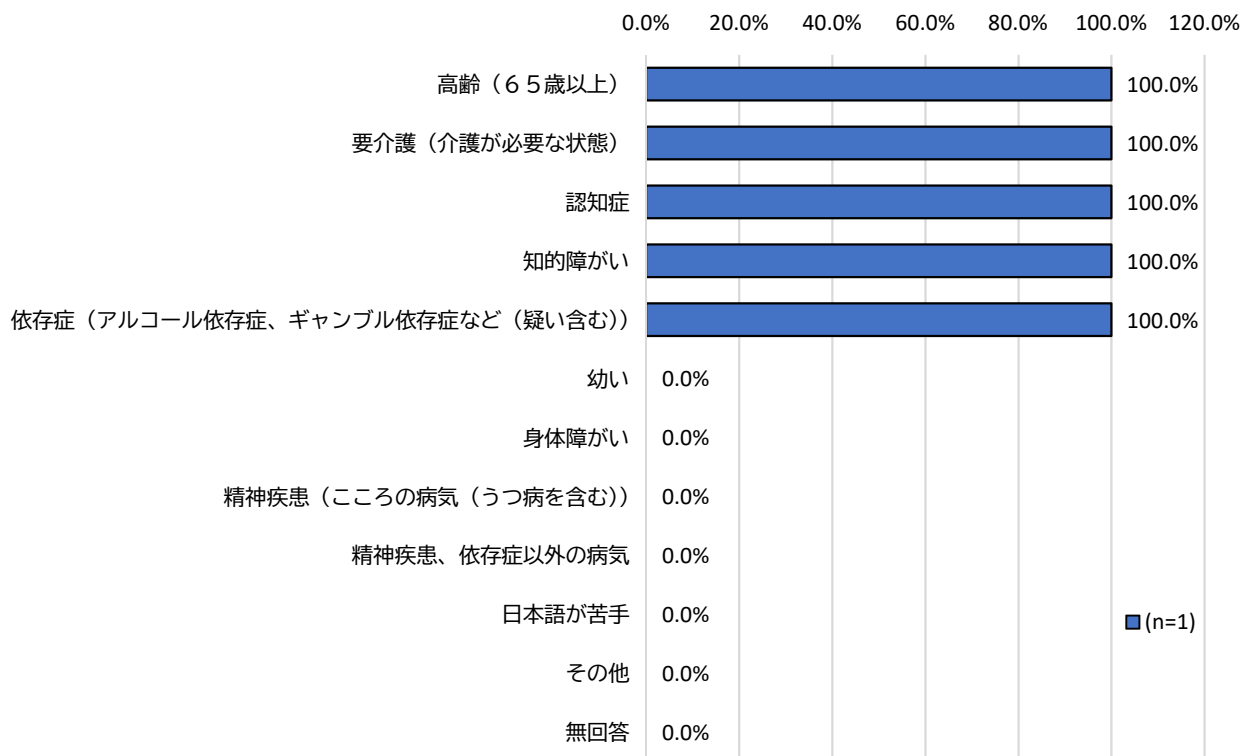


No.	選択肢	今回調査 (n=5)	国(R2年度) (n=21)
1	若い	80.0%	47.6%
2	要介護(介護が必要な状態)	0.0%	—
3	身体障がい	0.0%	4.8%
4	知的障がい	0.0%	14.3%
5	精神疾患(こころの病気(うつ病を含む))	0.0%	19.0%
6	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など(疑い含む))	0.0%	
7	精神疾患、依存症以外の病気	0.0%	4.8%
8	日本語が苦手	0.0%	—
9	その他	0.0%	33.3%
10	無回答	20.0%	0.0%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑥ その他の家族の状況（通信制高校生）（複数回答）

世話を必要としている家族として「その他」と回答した人に、その他の人の状況を聞いたところ、「高齢（65歳以上）」「要介護（介護が必要な状態）」「認知症」「知的障がい」「依存症（アルコール依存症、ギャンブル依存症など（疑いを含む））」と回答した割合が高くなっている。

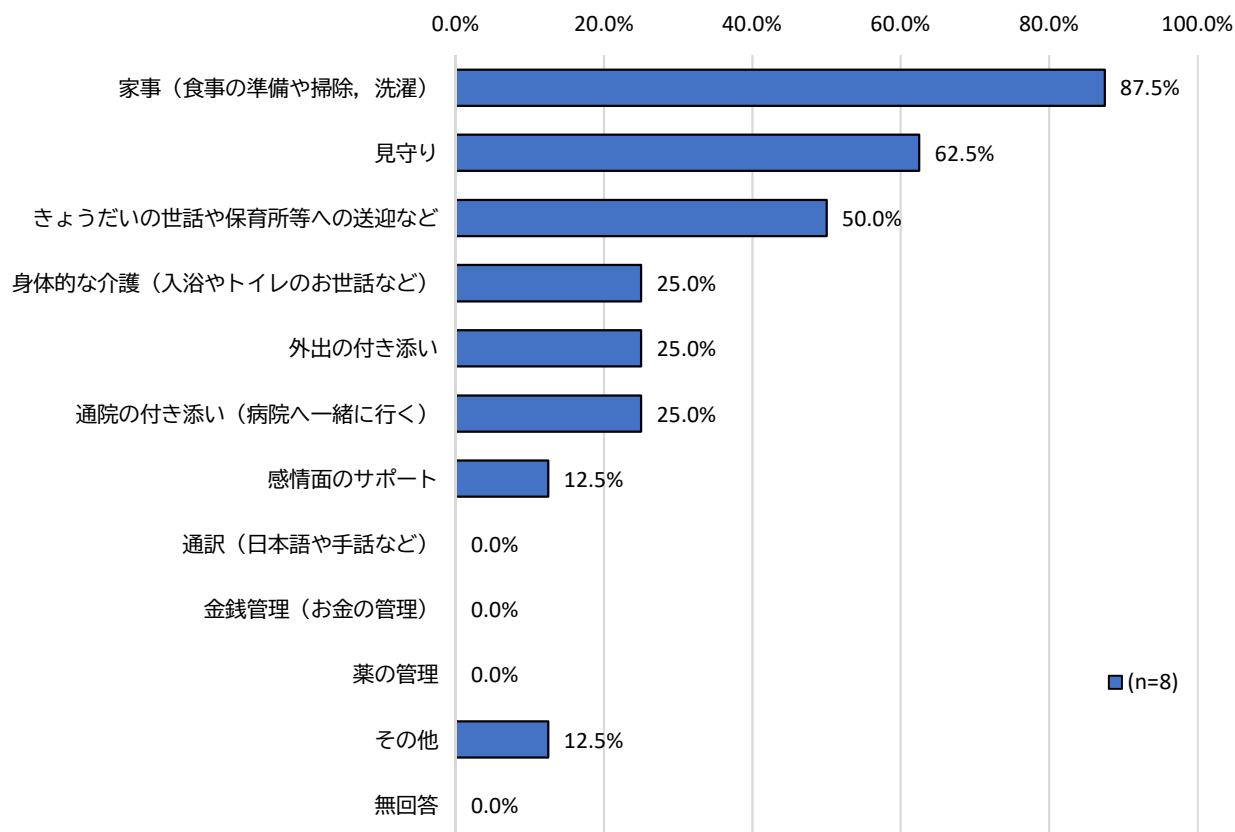


No.	選択肢	今回調査 (n=1)	国(R2年度)
1	高齢(65歳以上)	100.0%	-
2	若い	0.0%	-
3	要介護(介護が必要な状態)	100.0%	-
4	認知症	100.0%	-
5	身体障がい	0.0%	-
6	知的障がい	100.0%	-
7	精神疾患(こころの病気(うつ病を含む))	0.0%	-
8	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など(疑い含む))	100.0%	-
9	精神疾患、依存症以外の病気	0.0%	-
10	日本語が苦手	0.0%	-
11	その他	0.0%	-
12	無回答	0.0%	-

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑦ 世話の内容（通信制高校生）（複数回答）

世話をしている家族がいると回答した人に世話の内容について聞いたところ、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」87.5%が最も高く、次いで「見守り」62.5%、「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」50.0%となっている。

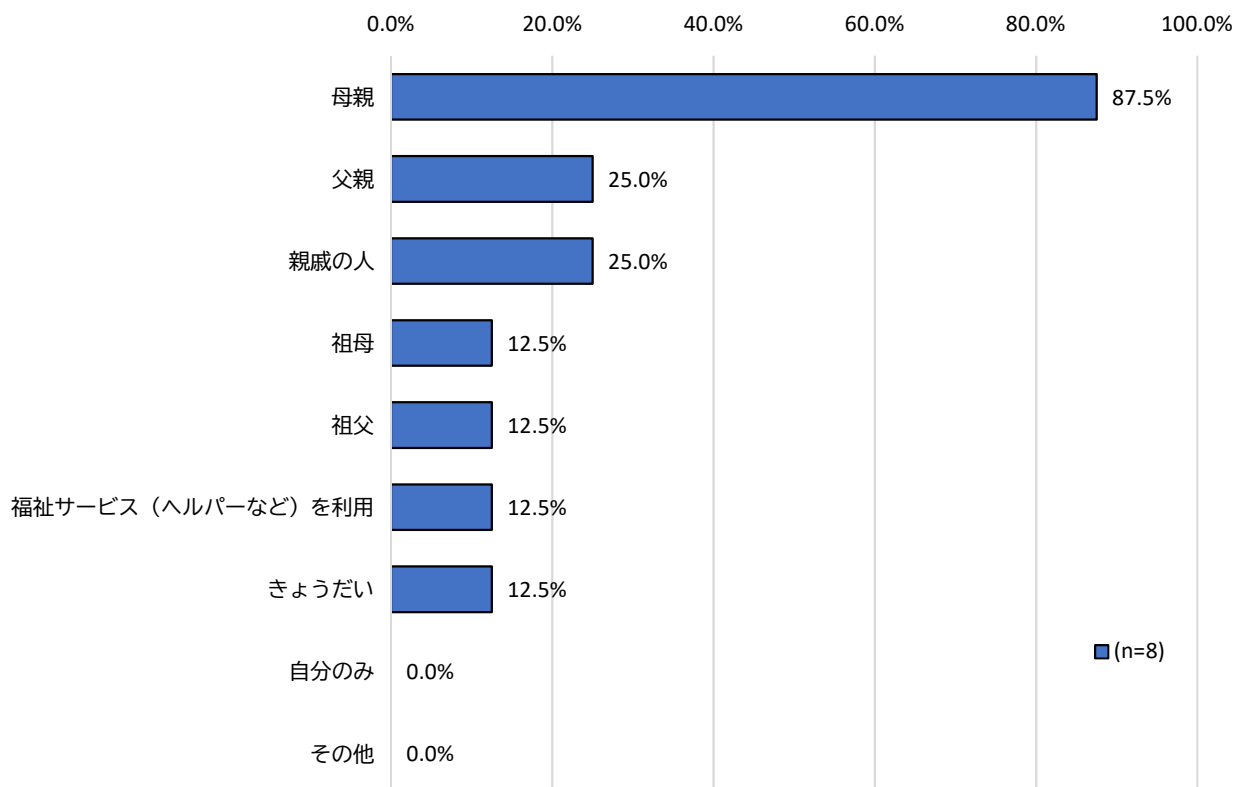


No.	選択肢	今回調査 (n=8)	国(R2年度)
1	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	87.5%	—
2	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	50.0%	—
3	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	25.0%	—
4	外出の付き添い	25.0%	—
5	通院の付き添い(病院へ一緒に行く)	25.0%	—
6	感情面のサポート	12.5%	—
7	見守り	62.5%	—
8	通訳(日本語や手話など)	0.0%	—
9	金銭管理(お金の管理)	0.0%	—
10	薬の管理	0.0%	—
11	その他	12.5%	—
12	無回答	0.0%	—

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑧ 世話を一緒にしている人（通信制高校生）（複数回答）

世話を一緒にしている人については、「母親」87.5%が最も高く、次いで「父親」「親戚の人」がともに25.0%となっている。国調査と比較して「母親」は40.6ポイント高くなっている。

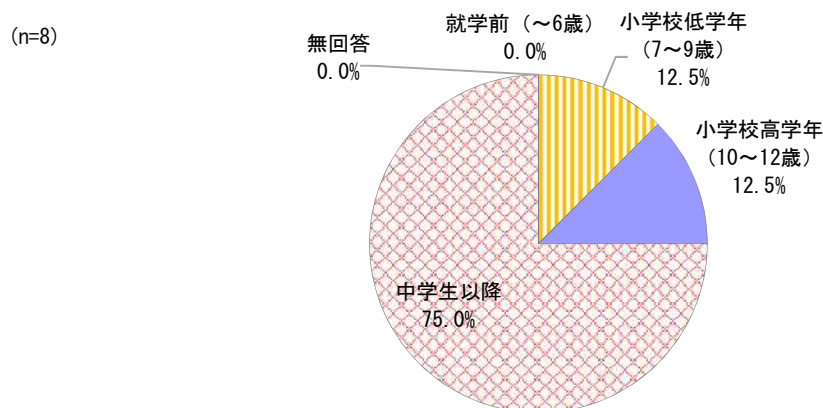


No.	選択肢	今回調査 (n=8)	国(R2年度) (n=49)
1	母親	87.5%	46.9%
2	父親	25.0%	24.5%
3	祖母	12.5%	20.4%
4	祖父	12.5%	2.0%
5	きょうだい	12.5%	32.7%
6	親戚の人	25.0%	0.0%
7	自分のみ	0.0%	14.3%
8	福祉サービス(ヘルパーなど)を利用	12.5%	12.2%
9	その他	0.0%	2.0%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑨ 世話を始めた年齢（通信制高校生）

世話を始めた年齢については、「中学生以降」75.0%が最も高く、次いで「小学校低学年（7～9歳）」「小学校高学年（10～12歳）」がともに12.5%となっている。国調査と比較すると、「中学生以降」は11.7ポイント高くなっている。

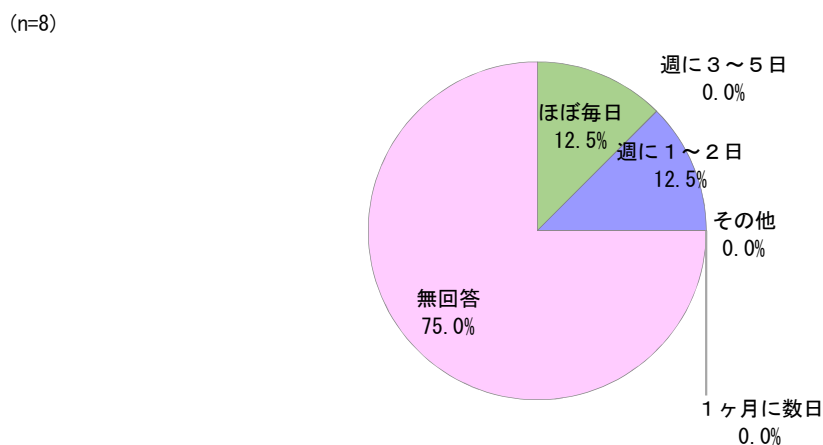


No.	選択肢	今回調査 (n=8)	国(R2年度) (n=49)
1	就学前（～6歳）	0.0%	8.2%
2	小学校低学年（7～9歳）	12.5%	8.2%
3	小学校高学年（10～12歳）	12.5%	18.4%
4	中学生以降	75.0%	63.3%
5	無回答	0.0%	2.0%
	合計	100.0%	100.0%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑩ 世話をしている頻度（通信制高校生）

世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」「週に1～2回」がともに12.5%となっている。



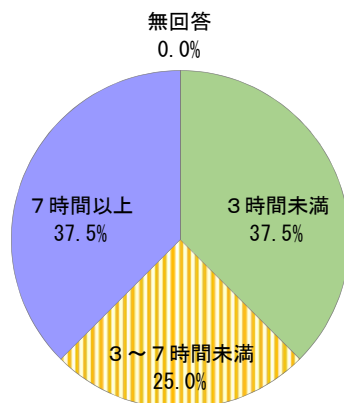
No.	選択肢	今回調査 (n=8)	国(R2年度) (n=49)
1	ほぼ毎日	12.5%	65.3%
2	週に3～5日	0.0%	26.5%
3	週に1～2回	12.5%	2.0%
4	1ヶ月に数日	0.0%	2.0%
5	その他	0.0%	2.0%
6	無回答	75.0%	2.0%
	合計	100.0%	100.0%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑪ 平日1日あたりの世話に費やす時間（通信制高校生）

平日1日あたりに世話に費やす時間については、「3時間未満」「7時間以上」がともに37.5%、「3～7時間未満」25.0%となっている。国調査と比較すると、「7時間以上」は13.0ポイント高くなっている。

(n=8)

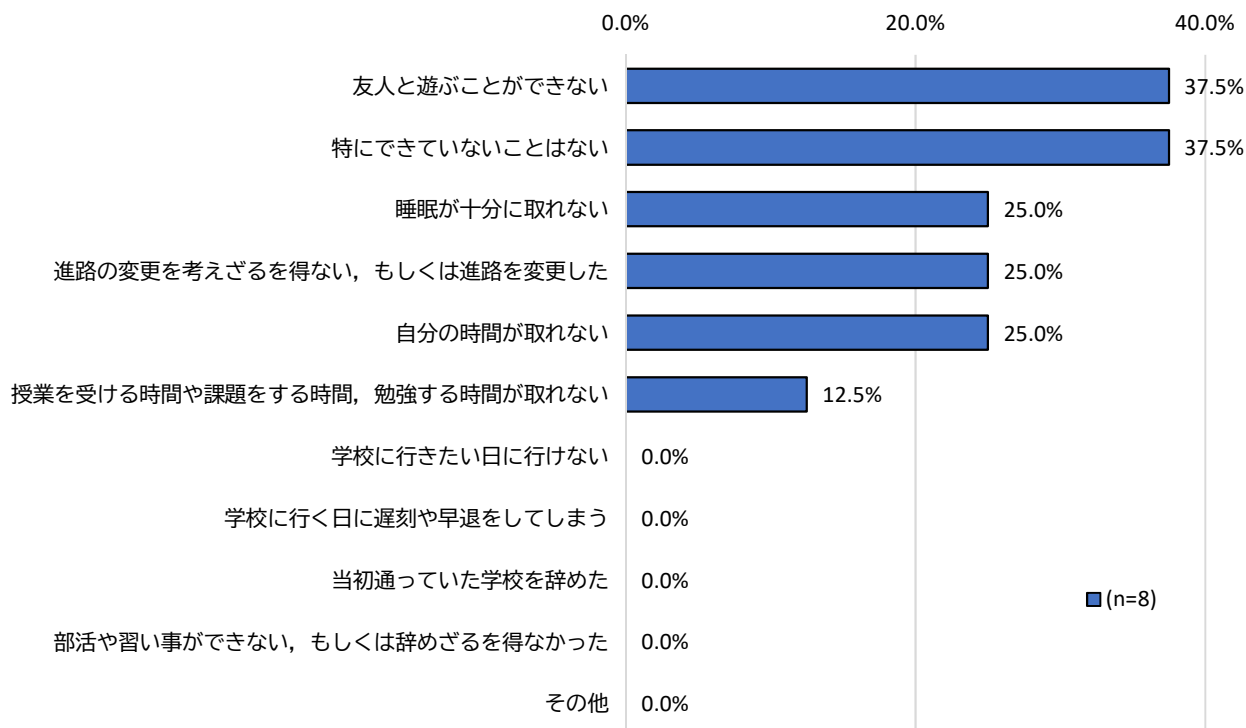


No.	選択肢	今回調査 (n=8)	国(R2年度) (n=49)
1	3時間未満	37.5%	30.6%
2	3～7時間未満	25.0%	34.7%
3	7時間以上	37.5%	24.5%
4	無回答	0.0%	10.2%
	合計	100.0%	100.0%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑫ 世話をしているためにやりたいけれどできないこと（通信制高校生）（複数回答）

世話をしているためにやりたいけれどできないことについては、「友人と遊ぶことができない」「特にできていないことはない」がともに37.5%と最も高く、次いで「睡眠が十分に取れない」「進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した」「自分の時間が取れない」25.0%となっている。国調査と比較すると、「進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した」は12.8ポイント、「友人と遊ぶことができない」は6.9ポイント高くなっている。

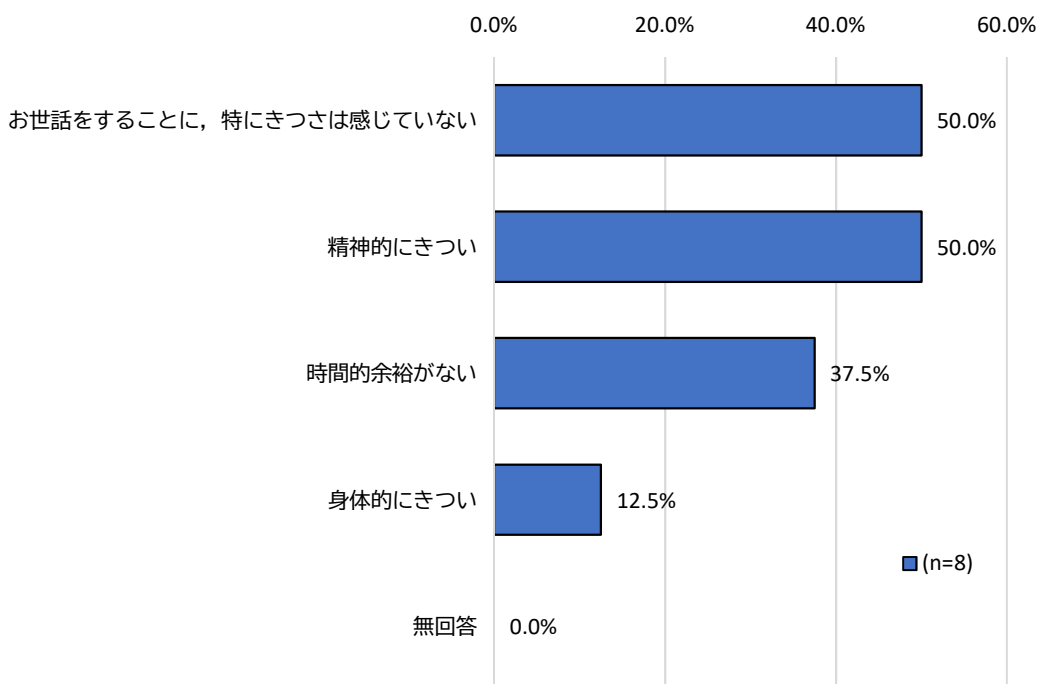


No.	選択肢	今回調査 (n=8)	国(R2年度) (n=49)
1	学校に行きたい日に行けない	0.0%	14.3%
2	学校に行く日に遅刻や早退をしてしまう	0.0%	10.2%
3	授業を受ける時間や課題をする時間、勉強する時間が取れない	12.5%	28.6%
4	睡眠が十分に取れない	25.0%	22.4%
5	友人と遊ぶことができない	37.5%	30.6%
6	当初通っていた学校を辞めた	0.0%	12.2%
7	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	0.0%	8.2%
8	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	25.0%	12.2%
9	自分の時間が取れない	25.0%	40.8%
10	その他	0.0%	2.0%
11	特にできていないことはない	37.5%	24.5%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑬ 世話の大変さ（通信制高校生）（複数回答）

世話の大変さについては、「お世話をするに、特にきつさは感じていない」「精神的にきつい」がともに50.0%と最も高く、次いで「時間的余裕がない」37.5%、「身体的にきつい」12.5%となっている。国調査と比較すると、「精神的にきつい」は30.1ポイント、「時間的余裕がない」は20.6ポイント、「身体的にきつい」は6.0ポイント高くなっている。



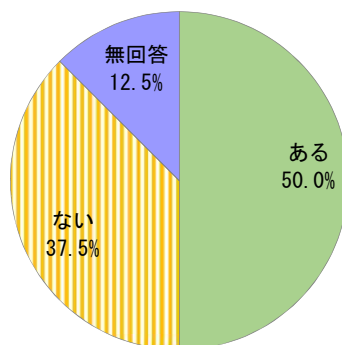
No.	選択肢	今回調査 (n=8)	国(R2年度) (n=307)
1	身体的にきつい	12.5%	6.5%
2	精神的にきつい	50.0%	19.9%
3	時間的余裕がない	37.5%	16.9%
4	お世話をするに、特にきつさは感じていない	50.0%	52.1%
5	無回答	0.0%	16.0%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑭ 世話について相談した経験（通信制高校生）

世話について相談した経験については、「ある」50.0%、「ない」37.5%となっている。国調査と比較すると、「ある」は15.3ポイント高くなっている。

(n=8)

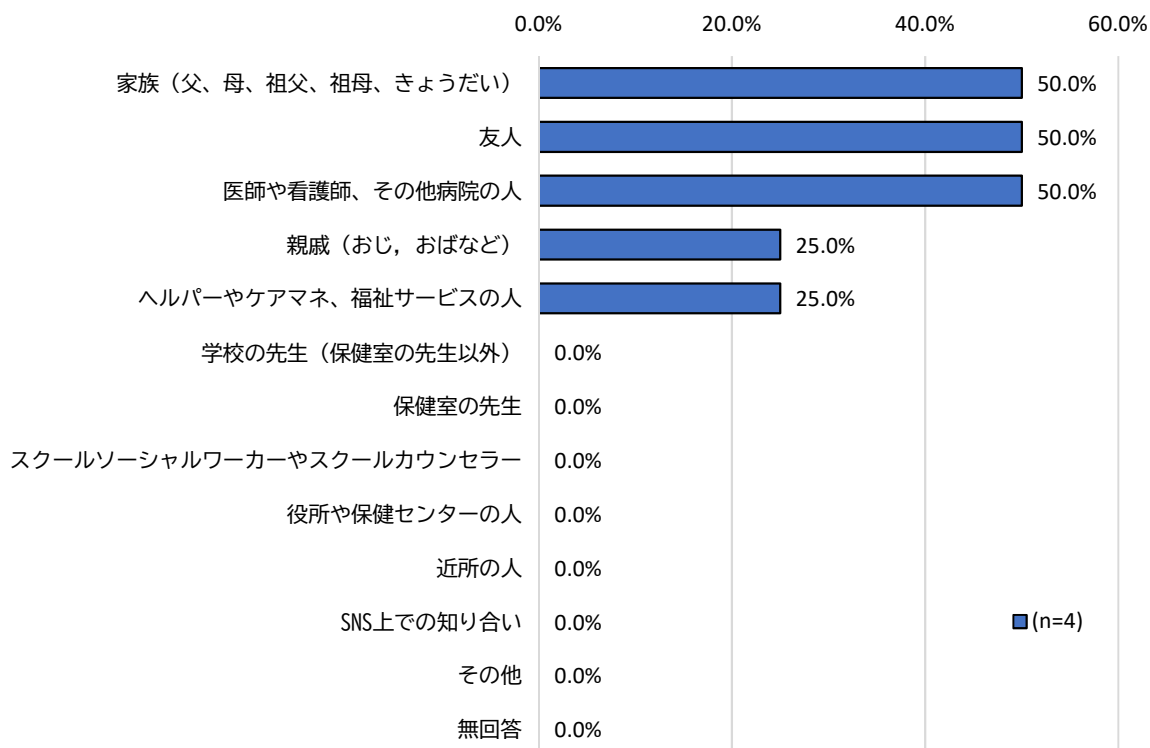


No.	選択肢	今回調査 (n=8)	国(R2年度) (n=49)
1	ある	50.0%	34.7%
2	ない	37.5%	63.3%
3	無回答	12.5%	2.0%
	合計	100.0%	100.0%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑮ 世話についての相談相手（通信制高校生）（複数回答）

世話についての相談相手については、「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」「友人」「医師や看護師、その他病院の人」50.0%がともに最も高く、次いで「親戚（おじ、おばなど）」「ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人」がともに25.0%となっている。国調査と比較すると、「医師や看護師、その他病院の人」は32.4ポイント、「ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人」は25.0ポイント、「親戚（おじ、おばなど）」は13.2ポイント高くなっている。一方、「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」は26.5ポイント低くなっている。

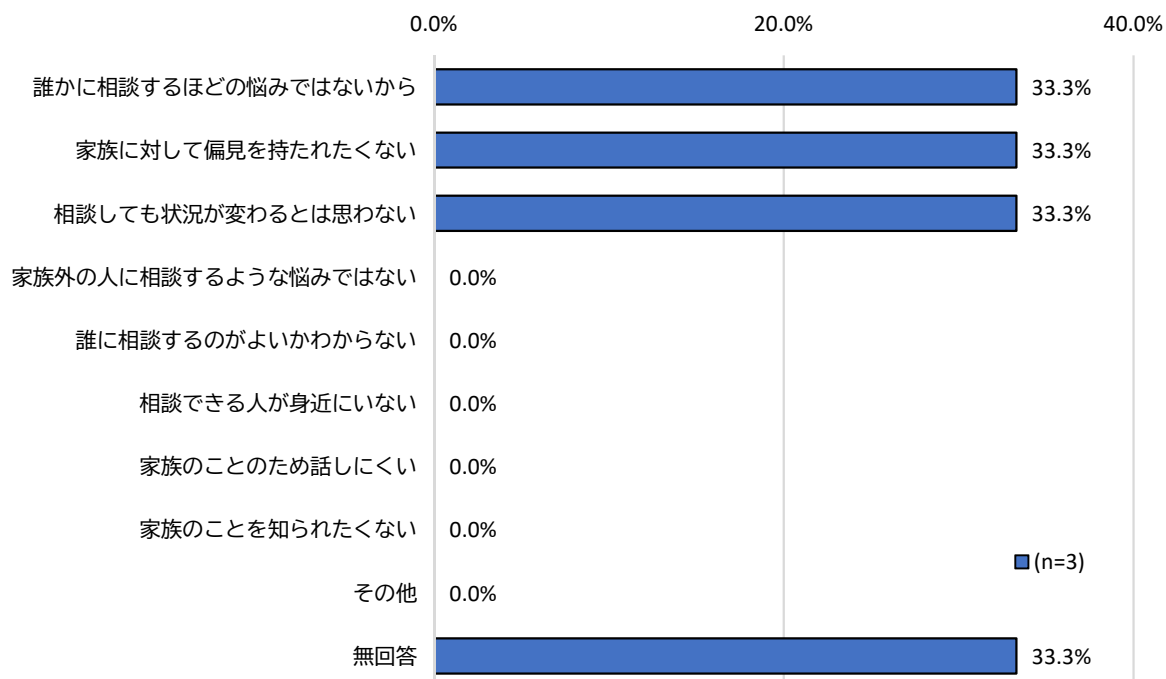


No.	選択肢	今回調査 (n=4)	国(R2年度) (n=17)
1	家族(父、母、祖父、祖母、きょうだい)	50.0%	76.5%
2	親戚(おじ、おばなど)	25.0%	11.8%
3	友人	50.0%	47.1%
4	学校の先生(保健室の先生以外)	0.0%	11.8%
5	保健室の先生	0.0%	5.9%
6	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	0.0%	5.9%
7	医師や看護師、その他病院の人	50.0%	17.6%
8	ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人	25.0%	0.0%
9	役所や保健センターの人	0.0%	17.6%
10	近所の人	0.0%	0.0%
11	SNS上での知り合い	0.0%	17.6%
12	その他	0.0%	5.9%
13	無回答	0.0%	0.0%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑩ 世話について相談したことがない理由（通信制高校生）（複数回答）

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「誰かに相談するほどの悩みではないから」「家族に対して偏見を持たれたくない」「相談しても状況が変わると思わない」が33.3%と最も高くなっている。国調査と比較すると、「家族に対して偏見を持たれたくない」は13.9ポイント高くなっている。一方、「誰かに相談するほどの悩みではないから」は11.9ポイント、「相談しても状況が変わると思わない」は8.6ポイント低くなっている。



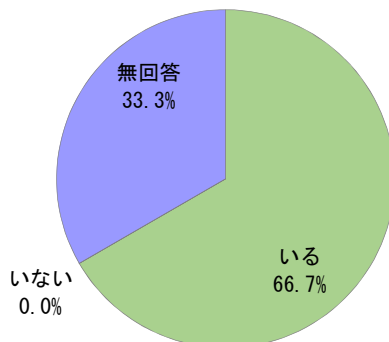
No.	選択肢	今回調査 (n=3)	国(R2年度) (n=31)
1	誰かに相談するほどの悩みではないから	33.3%	45.2%
2	家族外の人に相談するような悩みではない	0.0%	25.8%
3	誰に相談するのがよいかわからない	0.0%	22.6%
4	相談できる人が身近にいない	0.0%	19.4%
5	家族のここのため話しにくい	0.0%	22.6%
6	家族のことを知られたくない	0.0%	16.1%
7	家族に対して偏見を持たれたくない	33.3%	19.4%
8	相談しても状況が変わると思わない	33.3%	41.9%
9	その他	0.0%	3.2%
10	無回答	33.3%	45.2%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑰ 世話について話を聞いてくれる人の有無（通信制高校生）

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」66.7%となっている。

(n=3)

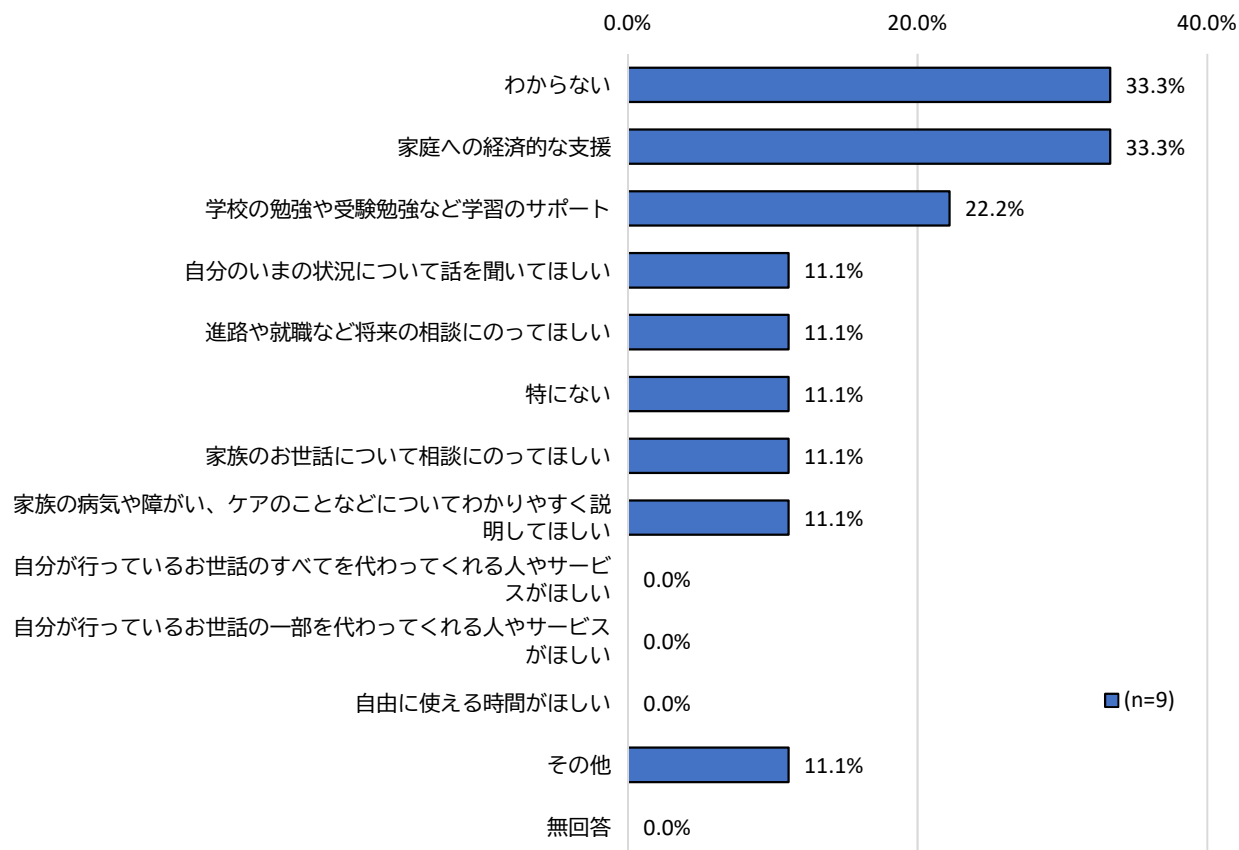


No.	選択肢	今回調査 (n=3)	国(R2年度) (n=31)
1	いる	66.7%	38.7%
2	いない	0.0%	61.3%
3	無回答	33.3%	0.0%
合計		100.0%	100.0%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑱ 学校や大人にしてもらいたいこと（通信制高校生）（複数回答）

学校や大人にしてもらいたいことについては、「わからない」「家庭への経済的な支援」がともに 33.3%と最も高く、次いで「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」22.2%となっている。国調査と比較すると、「家庭への経済的な支援」は 12.9 ポイント高くなっている。

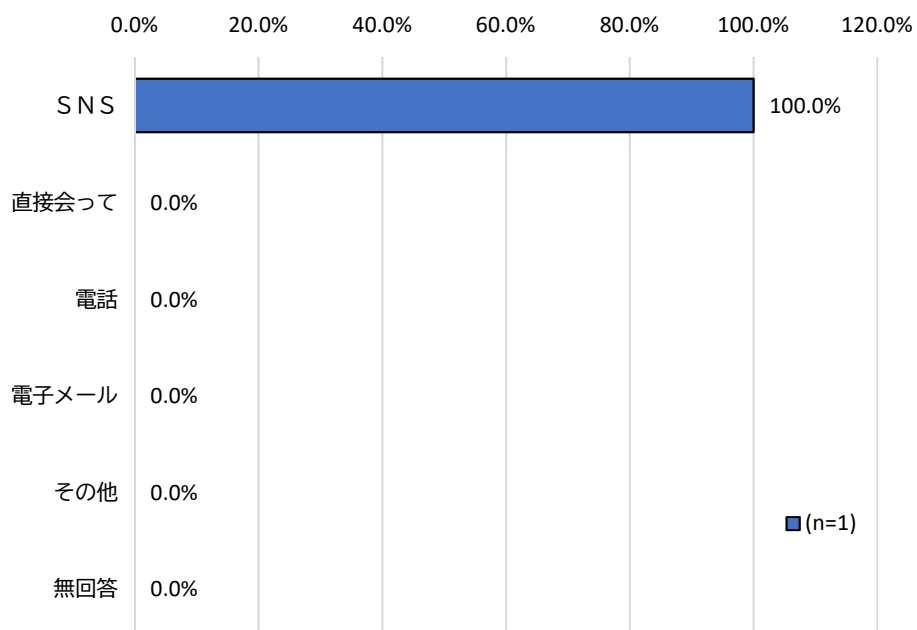


No.	選択肢	今回調査 (n=9)	国(R2年度) (n=49)
1	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	11.1%	24.5%
2	家族のお世話について相談にのってほしい	11.1%	14.3%
3	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	11.1%	8.2%
4	自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	0.0%	8.2%
5	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	0.0%	—
6	自由に使える時間がほしい	22.2%	42.9%
7	進路や就職など将来の相談にのってほしい	11.1%	20.4%
8	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	22.2%	24.5%
9	家庭への経済的な支援	33.3%	20.4%
10	その他	11.1%	6.1%
11	特にない	11.1%	36.7%
12	わからない	33.3%	2.0%
13	無回答	0.0%	0.0%

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

⑱ 希望する相談方法（通信制高校生）（複数回答）

前問で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に希望する相談方法について聞いたところ、「SNS」100.0%となっている。

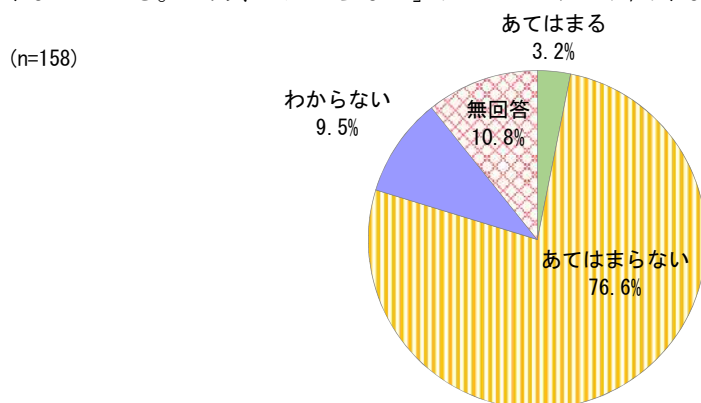


No.	選択肢	今回調査 (n=1)	国(R2年度)
1	直接会って	0.0%	-
2	電話	0.0%	-
3	SNS	100.0%	-
4	電子メール	0.0%	-
5	その他	0.0%	-
6	無回答	0.0%	-

(4) ヤングケアラーについて

① 「ヤングケアラー」にあてはまると思うか（通信制高校生）

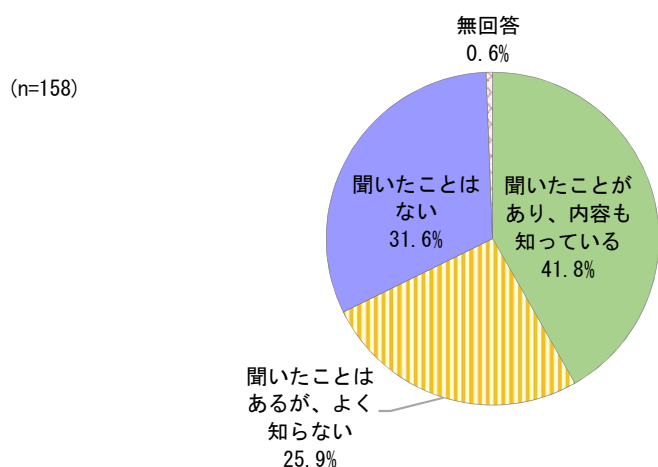
「ヤングケアラー」にあてはまるかについては、「あてはまらない」76.6%が最も高く、次いで「わからない」9.5%、「あてはまる」3.2%となっている。国調査と比較すると、「あてはまる」は4.0ポイント高くなっている。一方、「わからない」は7.4ポイント低くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=158)	国(R2年度) (n=445)
1	あてはまる	3.2%	7.2%
2	あてはまらない	76.6%	75.5%
3	わからない	9.5%	16.9%
4	無回答	10.8%	0.4%
	合計	100.0%	100.0%

② 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか（通信制高校生）

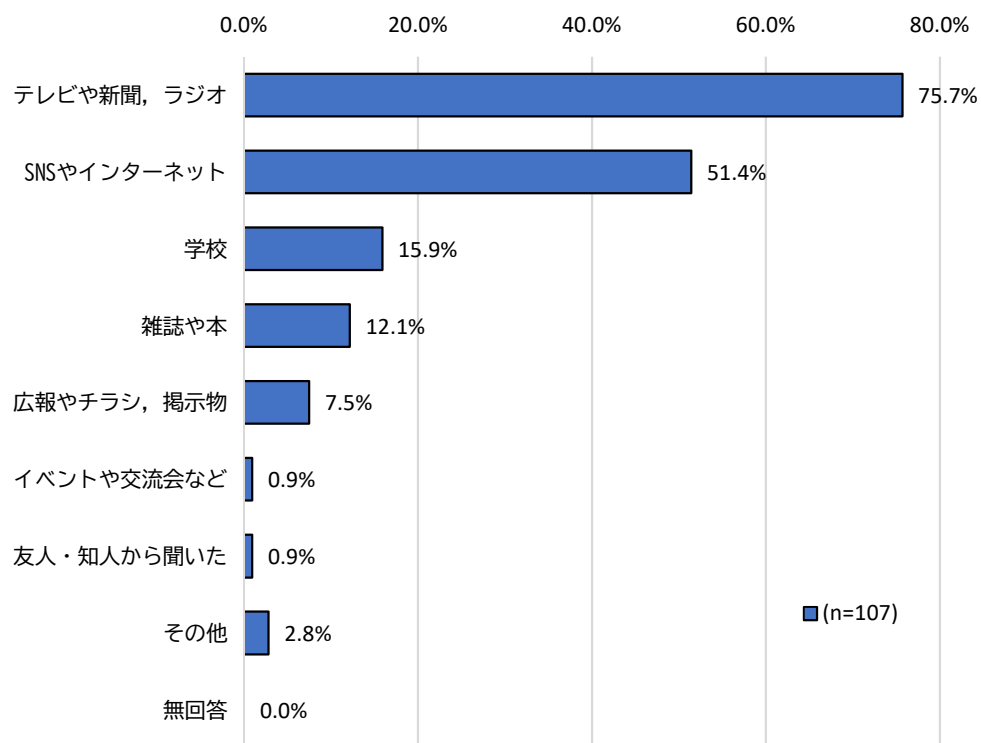
「ヤングケアラー」という言葉の認知度については、「聞いたことがあり、内容も知っている」41.8%が最も高く、次いで「聞いたことはない」31.6%、「聞いたことはあるが、よく知らない」25.9%となっている。国調査と比較すると、「聞いたことがあり、内容も知っている」は33.7ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=158)	国(R2年度) (n=446)
1	聞いたことがあり、内容も知っている	41.8%	8.1%
2	聞いたことはあるが、よく知らない	25.9%	7.8%
3	聞いたことはない	31.6%	83.9%
4	無回答	0.6%	0.2%
	合計	100.0%	100.0%

③ 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか（通信制高校生）（複数回答）

「ヤングケアラー」という言葉について「聞いたことがあり、内容も知っている」、聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した人に、どこで知ったかについて聞いたところ、「テレビや新聞、ラジオ」75.7%が最も高く、次いで「SNSやインターネット」51.4%、「学校」15.9%となっている。国調査と比較すると、「テレビや新聞、ラジオ」では15.1ポイント高くなっている。



No.	選択肢	今回調査 (n=107)	国(R2年度) (n=71)
1	テレビや新聞, ラジオ	75.7%	60.6%
2	雑誌や本	12.1%	7.0%
3	SNSやインターネット	51.4%	16.5%
4	広報やチラシ, 掲示物	7.5%	1.4%
5	イベントや交流会など	0.9%	1.4%
6	学校	15.9%	14.1%
7	友人・知人から聞いた	0.9%	2.8%
8	その他	2.8%	1.4%
9	無回答	0.0%	1.4%

VII 自由意見

アンケート調査にいただいた自由記述内容を整理した。ここでは、その一部を抜粋して紹介する。基本的に、誤字記入を修正したほかは、原文のまま掲載している。

【相談支援の充実・相談しやすい環境づくりについて】

ご意見等
相談できる環境をつくる。
気軽に相談できる場所が必要だと思います。少しでも負担を減らせることが大事だと思います。
相談できる場所や、助けてくれる場所を作り、知ってもらうこと。
ヤングケアラーの人は誰かに相談できるという人が少ないかもしれないので、相談ダイヤルや、気軽に助けを求められる施設があればよいのかなと思う。
一人で悩まないで、みんなに相談する。
何かが起きてから動くのではなく、何かが起きる前に手を差し伸べるべきだと思う。アプリを作って気軽に相談できるようにしたり、勉強ができる環境を作ったりしたらよいと思う。
相談にのる。ヤングケアラーとその家族のための施設をつくる。休みをとらせるために、介護施設をつくる。
そういう人のための窓口を用意して、定期的には手伝いに行ったり、相談にのったりすることが必要だと思う。
家庭内の事などは本当に深刻なことにもなりうるし、そのキツさにも本人しか分からず、他人にとっても相談しにくい、出来ない、と助けを求めるのも大変だと思います。なので、支援で募金活動をして、そのお金で介護士さんを雇ってもらするなどして、問題を減らしていくべきだと私は思います。将来を担っていく人材になる若い人達の未来を少しでも明るくできるように。たくさん課題はあると思いますが、少しずつでもやっていかないといけないと思います。
近所の人たちの間で、情報を共有し、違和感に気付いたら相談にのって安心させることが大切だと思う。
子ども食堂といったヤングケアラーに当てはまっている子供たちが少しでも楽になれる、公共の場所を各県に配置したら良いと思う。子供の相談窓口が一番良い考えだと思う
友達の事を気にかけて、ヤングケアラーと思われたら、相談にのって解決方法を見つける。区長さんや民生委員の方達がヤングケアラーがいなくて調べて政府と解決する
気軽に相談できる所があれば良い。信頼できる友達や先生をつくるための授業があれば良い。一人になれる場所などあればヤングケアラーの人々も少しは楽になれるのではないかなと思う。

【ヤングケアラーの普及啓発に向けて必要なこと】

ご意見等
ヤングケアラーについて知らない人が多いと思うので、まずはヤングケアラーについて知ってもらえるように情報を提供したり、ヤングケアラーの人々が相談しやすい環境をつくっていくことが大切だと思います。
ヤングケアラーという言葉や内容を今日初めて知りました。一人一人が相手の為にできることを行動すれば、そしてヤングケアラーの人たちがその活動の情報を発信していけば広まっていくと思います。
SNSで情報を広める
ヤングケアラーについての詳しい情報を広めるため、CMなどを発信する。テレビの番組などで密着取材をする（大変さを知ってもらう）
現在ヤングケアラーがやっている事を、ロボットなどが代行できるようにすればいいと思う。ヤングケアラーの事を勘違いする人がいなくなるためにも、情報を沢山発信してほしい
県が学校などにヤングケアラーへの支援について情報を生徒に伝えるようにする。
福祉課など行政が積極的に情報などを広めてほしい。相談しやすい環境づくり(孤立しない様に行政が積極的に関わるなど)してほしい
SNSでヤングケアラーについて沢山情報を載せる。アカウントをつくる。インフルエンサー等にPRしてもらう。
まずヤングケアラーがいる生徒や家族で一般的に知ってもらう事。ヤングケアラーであると言い出せない人や、その人自身がヤングケアラーだとわかってない人には何かしらの支援があることをポスターや学校にプリントの配布などして欲しい

ご意見等
まず「ヤングケアラー」という言葉の意味をたくさんの人に知ってもらう事が必要だと思う。そして、ヤングケアラーの負担を軽くできるような取り組み、支援を身近なものにしてほしいと思う。例えば、学校に一人でも専門の先生(助けてくれる先生)がいるようにするなど。
ヤングケアラーの人同士の話し合いや、元ヤングケアラーだった人の講演会をされるといいと思います。

【周囲の大人の理解やサポート】

ご意見等
保護者が世話を出来ない理由の解明と改善。周りの大人のサポート
色々な方がヤングケアラーについて理解し、自分の立場になったときにいつでもサポートができるようになればいいなと思います。
近所の人同士で助け合い、状況に合わせて周りの大人にサポートしてもらおう。
ヤングケアラー自体を知らない人も多く、世の中でも多くは知られていないので知ってもらうことも大切だと思う。思春期で余計に人に話したり相談したりできない年代だと思う。若い人たちが、一人やきょうだいで抱えるには大きな負担なので、もっと多くのサポート、支援が必要だと思う。学校の授業などでも取り上げて正しい理解を深める機会を増やしてほしい
教育面でのサポート
ヤングケアラーの人が信頼できるような人がサポートする
それぞれの家庭の状況を把握して、サポートに入れる環境づくりをする
1人で抱え込まないために、サポートしてくれる人が必要だと思う
ヤングケアラーの人の精神的苦痛に周りの身近な人が気づいてあげる。そして寄り添うことが自分にとっての助け合いなのかと思う。いろいろな視点からヤングケアラーについて考えていくことを共通理解すれば心の支えにもなる。名前が分かりにくい事や、若者の認知度が低い状況といった問題を解決し、社会全体のヤングケアラーの認知度向上を目指すため、教育現場に組み込んで若いうちから支援者としての自覚を持つことが社会としての課題となる。
18歳未満でありながらもしっかり家族の為に世話をしたり、責任を引き受けたりなどとても大変なことなので、そういう人たちの為に、もっと多くの人にヤングケアラーについて知ってもらい、おおっくの人が支援することにより、ヤングケアラーの人たちは少しでも生活しやすくなると思う。
ヤングケアラーも仕事場の育児休暇のように学校などから休暇や支援をもらえるといいのではないかなと思う。

【金銭的支援について】

ご意見等
ヤングケアラーがいるということは、家庭の経済が悪い状況にあると思うから、ケアをされる人を安全で、お金があまりかからないようなものをつくれればいいと思います。
ヘルパーみたいな、ケアマネージャーみたいな仕事をしている人に預ける時のお金を安くする。
施設の手配をする→費用の負担も。お金の支給。
家庭内の事などは本当に深刻なことにもなりうるし、そのキツさにも本人しか分からず、他人にとっても相談しにくい、出来ない、と助けを求めるのも大変だと思います。なので、支援で募金活動をして、そのお金で介護士さんを雇ってもらうなどして、問題を減らしていくべきだと私は思います。将来を担っていく人材になる若い人達の未来を少しでも明るくできるように。たくさん課題はあると思いますが、少しずつでもやっていかないといけないと思います。
行政の支援(お金など)。地域住民同士の助け合い。
家族への支援、お金や看護師などの人を増やす。
相談できる場所、お金がない人への募金、障害者用の器具の提用
国や自治代がお金を増やす
友達がまさにそうだが、そもそも家計を支えるために学校を高校生の時にやめたので、このアンケートを書くべき人が書いてないのではないかな。家族を支えるためにも学校に通えないほどお金の面が大変な子をもっと助けてあげてほしい
ヤングケアラーへの支援で、どのようなことをやっているのかわからないけど、困っているという人々が使いやすいような施設を造ったり、毎月お金の寄付をしてみるのがいいと思う

ご意見等
お金を援助する。時間に決まりの無い学校をつくる
老人ホームの数を増やしたりお金などの支援をするために募金などをしたらいいと思う
お金とか困ると思うしやっぱり体調の事にもかかわるから、ヤングケアラーの子たちを支えるような物を作ってほしい
周りの大人が理解して協力してあげたら良いと思う。お金をもらっても、物をもらっても、日によっては嬉しいだろうけど、そういう問題ではないし、見回りとか声掛けとか面倒でやりたがらなそうなことを一番やってあげたら良いと思う。
家庭に支援されなければならない人がいてもお金がないからどうにもならない 子供が苦勞を負担するしかない。子供を優先するシステムがヤングケアラーにしても何にしても少なすぎる
介護設備を整えるためのお金の配布
こういうアンケートを用いて困っている人を、地方自治体などが積極的に支援をしていくといいと思う。 子供が親の介護をしている場合だとしたらその親を老人ホームに入れる経済的支援をしていく必要があると思う。また親が難病を抱えている場合は医療体制が整っている、施設に入れることも必要だと思う。 またいじめ相談電話窓口というものがあるが、電話するのは勇気が必要だと思うので、相談してくる人は少ないと思う、だからこういうフラットに答えることができるアンケートを学校などで積極的にこなっていくことが大切だと思う。

【その他 要望】

ご意見等
全国の小中高生みんなが家族と幸せに楽しく暮らせるよう支援して欲しいです。
自分には関係ないことだと思っていましたが、友達に小さい妹の世話をするために学校を休んでいる子がいて、なぜまだ学生なのにそんな負担を背負わなければいけないのだろうと思いました。必ず解決して欲しいです。
ヤングケアラーをしている子供たちを減らしてほしい
市や公共施設の職員さんの仕事内容にヤングケアラーを支援するものを追加してほしい。学校で出前授業を行うなどして沢山の人が知ってほしい
ヤングケアラーの子供がいる所の親せきなどが協力して、その子一人に家事や家庭の世話をさせない。親の休みが取りやすいような社会にしてほしい
ヤングケアラーを支援する団体があるといいと思った
こういった調査を定期的にするといいと思います。
私はヤングケアラーではないと思いますが、私と同様にヤングケアラーではないが、苦しい、親がすべきことを日常的に行っている子供はたくさんいると思います。私の親はすぐにキレて人間とは思えないほどの行動を私にしてくれます。辛いです。そのような人々へのアンケートをどの学校でもこうして匿名で行うといいと思いました。
病院代や税金を安くするいいと思います
家族の代わりにしている人が、しなくてもいいように、障害があるような人が簡単に入れる施設が沢山出来るといいと思う

鹿児島県 ヤングケアラー実態調査 報告書

発 行 鹿児島県

編 集 暮らし保健福祉部 子ども家庭課

〒890-8577 鹿児島市鵜嶋町10番1号

電話番号 099-286-2771 FAX番号 099-286-5560
